

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	全学年	ptt808@oki.u.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語に接する学習者を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に、韓国の社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。	日本人の観点から韓国語を学習する際のツボをおさえた授業を心がけます。カードを使った活動を多く取り入れて、楽しく分かりやすい説明を行います。毎週グループ活動で反復練習することで、自然と語学力が身に付きます。毎週木曜日はパソコン教室でハンゲルのタイピング練習と、パソコンを使った授業や練習問題も解いていきます。この授業を受けたら韓国がもっと好きになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 (2,100+税)</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 ※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。 ※毎回色々な人とペアやグループになって練習をします。積極的な活動姿勢が求められます。 ※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳しく規制します。大学生として常識的な判断が求められます。 ※活動の多いクラスなので友達同士賑やかに交流することは大歓迎です。ただし説明のときはすぐに切り替えて集中するなど、メリハリのある行動が求められます。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！ただし夏休み期間中に何もしないと、これまで学んだ韓国語を忘れてしまうこともあるので、休みの間もなるべくテキストを読み進めて自分で予習復習をしておくことを強くお勧めします。また時間を作って韓国に一度行ってみましょう。授業で聞いたことを自分の目で確かめてくることは大きな刺激になります。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[企シ・日文]	1年	ptt804@oiku.ac.jp	

学びの準備	ねらい 韓国語の文字の仕組みと発音、日常的な会話表現を習得するとともに、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。	メッセージ この授業では韓国語を学びながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。また、ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！
	到達目標 ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を使って話すことができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査	韓国に関することを調べる
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組み / 基本母音	基本母音のプリント
	3	基礎・第3課：基本子音（9個）、濃音（5個）、激音（5個）	基本子音のプリント
	4	基礎・第4課：複合母音	複合母音のプリント
	5	基礎・第5課：パッチム、日本語のハングル表記	パッチムのプリント
	6	基礎・第6～7課：発音変化のルール / あいさつの言葉	発音変化のプリント
	7	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化の復習プリント
	8	第1課：「～は～です」、自己紹介文	1課復習・2課予習プリント
	9	第2課：助詞「～が」、疑問形「～ですか」	2課復習・3課予習プリント
	10	第3課：否定文、指示詞 / 小テスト	3課復習・4課予習プリント
	11	第4課：存在表現	4課復習・5課予習プリント
	12	第5課：ハムニダ体、疑問詞「何」 / 小テスト	5課復習・6課予習プリント
	13	第6課：へヨ体、ヨ体、疑問詞「どこ」	6課復習・7課予習プリント
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現「～です、～ます」 / 小テスト	7課復習プリント
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級』国書刊行会、2,100+税</p> <p>参考文献：必要に応じて授業で紹介</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※企業システム学科と日本文化学科の1年次指定クラスであるため、登録前に必ず学科と年次を確認すること。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性あり。 ※スマートフォンは、辞書機能および調べ物学習のみ使用可能。 ※コミュニケーション能力向上のため、ペアやグループ活動にも積極的に参加すること。</p>
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点(30%)により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>(1) 「韓国語Ⅱ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[全学科]	全学年	ptt804@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 韓国語の文字の仕組みと発音、日常的な会話表現を習得するとともに、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。	メッセージ この授業では韓国語を学びながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。また、ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！
	到達目標 ・韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・簡単な自己紹介ができる。 ・簡単な挨拶やあいづち表現を使って話すことができる。 ・身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・丁寧な表現を使って話すことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査	韓国に関することを調べる
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組み / 基本母音	基本母音のプリント
	3	基礎・第3課：基本子音（9個）、濃音（5個）、激音（5個）	基本子音のプリント
	4	基礎・第4課：複合母音	複合母音のプリント
	5	基礎・第5課：パッチム、日本語のハングル表記	パッチムのプリント
	6	基礎・第6～7課：発音変化のルール / あいさつの言葉	発音変化のプリント
	7	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	韓国文化の復習プリント
	8	第1課：「～は～です」、自己紹介文	1課復習・2課予習プリント
	9	第2課：助詞「～が」、疑問形「～ですか」	2課復習・3課予習プリント
	10	第3課：否定文、指示詞 / 小テスト	3課復習・4課予習プリント
	11	第4課：存在表現	4課復習・5課予習プリント
	12	第5課：ハムニダ体、疑問詞「何」 / 小テスト	5課復習・6課予習プリント
	13	第6課：へヨ体、ヨ体、疑問詞「どこ」	6課復習・7課予習プリント
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現「～です、～ます」 / 小テスト	7課復習プリント
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：木内明著『改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級』国書刊行会、2,100+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性あり。 ※スマートフォンは、辞書機能および調べ物学習のみ使用可能。 ※コミュニケーション能力向上のため、ペアやグループ活動にも積極的に参加すること。</p>
	<p>評価 期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点(30%)により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 「韓国語Ⅱ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋) 雅藍 [人福]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。さらに、前期「韓国語 I」と後期「韓国語 II」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・ 簡単な自己紹介ができる。 ・ 身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・ 簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・ 丁寧な表現を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> *履修の心構えとして、以下注意してください。 ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数³分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙、文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川 (宋) 雅藍 [社文・日文]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めて韓国語を学ぶ学生を対象に、文字の仕組みや発音の仕方をしっかり学びます。また日常的な会話表現を身につけると同時に韓国社会や生活文化に関することも学び、韓国人や韓国社会の理解を深めます。さらに、前期「韓国語 I」と後期「韓国語 II」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)及びハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語が苦手な学生も大歓迎です。挫折しないで楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。とにかく、ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 韓国の文字「ハングル」の読み書きができる。 ・ 簡単な自己紹介ができる。 ・ 身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ・ 簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ・ 丁寧な表現を使って話すことができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、あいさつ練習、ニーズ調査	
	2	基礎・第1～2課：韓国語の文字の仕組みと基本母語	教室用語プリント
	3	基礎・第3課①：平音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	4	基礎・第3課②：激音と濃音の発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	5	基礎・第4課：複合母音の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	6	基礎・第5課：終音（パッチム）の仕組みと発音練習	ハングルパーツ組み合わせ課題
	7	基礎・第6課：発音の変化／韓国映画を楽しもう！	人名・地名練習課題
	8	第1課：名詞文①「～は～です」	本文プリント、ハングル練習課題
	9	第2課：名詞文②「～は～ですか」	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第3課：名詞文の否定表現「～ではありません」、指示詞「こ・そ・あ・ど」の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第4課：存在の「あります（います）／ありません（いません）」表現	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第5課：用言文の丁寧表現①「します／しますか」の表現	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第6課：用言文の丁寧表現②「します／しますか」よりもくだけた表現	本文プリント、ハングル練習課題
	14	第7課：動詞・形容詞の丁寧表現（～です・～ます）	本文プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> *履修の心構えとして、以下注意してください。 ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数³分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>引き続き後期の「韓国語Ⅱ」を履修しましょう！夏休み期間中は「韓国語Ⅰ」で学んだ語彙・文法を忘れないように復習してください。また時間を作って韓国ドラマや映画を観ることをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [法律・地行]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。

到達目標	到達目標
	①ハングルの母音と子音の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1～2：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	
	2	基礎3：基本子音と二重子音について（ひらがたとハングルの比べ）	練習問題の復習
	3	基礎4：複合母音について（日本語のハングル表記について）	練習問題の復習
	4	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	5	基礎6：発音の変化（実際の発音）	練習問題の復習
	6	基礎7：基本挨拶及び小テスト	
	7	第1課：「～は」、「～です」について	課題プリントの復習
	8	第2課：「～が」、「～ですか」について	課題プリントの復習
	9	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの復習
	10	韓国映画鑑賞と小テスト	
	11	第4課：「あります・います」について	本文の復習
	12	第5課：「します」について	本文の復習
	13	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	本文の復習
	14	第7課：動詞、形容詞の丁寧表現「～です、ます」	本文の復習
	15	総合応用「自己紹介」及び前期講座のまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税) *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価 期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。 そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。 又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [経済・環政]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	一番近い国の言葉として簡単な自己紹介や簡単な挨拶が出来るようにする。又、韓国の独特な文字である「ハングル」を学び、正しい発音を学習を通してしっかり出来るように学ぶ。	隣国の韓国の社会を政治、経済ではなく、音楽、文化を通しより身近な国として紹介していきます。文による堅苦しい表現だけではなく、今若者が使う楽しい表現も授業中に取り入れます。

到達目標
①ハングルの母音と子音の読み書きができる。 ②簡単な自己紹介ができる。 ③身の回りにある基本的な物を韓国語で話すことができる。 ④簡単な挨拶やあいづち表現を理解して話すことができる。 ⑤丁寧な表現を使って話すことができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎1～2：韓国の紹介&沖縄と韓国の関係及び基本母音について	
	2	基礎3：基本子音と二重子音について（ひらがたとハングルの比べ）	練習問題の復習
	3	基礎4：複合母音について（日本語のハングル表記について）	練習問題の復習
	4	基礎5：パッチムについて	練習問題の復習
	5	基礎6：発音の変化（実際の発音）	練習問題の復習
	6	基礎7：基本挨拶及び小テスト	
	7	第1課：「～は」、「～です」について	課題プリントの復習
	8	第2課：「～が」、「～ですか」について	課題プリントの復習
	9	第3課：「～ではありません」について	課題プリントの復習
	10	韓国映画鑑賞と小テスト	
	11	第4課：「あります・います」について	本文の復習
	12	第5課：「します」について	本文の復習
	13	第6課：「あります・います・します」のヨ体について	本文の復習
	14	第7課：動詞、形容詞の丁寧表現「～です、ます」	本文の復習
	15	総合応用「自己紹介」及び前期講座のまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税) *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ②学びを深めるために：毎回の講座の中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価 期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続して韓国語Ⅱを履修しましょう。 そのためには、夏休みの期間には前期のテキストを復習することが大事です。 又、韓国の音楽や文化に触れる事もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [産情・英米]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。</p>	<p>韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国の文字「ハングル」を確実に読むことができる。 2. 自己紹介ができる。 3. 基本的な挨拶ができる。 4. 丁寧な終結語尾で表現することができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第2課 基礎の母音：母音字の書き方と発音	基礎母音字10コの暗記
	3	基礎・第3課 基礎の子音：子音字の書き方と発音	子音と母音で文字作り
	4	基礎・第4課 複合母音：陽母音と院母音の組み合わせ	「ハングル」で名前書き
	5	基礎・第5課 末音（パッチム）の発音	韓国人の名前読み
	6	基礎・第6課 発音の変化：表音文字の特徴	教科書のCDで発音練習
	7	日本語の「ハングル」表記	日本の地名をハングルで表記
	8	第1課：文の構造	本文に合わせて自己紹介
	9	第2課：助詞	パソコンで文字入力
	10	第3課：名詞の否定文	57頁を使って否定文の練習
	11	第4課：存在詞	練習問題
	12	第5課：です/ますの語尾（フォーマル体）	練習問題
	13	第6課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	練習問題
	14	韓国の映画	映画のプリント提出
	15	第7課：です/ますの語尾練習	第1課～第7課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学]	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めて韓国語を学習する人でも楽しめる「話せる韓国語」を心かけます。韓国は、日本に最も近い隣国なので、学習した表現を実際に使えるように練習します。文法の解釈はテキストを使用し、韓国語と日本語の文法に関する多くの共通点や相違点の見分けが出来るようにします。</p>	<p>韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、映画、インターネットを通して紹介します。</p>
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 韓国の文字「ハングル」を確実に読むことができる。 2. 自己紹介ができる。 3. 基本的な挨拶ができる。 4. 丁寧な終結語尾で表現することができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	基礎・第1課 韓国語について：「ハングル」の成り立ち	簡単な自己紹介の暗記
	2	基礎・第2課 基礎の母音：母音字の書き方と発音	基礎母音字10コの暗記
	3	基礎・第3課 基礎の子音：子音字の書き方と発音	子音と母音で文字作り
	4	基礎・第4課 複合母音：陽母音と院母音の組み合わせ	「ハングル」で名前書き
	5	基礎・第5課 末音（パッチム）の発音	韓国人の名前読み
	6	基礎・第6課 発音の変化：表音文字の特徴	教科書のCDで発音練習
	7	日本語の「ハングル」表記	日本の地名をハングルで表記
	8	第1課：文の構造	本文に合わせて自己紹介
	9	第2課：助詞	パソコンで文字入力
	10	第3課：名詞の否定文	57頁を使って否定文の練習
	11	第4課：存在詞	練習問題
	12	第5課：です/ますの語尾（フォーマル体）	練習問題
	13	第6課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	練習問題
	14	韓国の映画	映画のプリント提出
	15	第7課：です/ますの語尾練習	第1課～第7課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を見て、韓国語で言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 前期の教科書の続きを後期で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅱを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [産情・英米]	1年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式で進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は、日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。また、韓国語の検定試験（初級）取得ができる学習者を目指していきます。
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 文が読めて、簡単な作文ができる。 2. 敬語で話し相手に合う話し方ができる。 3. 数字を使い、時間、年月日、誕生日を言うことができる。 4. ショッピングができる。 5. レストランでの注文ができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第8課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	自己紹介（5文）の暗記
	2	DVD「韓国留学150日」、単語カード読み	DVDのプリント提出
	3	第9課：漢数詞	誕生日の歌
	4	第10課：固有数詞	K-Popの歌詞で語尾練習
	5	助数詞（単位）の表現	104頁、105頁練習
	6	第11課：尊敬語の語尾	練習問題
	7	話し相手に合う丁寧な命令文	練習問題
	8	韓国のドラマ	ドラマのプリント提出
	9	第12課：連結語尾（条件）、否定文	練習問題
	10	DVD「ソウルの名所」、ダ体（パンマル）の表現	DVDのプリント提出
	11	第13課：過去形	過去形のプリントで練習問題
	12	第14課：勧誘形、DVD「韓国の食文化」	練習問題
	13	韓国の映画	映画のプリント提出
	14	第15課：進行形、韓国のお正月	練習問題
	15	総まとめ	第8課～第15課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-長嶺 聖子 [全学]	2年	ptt163@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この講義は、韓国語と日本語の語順がほぼ同じであるというメリットを活かし、「読む」、「書く」ことを楽しむ形式で進めると同時に、教科書の内容を中心に「話す」ことの幅を広げます。韓国は、日本に最も近い国なので、学習した表現を実際に使えるように心がけます。	メッセージ 韓国語の学習を通して、その背景にある韓国の文化や社会についても学び、異文化への理解を深めてほしいと思います。その為に、この講義では、ラボ教室のCALLシステム及び教室の機器を利用し、現在の韓国の情報を歌、ドラマ、映画、インターネットを通して紹介します。また、韓国語の検定試験（初級）取得ができる学習者を目指していきます。
	到達目標 1. 文が読めて、簡単な作文ができる。 2. 敬語で話し相手に合う話し方ができる。 3. 数字を使い、時間、年月日、誕生日を言うことができる。 4. ショッピングができる。 5. レストランでの注文ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	第8課：です/ますの語尾（インフォーマル体）	自己紹介（5文）の暗記
	2	DVD「韓国留学150日」、単語カード読み	DVDのプリント提出
	3	第9課：漢数詞	誕生日の歌
	4	第10課：固有数詞	K-Popの歌詞で語尾練習
	5	助数詞（単位）の表現	104頁、105頁練習
	6	第11課：尊敬語の語尾	練習問題
	7	話し相手に合う丁寧な命令文	練習問題
	8	韓国のドラマ	ドラマのプリント提出
	9	第12課：連結語尾（条件）、否定文	練習問題
	10	DVD「ソウルの名所」、ダ体（パンマル）の表現	DVDのプリント提出
	11	第13課：過去形	過去形のプリントで練習問題
	12	第14課：勧誘形、DVD「韓国の食文化」	練習問題
	13	韓国の映画	映画のプリント提出
	14	第15課：進行形、韓国のお正月	練習問題
	15	総まとめ	第8課～第15課までにに関する質問
	16	学期末試験	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 『基礎から学ぶ韓国語講座 初級』（国書刊行会、2,100円+税） 参考文献は必要に応じて講義の中で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 各レッスンの単語や本文の内容の「ハングル」を正確に発音できるように、予め教科書のCDを聴いて予習します。復習は、語順が同じであることを活用して本文の日本語訳を韓国語に、韓国語を日本語に言えるようにします。そして、登録初日の出席は、必修条件です。出席しないと、登録が取り消される可能性があります。授業は、段階的に構成されているので、出来るだけ、遅刻・欠席はしないことです。また、指定学科と学年を守ってください。</p>
	<p>評価 平常点(30%)、課題点(30%)、学期末試験(40%)から総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期の教科書の続きを中級で学習しますので、引き続き、韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-真島 知秀 [全学]	全学年	ptt808@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験（初級）およびハングル能力検定試験（初級）合格を目指していきます。</p>	<p>ペアワークやグループ学習をふんだんに取り入れた授業を行います。毎回復習から入り、学んだことを徹底的に定着させます。毎回の課題もより実践で使える表現を取り上げて、授業で取り扱えない学習項目にも触れます。季節の歌（クリスマスソング、お正月の歌など）や韓国の生活文化が分かる動画も紹介して学力向上に繋がります。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	ハングル練習課題
	3	第8課：用言の活用	本文プリント、ハングル練習課題
	4	第9課：漢数詞の練習（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	5	漢数詞を用いて友達作り	漢字数詞プリント
	6	第10課：固有数詞の練習（年齢／物の数／時間を尋ねる）	本文プリント、ハングル練習課題
	7	固有数詞を用いて「買い物場面」にチャレンジ	固有数詞プリント
	8	韓国映画を楽しもう！	ハングル練習課題
	9	第11課：尊敬表現の練習、日本の尊敬表現との比較	本文プリント、ハングル練習課題
	10	第12課：用言における否定表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	11	第13課：過去表現の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」の練習	本文プリント、ハングル練習課題
	14	韓国文化	外来語プリント、ハングル練習課題
	15	作文練習と総復習	ハングル練習課題
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
	30		
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。 ※毎回簡単な課題が出されます。授業以外での学習時間の確保が求められます。 ※毎回色々な人とペアやグループになって練習をします。積極的な活動姿勢が求められます。 ※辞書機能としてスマートフォンを使用することは大歓迎ですが、授業に関係ないこと（E-mail, LINE等）での使用は厳しく規制します。大学生として常識的な判断が求められます。 ※活動の多いクラスなので友達同士賑やかに交流することは大歓迎です。ただし説明のときはすぐに切り替えて集中するなど、メリハリのある行動が求められます。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められない場合もあります。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> ※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます） ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。 ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[企シ・日文]	1年	ptt804@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 韓国語の基礎を固め、韓国文化を学びながら、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。	メッセージ この授業では語学力の向上はもちろんのこと、韓国文化を調べて発表しながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。また、ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！
	到達目標 ・数字を使って年齢や誕生日などを表現することができる。 ・買い物や、レストランなどで注文することができる。 ・目上の人に対し、敬語を用いて簡単な会話をすることができる。 ・勧誘や丁寧な依頼ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の活用ルール、目的を表す「～しに」	8課復習・9課予習プリント
	4	第9課：「～です」のヨ体、漢数詞と助数詞	9課復習/発表準備
	5	小テスト / 発表①	10課予習プリント
	6	第10課：固有数詞と助数詞	10課復習・11課予習プリント
	7	第11課：尊敬形、敬語の特殊例	11課復習/発表準備
	8	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	12課予習プリント
	9	第12課：用言の否定形、「～するといい」	12課復習・13課予習プリント
	10	第13課：用言の過去形、敬語の過去形	13課復習/発表準備
	11	小テスト / 発表②	14課予習プリント
	12	第14課：勧誘表現、「何の～」	14課復習・15課予習プリント
	13	第15課：用言の現在進行形、依頼の表現	15課復習/発表準備
	14	小テスト / 発表③	総まとめのプリント
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
29			
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：木内明著『改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級』国書刊行会、2,100+税</p> <p>参考文献：必要に応じて授業で紹介</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>※韓国語 I を履修済みであること。 ※企業システム学科と日本文化学科の1年次指定クラスであるため、登録前に必ず学科と年次を確認すること。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性あり。 ※スマートフォンは、辞書機能および調べ物学習のみ使用可能。 ※ペア・グループ活動に積極的に参加すること。 ※発表準備等の課題にも、真摯に取り組むこと。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とする。</p> <p>次のステージ・関連科目</p> <p>（1）「韓国語Ⅲ」 （2）「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-岸本 孝根[全学科]	全学年	ptt804@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 韓国語の基礎を固め、韓国文化を学びながら、多文化共生社会に適応できるコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。	メッセージ この授業では語学力の向上はもちろんのこと、韓国文化を調べて発表しながら、自文化・韓国文化への理解を深めていきます。また、ペア・グループ活動を通して色々な経験を積みながら、より実践的なコミュニケーション能力を高めていきましょう！
	到達目標 ・数字を使って年齢や誕生日などを表現することができる。 ・買い物やレストランなどで注文することができる。 ・目上の人に対し、敬語を用いて簡単な会話をすることができる。 ・勧誘や丁寧な依頼ができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、グループ分け、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の活用ルール、目的を表す「～しに」	8課復習・9課予習プリント
	4	第9課：「～です」のヨ体、漢数詞と助数詞	9課復習/発表準備
	5	小テスト / 発表①	10課予習プリント
	6	第10課：固有数詞と助数詞	10課復習・11課予習プリント
	7	第11課：尊敬形、敬語の特殊例	11課復習/発表準備
	8	小テスト / 韓国文化を楽しもう！	12課予習プリント
	9	第12課：用言の否定形、「～するといい」	12課復習・13課予習プリント
	10	第13課：用言の過去形、敬語の過去形	13課復習/発表準備
	11	小テスト / 発表②	14課予習プリント
	12	第14課：勧誘表現、「何の～」	14課復習・15課予習プリント
	13	第15課：用言の現在進行形、依頼の表現	15課復習/発表準備
	14	小テスト / 発表③	総まとめのプリント
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など テキスト：木内明著『改訂版 基礎から学ぶ韓国語講座 初級』国書刊行会、2,100+税 参考文献：必要に応じて授業で紹介</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ※韓国語 I を履修済みであること。 ※初日も必ず出席すること、出席しないと取り消される可能性あり。 ※スマートフォンは、辞書機能および調べ物学習のみ使用可能。 ※ペア・グループ活動に積極的に参加すること。 ※発表準備等の課題にも、真摯に取り組むこと。</p>
	<p>評価 期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点(30%)により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席した場合は不可とする。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 (1) 「韓国語Ⅲ」 (2) 「海外語学・文化セミナー」への参加、協定校への短期交換留学、韓国語能力試験（TOPIK）受験など、 色々なことにチャレンジ・経験しながら好奇心・向上心を持ち続けましょう！</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋) 雅藍 [社文・日文]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。	外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話を行うことができる。 ・過去表現で簡単な会話を行うことができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の活用	8課語彙プリント
	4	第9課：漢数詞（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	9課語彙プリント
	5	小テスト①／発表	韓国文化の発表準備
	6	第10課：固有数詞（年齢／物の数／時間を尋ねる）	10課語彙プリント
	7	第11課：尊敬表現、日本の尊敬表現との比較	11課語彙プリント
	8	小テスト②／発表	韓国文化の発表準備
	9	第12課：用言の否定形	12課語彙プリント
	10	第13課：用言の過去形	13課語彙プリント
	11	韓国映画を楽しもう！	本文練習プリント
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」	14課語彙プリント
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」	15課語彙プリント
	14	小テスト③／発表	韓国文化の発表準備
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 (2,100+税)</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「韓国語Ⅰ」履修済みであること。 ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。 ・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加すること。 ・授業中は聞き漏らしのないように集中してメモを取り、次週行う単語テストに備えること。
学 び の 実 践	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。</p> <p>授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。</p> <p>※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。</p> <p>※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められ</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます）</p> <p>※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。</p> <p>※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-山川(宋) 雅藍 [人福]	1年	講義の前後に教室で受け付ける。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>「韓国語Ⅰ」に引き続き、韓国語の基礎構造を着実に積んでいくことで、「聞いて話す」「読んで書く」という語学技能を自分のものにしていきます。また韓国と沖縄の社会や文化の違いを比較し、韓国語をより深く学びます。「韓国語Ⅰ」と「韓国語Ⅱ」の学習を通じて、韓国語能力試験(初級)およびハングル能力検定試験(初級)合格を目指していきます。</p>	<p>外国語に一度挫折した経験がある学生でも楽しく勉強に取り組むことができるように、分かりやすい授業を心がけます。ゆっくり丁寧に教えますが、もし分からないことがあれば気軽に質問してください。毎回授業に来るのが楽しみになりますよ。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数字を使って年齢や誕生日などの日時を話すことができる。 ・簡単な表現を使って買い物したり、レストランで注文したりすることができる。 ・目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ・過去表現で簡単な会話をするすることができる。 ・相手を誘ったり、丁寧をお願いしたりすることができる。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：今学期の内容紹介、自己紹介、ニーズ調査	
	2	前学期の復習	前学期の復習プリント
	3	第8課：用言の活用	8課語彙プリント
	4	第9課：漢数詞（電話番号／誕生日／日時を尋ねる）	9課語彙プリント
	5	小テスト①／発表	韓国文化の発表準備
	6	第10課：固有数詞（年齢／物の数／時間を尋ねる）	10課語彙プリント
	7	第11課：尊敬表現、日本の尊敬表現との比較	11課語彙プリント
	8	小テスト②／発表	韓国文化の発表準備
	9	第12課：用言の否定形	12課語彙プリント
	10	第13課：用言の過去形	13課語彙プリント
	11	韓国映画を楽しもう！	本文復習プリント
	12	第14課：勧誘表現「～しよう／～しましょう（か）」	14課語彙プリント
	13	第15課：現在進行形「～している」／依頼の表現「～してください」	15課語彙プリント
	14	小テスト③／発表	韓国文化の発表準備
	15	今学期の復習	総まとめのプリント
	16	期末試験およびフィードバック	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【改訂版】木内明 著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）』国書刊行会 （2,100+税）</p> <p>※辞書や参考書については、必要に応じて授業で紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「韓国語Ⅰ」履修済みであること。 ・登録前に指定学科と年次を確認し、必ず指定学科と年次を守って登録すること。 ・初日の出席は必須条件で、出席しないと登録が取り消される可能性あり。 ・授業に関係ない（E-mail, LINE等）スマートフォン使用は厳しく規制。 ・ペア練習やグループ学習にも積極的に参加すること。 ・授業中は聞き漏らしのないように集中してメモを取り、次週行う単語テストに備えること。
	<p>評価</p> <p>期末試験（40%）、課題・小テスト（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分の1以上欠席の場合、期末試験と関係なく不可とする。 ※平常点は積極的なグループ活動が大きな評価内容となります。 ※欠席届は、所定の様式と証明書類を添付の上提出してください。ただし内容によっては公欠・病欠が認められ</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>※韓国語能力検定試験（TOPIK）を受験して初級合格を目指しましょう。（沖縄では本学で実施されます） ※引き続き「韓国語Ⅲ」を受講することをお勧めします。 ※一年間の短期派遣留学を目指したり、数週間の海外語学・文化セミナーに参加することで、異文化体験をしてみましよう。あなたの人生観がきっと変わりますよ。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [経済・環政]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	メッセージ 簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方などをメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。
	到達目標 ①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物をすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧にお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	
	2	第8課：用語文の表現	練習問題の復習
	3	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	4	日にち、金額の数えについて	課題プリントの復習
	5	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	6	時間、数え方について	課題プリントの復習
	7	映画鑑賞と小テスト	
	8	第11課：敬語について	練習問題の復習
	9	韓国と日本の尊敬表現の比べ	課題プリントの復習
	10	第12課：否定文について	練習問題の復習
	11	第13課：過去形について	練習問題の復習
	12	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	13	第15課：～してくださいについて	課題プリントの復習
	14	現在進行形について	課題プリントの復習
	15	総合応用及びまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税) *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。韓国語Ⅰを必ず履修する事。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ②学びを深めるために：毎回の講座に中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価 期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。 韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-天久 恵珍 [法律・地行]	1年	ptt411@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 前期の文法など会話に応用し「丁寧体」「尊敬体」をできるようにします。又、数字を使って買い物などの表現、時間の読み方、日にちなどの表現ができるようにします。さらに、テキストの文法、練習問題も理解し応用ができるようにします。	メッセージ 簡単な会話ができ、韓国学生の最新情報や考え方などをメディア、SNSを通じて紹介します。さらに、韓国語の文化、気候、風習などを本文と関わりがあるところも講義中に取り入れます。
	到達目標 ①数字を使って友達と年齢や誕生日などの日時を確認しあうことができる。 ②簡単な表現を使って買い物をすることができる。 ③目上の人に対して敬語で簡単な会話をするすることができる。 ④過去表現で簡単な会話ができる。 ⑤相手を誘ったり、丁寧にお願いしたりすることができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習、後期の内容紹介	
	2	第8課：用語文の表現	練習問題の復習
	3	第9課：漢数詞について	練習問題の復習
	4	日にち、金額の数えについて	課題プリントの復習
	5	第10課：固有数詞について	練習問題の復習
	6	時間、数え方について	課題プリントの復習
	7	映画鑑賞と小テスト	
	8	第11課：敬語について	練習問題の復習
	9	韓国と日本の尊敬表現の比べ	課題プリントの復習
	10	第12課：否定文について	練習問題の復習
	11	第13課：過去形について	練習問題の復習
	12	第14課：勧誘形について	練習問題の復習
	13	第15課：～してくださいについて	課題プリントの復習
	14	現在進行形について	課題プリントの復習
	15	総合応用及びまとめ	
	16	期末テスト	
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「基礎からまなぬ韓国語講座・初級「改訂版」(国書刊行会 2,100円+税) *辞書、参考書については必要に応じて講義中に紹介する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て ①履修の心構え：初日の出席は必須条件。出席しないと登録が取り消される可能性あり。登録前に指定学科と年次を確認し登録すること。韓国語Ⅰを必ず履修する事。 毎回簡単な課題により平常点を評価するため、毎回の出席すること。 さらに、遅刻、私語、携帯使用などは厳しく規制する。 ②学びを深めるために：毎回の講座に中で本文に対する課題のプリントを復習をすること。</p>
	<p>評価 期末試験：40%、小テスト：30%、平常点：30%により評価する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目 継続して韓国語Ⅲを受講することをお勧めします。 韓国の交換留学及び韓国能力検定試験の受験もお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語Ⅲ	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン[全学]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業終了後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では韓国語の中級レベルに進むための段階として、初級レベルで学習した重要ポイントを振り返りつつ新たな文型導入を通して、よりレベルの高い文章表現力や会話運用能力を目指していく。また、文化の触れ合い学習を通して、韓国の社会や文化を客観的にみる力を養っていく。	メッセージ 語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、授業内容のみならず、個別学習にも力を入れていきましょう！
	到達目標 ・決まり文句以外の表現を用いたあいさつができる。 ・可能・不可能や希望・許諾など、自分の意思を表す表現ができる。 ・連体形を用いた表現ができる。 ・学習した文型を用いて、適切な会話表現に変えることができる。 ・ある程度まとまりのある文の大意を読み取ることができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査	初級までの振り返り
	2	レベル確認および初級の振り返り	テキストの予習・新語彙を覚える
	3	初級・第16課 可能・不可能の表現「～できる／～できない」	テキストの予習・新語彙を覚える
	4	初級・第17課 願望の意志を表す「～したい」、依頼の表現「～してください」	学んだ文型を用いて作文練習
	5	初級・第18課 許諾「～してもいい」、禁止の表現「～しないでください」	会話文の音読練習
	6	初級・第19課 義務の表現「～しなければならない」、意志を表す「□」	テキストの予習・新語彙を覚える
	7	不規則活用の一部紹介	テキストの予習・新語彙を覚える
	8	韓国映画を楽しもう！ / 字幕付け練習	字幕付けの課題準備
9	初級・第20課 推量・意志・未来を表す「～と思います／するつもりです」	不規則活用の復習	
10	初級のまとめ / 会話テスト	初級教科書のまとめ	
11	連体形の練習	連体形の復習	
12	中級・第1課 動作の原因および様態「～して／～なので」	テキストの予習・新語彙を覚える	
13	中級・第2課 形容詞・指定詞の連体形、「～するようになる」表現	テキストの予習・新語彙を覚える	
14	中級・第3課 動詞・存在詞の現在と過去の連体形	テキストの予習・新語彙を覚える	
15	総復習	全体の復習、まとめ	
16	期末試験およびフィードバック		
	テキスト・参考文献・資料など 【テキスト】 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（初級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税） 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税） ※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。		
	学びの手立て ・初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される。 ・毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。 ・授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。		
	評価 ・期末試験（40%）、小テスト・課題（30%）、平常点（30%）により評価する。 ・授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・後期の「韓国語Ⅳ」に進むことで、自分の韓国語力に更に磨きを入れましょう。 ・学内の「韓国語スピーチコンテスト」や「韓国語合宿」などに積極的に参加しましょう。 ・「海外語学・文化セミナー」への参加や、1年間の短期交換留学への挑戦など、韓国語学習を通して得た視野を実体験につなげるような目標を持つことをお勧めします。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	韓国語IV	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン [全学]	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業終了後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	韓国語の中級学習者としてより高いレベルのコミュニケーション能力を身につけるための文型および語彙選択のスキルアップを目指す。そして、韓国語Ⅰ～Ⅳまでの学習能力を用いて、韓国語能力試験およびハングル能力検定試験の中級合格を目指していく。	語学力は日々の積み重ねが上達の鍵となることを忘れず、授業への積極的な参加はもちろん、自習学習にも力を入れながら、一緒に頑張ってください！

到達目標
<ul style="list-style-type: none"> 不規則活用を理解し、会話の中で使いこなせることができる。 自分の経験の有無を相手に伝えたり、理由説明を加えたりすることができる。 映画の一場面を訳したり、より分かりやすいセリフで字幕を付けたりすることができる。 新聞やニュースなど、ある程度まとまった文を理解することができる。 日常でよく使われる慣用句を用いて、相手や場面に合わせて適切にコミュニケーションを図ることができる。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：コース紹介、自己紹介、ニーズ調査、レベル確認	韓国語Ⅲまでの振り返り
	2	不規則活用の復習と会話練習	不規則活用のまとめ
	3	連体形の復習と会話練習	連体形のまとめ
	4	第4課 逆接表現「～だが」、同時進行「～しながら」	テキストの予習・新語彙を覚える
	5	第5課 経験の有無を表す表現①「～してみる」、動詞・存在詞の未来連体形	テキストの予習・新語彙を覚える
	6	第6課 経験の有無を表す表現②「～したことがある(ない)」、「～することにする」	テキストの予習・新語彙を覚える
	7	第7課 理由の表現「～なので」、推量の表現「～ようだ」「～ように思う」	テキストの予習・新語彙を覚える
	8	韓国映画を楽しもう！ / グループ活動：Movie Teleco字幕付け作業	字幕付けの課題準備
	9	第8課 逆接等を表す「～んですが」、意志を表す「～しようと」	学んだ文型を用いて作文練習
	10	第9課 「～し始める」表現、「～するなり」表現	会話文の音読練習
	11	第10課 勧誘表現「～しましょうか」、他の勧誘表現との比較	テキストの予習・新語彙を覚える
	12	第11課 願望を表す表現「～したらいいんだけど」、「～のために」表現	テキストの予習・新語彙を覚える
	13	第12課 「～時」表現の様々な形を練習	テキストの予習・新語彙を覚える
	14	地図、買い物、位置関係などの会話練習	テキストの予習・新語彙を覚える
15	会話テスト、総復習	全体の復習、まとめ	
16	期末試験およびフィードバック		

テキスト・参考文献・資料など
<p>【テキスト】 木内明著『基礎から学ぶ韓国語講座（中級）-改定版-』、国書刊行会（2,100円+税）</p> <p>※ その他、参考書等については必要に応じて授業で紹介する。</p>

学びの手立て
<ul style="list-style-type: none"> 初日の出席は必須。出席しないと登録が取り消される可能性あり。 毎回の授業活動には積極的に参加すること。特に、ペアやグループ活動の場合は自分の役割を果たしながら協力し合う姿勢を持つこと。 授業以外での学習時間を確保し、自習および課題にも力を入れること。

評価
<ul style="list-style-type: none"> 期末試験（40%）、小テスト・課題（30%）、平常点（30%）により評価する。 授業回数の3分1以上欠席の場合は、不可とする。

学びの継続
<p>次のステージ・関連科目</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学を目指すなら、交換留学候補生や留学経験者(交換・私費)を対象とした「外国語研究Ⅰ」に進むことができます。 より韓国に焦点をあてて研究したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。 韓国語能力試験（中級）・ハングル能力検定（中級）合格を目指しましょう。

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - A	前期	火 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン留学から帰国した学生、これから留学する学生、中級スペイン語履修後の継続学習を希望する学生を対象に、実践的なスペイン語力向上の場を提供します。授業内アクティビティや音響・映像資料等を用いて、「読む、書く、聞く、話す」の4技能をさらに磨いていきます。	メッセージ 欧米文化圏、特にスペイン語話者の世界における自己意識や対他関係のあり方についての理解を深め、異文化能力を高めていきましょう。学習意欲と好奇心あふれる学生の参加を期待します。
	到達目標 具体的なシチュエーションにおけるスペイン語表現を体得し、スペイン語で的確に理解・対応できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーションとレベルチェック	シラバスの熟読
	2	Situación (1) 状況理解	課題への取り組み
	3	発展練習	課題への取り組み
	4	リスニングと読解	課題への取り組み
	5	Situación (2) 状況理解	課題への取り組み
	6	発展練習	課題への取り組み
	7	リスニングと読解	課題への取り組み
	8	Situación (3) 状況理解	課題への取り組み
	9	発展練習	課題への取り組み
	10	リスニングと読解	課題への取り組み
	11	Situación (4) 状況理解	課題への取り組み
	12	発展練習	課題への取り組み
	13	リスニングと読解	課題への取り組み
	14	Situación (5) 状況理解	課題への取り組み
15	発展練習	課題への取り組み	
16	リスニングと読解	課題への取り組み	
	テキスト・参考文献・資料など ・プリントを配布します。進度やマテリアルは履修者の関心や習熟度に沿って調整する場合があります。		
	学びの手立て ・初回にオリエンテーションとレベルチェックを行いますので、必ず出席してください。 ・スペイン語圏の映画鑑賞がお勧めです。ジェスチャーや表情なども含めた人々のやりとりをよく観察して、実際にスペイン語が話されている状況やそこに展開される人間関係のあり方を感じ取って下さい。色彩感覚などの美意識や価値感の相違も興味深く映じることでしょう。文字情報のみならず、その言葉を話す人々の顔や声を具体的にイメージすることが大切です。もっとスペイン語を理解できるようになりたい、使えるようになりたい、という気持ちが高まるはずですよ。		
	評価 課題 (30%)、平常点 (50%)、筆記・オーラルテスト (20%) をあわせて総合的に評価します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 上位科目は外国語研究IIです。スペイン語圏に関するさまざまなトピックを通じて、異文化社会に生きる人々への想像力を育てていきましょう。さらなる語学力アップを目指す方には、継続履修がお勧めです。
-------	--

※ポリシーとの関連性 フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - A	前期	月 2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子	1年	miyazato@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランス語中級クラスを受講した後、さらにフランス語の実践能力を培うため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、様々な状況に対応した会話などに取り組みます。	メッセージ この授業は、フランス語III・IVを履修したあとまたは履修中の学生で、実践的な語学力の向上を目指したい人や交換留学を目指す人を対象としたクラスになっています。留学を予定している人・予定していない人に関わらず、フランス語学習を続けたい人は、このクラスでステップアップを目指しましょう。
	到達目標 フランス語を聴き、読み、書き、話すという実践的な訓練とこれまでに学習した文法事項の確認を繰り返すことで、実用的なコミュニケーション能力を向上させることを目標とします。また、フランスやヨーロッパの文化や社会事情をより深く理解し、フランス語で情報収集する・発信する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習の振り返り
	2	聴き取り・会話と文法の確認	読解の予習
	3	読解	練習問題
	4	作文	作文の仕上げ
	5	聴き取り・会話と文法の確認	読解の予習
	6	読解	練習問題
	7	作文	作文の仕上げ
	8	聴き取り・会話と文法の確認	読解の予習
9	読解	練習問題	
10	作文	作文の仕上げ	
11	聴き取り・会話と文法の確認	読解の予習	
12	読解	練習問題	
13	作文	作文の仕上げ	
14	前期のまとめ	テストに向けての復習	
15	前期のまとめ	テストに向けての復習	
16	期末テスト		
	テキスト・参考文献・資料など 授業の中でプリントを配布します。		
	学びの手立て フランス語I～IIを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語IIIとの同時履修も可能です。 フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業の履修後には、「外国語研究II」が提供されています。また、沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」の受験、さらにレンヌ第2大学への交換留学にチャレンジすることが可能です。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-A	前期	火3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	1年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を準備中の人に対する事前学習の場として位置付けられている。また、韓国語Ⅳまで履修済みでより上級レベルを目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とする。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の中級～高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	
	2	自習課題の設定	
	3	連体形のまとめ①、自習課題の取り組み	連体形の復習・自習
	4	連体形のまとめ②、自習課題の取り組み	連体形の復習・自習
	5	連体形のまとめ③、自習課題の取り組み	連体形の復習・自習
	6	グループ発表1回目の準備①	グループ発表の担当部分準備
	7	グループ発表1回目の準備②	グループ発表の担当部分準備
	8	グループ発表1回目	グループ発表の担当部分準備
9	不規則用言のまとめ①、自習課題の取り組み	不規則用言の復習・自習	
10	不規則用言のまとめ②、自習課題の取り組み	不規則用言の復習・自習	
11	不規則用言のまとめ③、自習課題の取り組み	不規則用言の復習・自習	
12	不規則用言のまとめ④、自習課題の取り組み	不規則用言の復習・自習	
13	ペア作業の準備①	ペア作業の担当部分準備	
14	ペア作業の準備②	ペア作業の担当部分準備	
15	ペア作業による期末テスト	ペア作業の担当部分準備	
16	まとめ		
	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・必要に応じて随時紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、留学を目指すものとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業での発言・態度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は、必ず「外国語研究Ⅰ-B」を受講しましょう。 ・留学前に関連の検定試験(中級以上)にチャレンジしましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - A	前期	木 5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	俞 炳強	1 年	yu@okiu. ac. jp	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎（文型・音韻）が既習されているのが前提です。中国語で最も重要な声調の発声、聞き取りを意識しながら会話ができるようになりましょう。	メッセージ 語彙が勝負です。日頃から中国語と日本語の違いを意識して語彙を増やしましょう。毎日3単語を最低目標にしましょう。また授業は履修者の習得度によりグループ分けして進めます。
	到達目標 自分の思ったことを性格に伝えられるようになるために文型と適切な語彙を習得する。相手の発話を理解するためにも多様な語彙と表現を学習します。中検3～2級を目標にしてください。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	既習事項の確認
	3	自己の弱点の把握と今後の課題設定	自己分析と目標設定
	4	課題①の提示： 翻訳と音読	辞書の活用と暗記
	5	同上	同上
	6	課題②の提示： 翻訳と音読	同上
	7	同上	同上
	8	中間テスト	
9	対象動画の選択と字幕スーパーの作成方法の紹介	PC操作の理解と実習	
10	実技：翻訳	辞書の活用	
11	同上	同上	
12	実技：翻訳と入力	実技（入力）	
13	発表と修正	プレゼン	
14	同上	同上	
15	発表と修正	同上	
16	評価と総括	自己分析と目標設定	
実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定しませんが、トピックは事前に提示しみんなて決定します。辞書は必須です。		
	学びの手立て 習得度によってグループ分けして学習を進めます。 機会を作って中国語版の映画やDVDを鑑賞してください。 カラオケで中国語の歌詞で歌うのも自信がつく秘訣です。		
	評価 課題①②で各20%、字幕作成20%、プレゼン20%、中間テスト20%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 既存のDVD作品の翻訳と字幕作成で自信をつけたはずですが。更なる高みを目指して外国語研究 I -B、II -Bの履修を勧めます。また検定試験や通訳試験などにチャレンジしてください。
-------	---

※ポリシーとの関連性 フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅰ-B	後期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子	1年	miyazato@ll.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 外国語研究Ⅰに引き続き、さらにフランス語の実践能力を伸ばすため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、多様な状況に応じた会話、ディスカッションに取り組みます。	メッセージ この授業は、交換留学を目指す人を対象としたクラスになっていません。もちろん、留学を考えていなくても「フランス語Ⅲ・Ⅳ」を履修した人（または「フランス語Ⅳ」を履修中でも可）でフランス語学習を続けたい人も、このクラスでステップアップを目指しましょう。
	到達目標 外国語研究Ⅰに引き続き、フランス語を聴き、読み、書き、話すという実践的な訓練と文法事項の確認を繰り返すことで、より高度で実用的なコミュニケーション能力を向上させることを目標とします。また、フランスやヨーロッパの文化や社会事情をより深く理解し、フランス語で情報収集する力・発信する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習の振り返り
	2	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	3	読解	練習問題
	4	作文	作文の仕上げ
	5	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	6	読解	練習問題
	7	作文	作文の仕上げ
	8	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	9	読解	練習問題
	10	作文	作文の仕上げ
	11	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	12	読解	練習問題
	13	作文	作文の仕上げ
	14	後期のまとめ	テストに向けての復習
	15	後期のまとめ	テストに向けての復習
	16	期末テスト	
	テキスト・参考文献・資料など 授業の中でプリントを配布します。		
	学びの手立て フランス語Ⅰ～Ⅱを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語Ⅳとの同時履修も可能です。 フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業の履修後には、「外国語研究Ⅱ」が提供されています。また、沖縄で年2回実施される「仏検（フランス語技能検定試験）」の受験、さらにレンヌ第2大学への交換留学にチャレンジすることが可能です。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	木 5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	俞 炳強	1 年	yu@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ウェブや辞書などあらゆる手段を活用して情報を収集し、日本との違いや共通点を理解できるようにしたい。また自分の意思を伝えたり相手の発話を理解できるように語学力を磨く。	メッセージ ある程度の中国語力を有するのが前提です。このクラスでは正確な意味の理解、適切な表現を目指します。中国語の歌、映画、小説、漫画・・・どっぷり浸かってください。また授業は履修者の習得度によりグループ分けして進めます。
	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	弱点の把握と課題の発見
	3	課題文①の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	4	関連項目の検索と資料作成	同上
	5	課題②の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	6	関連項目の検索と資料作成	同上
	7	第1回 まとめテスト	課題分①②の理解度テスト
	8	プレゼン課題の選択	プレゼンの決定（紹介文）
	9	プレゼン資料の作成	プレゼン作成
	10	同上	同上
	11	同上	同上
	12	プレゼンの実施 質疑応答	プレゼン実施
	13	同上	同上
	14	総括 質疑応答	理解と修正
15	第2回 まとめテスト	プレゼン内容のチェックと理解	
16	評価と総括	今後の課題発見	
テキスト・参考文献・資料など 特に指定はしませんが辞書は必須です。トピックおよび翻訳する作品は事前に提示しみんなで決定します。			
学びの手立て 日頃から中国語の発話機会を積極的に探す。中国語版DVDを鑑賞したりカラオケなどで中国語の歌詞と日本語の歌詞で歌うなど中国語の世界に触れるようにする。			
評価 課題①②で各15%、プレゼン30%、第1回テスト20%、第2回テスト20%			

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験や通訳試験に挑戦したり中国語スピーチコンテストに応募したり、積極的に中国語を使いましょう。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	火 4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 後期の外国語研究IIでは、スペイン留学から帰国した学生、これから留学する学生、中級スペイン語履修後の継続学習を希望する学生を対象に、スペイン語圏の社会文化について調べ発表する場を提供します。言語の背景にある人々の生活や意識へのアプローチを通じて、「読む、書く、聞く、話す」の4技能をさらに磨いていきましょう。	メッセージ スペイン語圏の<いま>を学び、スペイン語を話す人々と交流していくための基盤づくりをしましょう。意欲と好奇心あふれる学生の参加を期待します。
	到達目標 自分で設定したテーマについて、スペイン語で検索・調査し発表することができる。今後自立したスペイン語学習者として学びを継続し、社会に還元していくために必要な調査力と発信力を獲得するためです。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：レベルチェック、興味関心の共有、各自の課題設定	シラバスの熟読
	2	(1) 「スペイン/スペイン語圏の形成」①	課題への取り組み
	3	「スペイン/スペイン語圏の形成」②	課題への取り組み
	4	「スペイン/スペイン語圏の形成」③	課題への取り組み
	5	(2) 「メキシコの現在」①	課題への取り組み
	6	「メキシコの現在」②	課題への取り組み
	7	「メキシコの現在」③	課題への取り組み
	8	(3) 「アメリカ合衆国のスペイン語」①	課題への取り組み
	9	「アメリカ合衆国のスペイン語」②	課題への取り組み
	10	「アメリカ合衆国のスペイン語」③	課題への取り組み
	11	(4) 「ラテンアメリカの移民文化」①	課題への取り組み
	12	「ラテンアメリカの移民文化」②	課題への取り組み
	13	「ラテンアメリカの移民文化」③	課題への取り組み
	14	(5) 「日本とスペイン語圏の交流」①	課題への取り組み
15	「日本とスペイン語圏の交流」②	課題への取り組み	
16	「日本とスペイン語圏の交流」③	課題への取り組み	
	テキスト・参考文献・資料など テーマに応じて、プリント資料を配布します。進度やマテリアルは、履修者の関心や習熟度に沿って調整する場合があります。		
	学びの手立て ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。クラスメートと興味関心を共有しながら、各自の課題設定をします。 ・興味関心のあるテーマ、国や地域、文化現象、そして何よりも人々との出会いが重要です。引き続き学びを継続していくための、大きな原動力になります。		
	評価 調査発表（50%）、参加（50%）をあわせて総合的に評価します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 留学や検定試験などの具体的目標を設定し、スペイン語世界との出会いを大切にしながら、夢の実現に向けて努力を続けていきましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究 I - B	後期	火 3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	1年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を準備中の人に対する事前学習の場として位置付けられている。また、韓国語IVまで履修済みでより上級レベルを目指す人にとっては、自分の語学力を極める場とする。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して、グローバル社会で活躍できる人材としての自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの内容が理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連する全般的なテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の中級～高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	
	2	自習課題の設定	
	3	連体形・不規則用言の復習	自習
	4	使役・受身のまとめ①、自習課題の取り組み	受身・使役の復習、自習
	5	使役・受身のまとめ②、自習課題の取り組み	受身・使役の復習、自習
	6	使役・受身のまとめ③、自習課題の取り組み	受身・使役の復習、自習
	7	グループ発表の準備①	グループ発表の担当部分準備
	8	グループ発表の準備②	グループ発表の担当部分準備
9	グループ発表	グループ発表の担当部分準備	
10	作文①、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
11	作文②、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
12	作文③、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
13	ペア作業の準備①	ペア作業の担当部分準備	
14	ペア作業の準備②	ペア作業の担当部分準備	
15	ペア作業による期末テスト	ペア作業の担当部分準備	
16	まとめ		
実践	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・必要に応じて随時紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談があるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、留学を目指すものとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業での発言・態度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・留学選考に合格した人は、留学済みの人と協同で、留学準備に徹しましょう。 ・留学前に関連の検定試験(中級以上)にチャレンジしましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	俞 炳強	2年	yu@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎（文型・音韻）が既習されているのが前提です。中国語で最も重要な声調の発声、聞き取りを意識しながら会話ができるようになりましょう。	メッセージ 語彙が勝負です。日頃から中国語と日本語の違いを意識して語彙を増やしましょう。毎日3単語を最低目標にしましょう。また授業は履修者の習得度によりグループ分けして進めます。
	到達目標 自分の思ったことを性格に伝えられるようになるために文型と適切な語彙を習得する。相手の発話を理解するためにも多様な語彙と表現を学習します。中検3～2級を目標にしてください。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	既習事項の確認
	3	自己の弱点の把握と今後の課題設定	自己分析と目標設定
	4	課題①の提示： 翻訳と音読	辞書の活用と暗記
	5	同上	同上
	6	課題②の提示： 翻訳と音読	同上
	7	同上	同上
	8	中間テスト	
9	対象動画の選択と字幕スーパーの作成方法の紹介	PC操作の理解と実習	
10	実技：翻訳	辞書の活用	
11	同上	同上	
12	実技：翻訳と入力	実技（入力）	
13	発表と修正	プレゼン	
14	同上	同上	
15	発表と修正	同上	
16	評価と総括	自己分析と目標設定	
実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定しませんが、トピックは事前に提示しみんなて決定します。辞書は必須です。		
	学びの手立て 機会を作って中国語版の映画やDVDを鑑賞してください。カラオケで中国語の歌詞で歌うのも自信がつく秘訣です。		
	評価 課題①②で各20%、字幕作成20%、プレゼン20%、中間テスト20%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 既存のDVD作品の翻訳と字幕作成で自信をつけたはずです。更なる高みを目指して外国語研究Ⅰ-B、外国語研究Ⅱ-Bの履修を勧めます。また検定試験や通訳試験などにチャレンジしてください。
-------	---

※ポリシーとの関連性 フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子	2年	miyazato@ll.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランス語中級クラスを受講した後、さらにフランス語の実践能力を培うため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、様々な状況に対応した会話などに取り組みます。	メッセージ この授業は、レンヌ大学への交換留学から帰国した人を対象としたクラスになっています。これから留学を予定している学生のクラスと合併授業ですが、留学先で培った語学力を保ち、さらにステップアップも目指しましょう。また、授業ではこれから留学へ行く後輩たちへのアドバイスをお願いすることもあります。
	到達目標 DELTAの問題など様々なシチュエーションの会話や文書等を見ていながら、留学生活を含め、これまで培ってきたフランス語の聴く、読む、書く、話すという技能をさらに高めることを目標とします。また、実際に見聞きしてきたフランスやヨーロッパの文化や社会事情をクラスで発表・議論することで、より深く考え、フランス語でさらに情報収集する・発信する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習の振り返り
	2	聴き取り・会話と文法の確認	読解の予習
	3	読解	練習問題
	4	作文	作文の仕上げ
	5	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	6	読解	練習問題
	7	作文	作文の仕上げ
	8	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	9	読解	練習問題
	10	作文	作文の仕上げ
	11	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	12	読解	練習問題
	13	作文	作文の仕上げ
	14	後期のまとめ	テストに向けての復習
	15	後期のまとめ	テストに向けての復習
	16	期末テスト	
	テキスト・参考文献・資料など 授業の中でプリントを配付します。		
	学びの手立て 外国語研究Iを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業で上級フランス語を学習することにより、「仏検（フランス語技能検定試験）」や「DELTA」の受験が可能です。また、交換留学後はフランスへの進学、フランス語を生かしての就職などの可能性も広がります。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業では、スペイン留学から帰国した学生、これから留学する学生、中級スペイン語履修後の継続学習を希望する学生を対象に、実践的なスペイン語力向上の場を提供します。授業内アクティビティや音響・映像資料等を用いて、「読む、書く、聞く、話す」の4技能をさらに磨いていきます。	メッセージ 欧米文化圏、特にスペイン語話者の世界における自己意識や対他関係のあり方についての理解を深め、異文化能力を高めていきましょう。学習意欲と好奇心あふれる学生の参加を期待します。
	到達目標 具体的なシチュエーションにおけるスペイン語表現を体得し、スペイン語で的確に理解・対応できるようになる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーションとレベルチェック	シラバスの熟読
	2	Situación (1) 状況理解	課題への取り組み
	3	発展練習	課題への取り組み
	4	リスニングと読解	課題への取り組み
	5	Situación (2) 状況理解	課題への取り組み
	6	発展練習	課題への取り組み
	7	リスニングと読解	課題への取り組み
	8	Situación (3) 状況理解	課題への取り組み
	9	発展練習	課題への取り組み
	10	リスニングと読解	課題への取り組み
	11	Situación (4) 状況理解	課題への取り組み
	12	発展練習	課題への取り組み
	13	リスニングと読解	課題への取り組み
	14	Situación (5) 状況理解	課題への取り組み
15	発展練習	課題への取り組み	
16	リスニングと読解	課題への取り組み	
	テキスト・参考文献・資料など ・プリントを配布します。進度やマテリアルは履修者の関心や習熟度に沿って調整する場合があります。		
	学びの手立て ・初回にオリエンテーションとレベルチェックを行いますので、必ず出席してください。 ・スペイン語圏の映画鑑賞がお勧めです。ジェスチャーや表情なども含めた人々のやりとりをよく観察して、実際にスペイン語が話されている状況やそこに展開される人間関係のあり方を感じ取って下さい。色彩感覚などの美意識や価値感の相違も興味深く映じることでしょう。文字情報のみならず、その言葉を話す人々の顔や声を具体的にイメージすることが大切です。もっとスペイン語を理解できるようになりたい、使えるようになりたい、という気持ちが高まるはずです。		
	評価 課題 (30%)、平常点 (50%)、筆記・オーラルテスト (20%) をあわせて総合的に評価します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 上位科目は外国語研究IIです。スペイン語圏に関するさまざまなトピックを通じて、異文化社会に生きる人々への想像力を育てていきましょう。さらなる語学力アップを目指す方には、継続履修がお勧めです。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-A	前期	火3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を経験した人の語学力保持および更なる上達の間として位置づけられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して得た力を用いて、グローバル社会で活躍できる自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容に関しても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	
	2	自習課題の設定	
	3	会話①、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	4	会話②、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	5	会話③、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	6	グループ発表の準備①	グループ発表の担当部分準備
	7	グループ発表の準備②	グループ発表の担当部分準備
	8	グループ発表	グループ発表の担当部分準備
	9	読解とシャドイング①、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	10	読解とシャドイング②、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	11	読解とシャドイング③、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	12	読解とシャドイング④、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	13	ペア作業の準備①	ペア作業の担当部分準備
	14	ペア作業の準備②	ペア作業の担当部分準備
15	ペア作業による期末テスト	ペア作業の担当部分準備	
16	まとめ		
	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・長渡陽一(2009)『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク ・川越菜穂子(2012)『こだわり韓国語』三修社 ・その他、必要に応じて紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業での発言・態度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・関連検定試験の合格(上級)を目指しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	火4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 後期の外国語研究IIでは、スペイン留学から帰国した学生、これから留学する学生、中級スペイン語履修後の継続学習を希望する学生を対象に、スペイン語圏の社会文化について調べ発表する場を提供します。言語の背景にある人々の生活や意識へのアプローチを通じて、「読む、書く、聞く、話す」の4技能をさらに磨いていきましょう。	メッセージ スペイン語圏の<いま>を学び、スペイン語を話す人々と交流していくための基盤づくりをしましょう。意欲と好奇心あふれる学生の参加を期待します。
	到達目標 自分で設定したテーマについて、スペイン語で検索・調査し発表することができる。今後自立したスペイン語学習者として学びを継続し、社会に還元していくために必要な調査力と発信力を獲得するためです。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：レベルチェック、興味関心の共有、各自の課題設定	シラバスの熟読
	2	(1) 「スペイン/スペイン語圏の形成」①	課題への取り組み
	3	「スペイン/スペイン語圏の形成」②	課題への取り組み
	4	「スペイン/スペイン語圏の形成」③	課題への取り組み
	5	(2) 「メキシコの現在」①	課題への取り組み
	6	「メキシコの現在」②	課題への取り組み
	7	「メキシコの現在」③	課題への取り組み
	8	(3) 「アメリカ合衆国のスペイン語」①	課題への取り組み
	9	「アメリカ合衆国のスペイン語」②	課題への取り組み
	10	「アメリカ合衆国のスペイン語」③	課題への取り組み
	11	(4) 「ラテンアメリカの移民文化」①	課題への取り組み
	12	「ラテンアメリカの移民文化」②	課題への取り組み
	13	「ラテンアメリカの移民文化」③	課題への取り組み
	14	(5) 「日本とスペイン語圏の交流」①	課題への取り組み
15	「日本とスペイン語圏の交流」②	課題への取り組み	
16	「日本とスペイン語圏の交流」③	課題への取り組み	
	テキスト・参考文献・資料など テーマに応じて、プリント資料を配布します。進捗やマテリアルは、履修者の関心や習熟度に沿って調整する場合があります。		
	学びの手立て ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。クラスメートと興味関心を共有しながら、各自の課題設定をします。 ・興味関心のあるテーマ、国や地域、文化現象、そして何よりも人々との出会いが重要です。引き続き学びを継続していくための、大きな原動力になります。		
	評価 調査発表（50%）、参加（50%）をあわせて総合的に評価します。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 留学や検定試験などの具体的目標を設定し、スペイン語世界との出会いを大切にしながら、夢の実現に向けて努力を続けていきましょう。
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ－B	後期	木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	俞 炳強	2年	yu@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ウェブや辞書などあらゆる手段を活用して情報を収集し、日本との違いや共通点を理解できるようにしたい。また自分の意思を伝えたり相手の発話を理解できるように語学力を磨く。	メッセージ ある程度の中国語力を有するのが前提です。このクラスでは正確な意味の理解、適切な表現を目指します。中国語の歌、映画、小説、漫画・・・どっぷり浸かってください。また授業は履修者の習得度によりグループ分けして進めます。
	到達目標 中国語の表現力を培う目的で短編小説、童話、漫画などを教材に使用し、各自に翻訳とナレーションを課題とします。中国語検定3級以上を目標に設定した講義です。豊富な語彙力と多くの表現を習得します。中国語での会話力を高めるため毎回トピックを提示して数分間の会話をします。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	PC機器の使い方および注意事項
	2	習得度テスト	弱点の把握と課題の発見
	3	課題文①の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	4	関連項目の検索と資料作成	同上
	5	課題②の提示：朗読と質疑応答（中国語）	沖縄の紹介文（中国語）を理解
	6	関連項目の検索と資料作成	同上
	7	第1回 まとめテスト	課題分①②の理解度テスト
	8	プレゼン課題の選択	プレゼンの決定（紹介文）
学びの実践	9	プレゼン資料の作成	プレゼン作成
	10	同上	同上
	11	同上	同上
	12	プレゼンの実施 質疑応答	プレゼン実施
	13	同上	同上
	14	総括 質疑応答	理解と修正
	15	第2回 まとめテスト	プレゼン内容のチェックと理解
	16	評価と総括	今後の課題発見
学びの実践	テキスト・参考文献・資料など 特に指定はしませんが辞書は必須です。トピックおよび翻訳する作品は事前に提示しみんなで決定します。		
学びの実践	学びの手立て 日頃から中国語の発話機会を積極的に探す。中国語版DVDを鑑賞したりカラオケなどで中国語の歌詞と日本語の歌詞で歌うなど中国語の世界に触れるようにする。		
学びの実践	評価 課題①②で各15%、プレゼン30%、第1回テスト20%、第2回テスト20%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 検定試験や通訳試験に挑戦したり中国語スピーチコンテストに横暴したり、積極的に中国語を使いましょう。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	火3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	李 ヒョンジョン	2年	hlee@okiu.ac.jp 授業後にも受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は、韓国留学(交換および私費留学)を経験した人の語学力保持および更なる上達の間として位置づけられている。	メッセージ 留学は、これまで学んできた韓国語をより極めるためでもあり、異なる社会で日本・沖縄を見つめることによってより自分の視野を広げるためでもあります。留学を通して得た力を用いて、グローバル社会で活躍できる自分を目指しましょう！
	到達目標 ・ニュースや新聞などの時事的な内容はもちろん、アカデミック分野の内容に関しても理解できる。 ・韓国の社会・文化背景に対する内容を全般的に理解し、文章化することができる。 ・韓国と関連するテーマについて4技能(読む・書く・聞く・話す)を十分活かすことができる。 ・韓国語能力試験またはハングル能力検定試験の高級(上級)獲得ができる。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、レベルチェック	
	2	自習課題の設定	
	3	連体形・不規則用言の復習	自習
	4	会話①、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	5	会話②、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	6	会話③、自習課題の取り組み	新語彙・文型チェック
	7	グループ発表の準備①	グループ発表の担当部分準備
	8	グループ発表の準備②	グループ発表の担当部分準備
9	グループ発表	グループ発表の担当部分準備	
10	作文①、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
11	作文②、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
12	作文③、自習課題の取り組み	作文作業、自習	
13	ペア作業の準備①	ペア作業の担当部分準備	
14	ペア作業の準備②	ペア作業の担当部分準備	
15	ペア作業による期末テスト	ペア作業の担当部分準備	
16	まとめ		
実践	テキスト・参考文献・資料など ・配布プリントおよびCALL教材を使用するため、別途のテキスト指定は無い。 ・授業で扱ってほしい学習リソースがある場合は全員で共有する。 ・長渡陽一(2009)『韓国語の発音と抑揚トレーニング』アルク ・川越菜穂子(2012)『こだわり韓国語』三修社 ・その他、必要に応じて紹介する。		
	学びの手立て ・初日は履修に関する相談およびレベルチェックがあるため、必ず出席すること。 ・上級レベルとして、日々の自習に心掛けること。		
	評価 ・授業での発言・態度(30%)、期末試験(30%)、小テスト・課題(40%)の平均により評価する。 ・授業回数の1/3以上欠席の場合は不可とする。		

学びの継続	次のステージ・関連科目 ・関連検定試験の合格(上級)を目指しましょう。 ・より韓国に焦点を当てて考察したいと思う人は、共通演習科目「国際理解課題研究」もお勧めです。
-------	--

※ポリシーとの関連性

フランス語やフランスまたはヨーロッパの文化を学ぶことで国際性やコミュニケーション能力の向上を目指します。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	外国語研究Ⅱ-B	後期	月2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-宮里 厚子	2年	miyazato@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい フランスでの留学生生活を体験した後、さらにフランス語の実践能力を培うため、フランス語で書かれたテキストを読むことや、フランス語で語られたことを聴き取る・書き取ること、作文、様々な状況に対応した会話などに取り組みます。	メッセージ この授業は、レンヌ大学への交換留学から帰国した人を対象としたクラスになっています。これから留学を予定している学生のクラスと合併授業ですが、留学先で培った語学力を保ち、さらにステップアップも目指しましょう。また、授業ではこれから留学へ行く後輩たちへのアドバイスをお願いすることもあります。
	到達目標 DELTAの問題など様々なシチュエーションの会話や文書等を見ていながら、留学生活を含め、これまで培ってきたフランス語の聴く、読む、書く、話すという技能をさらに高めることを目標とします。また、実際に見聞きしてきたフランスやヨーロッパの文化や社会事情をクラスで発表・議論することで、より深く考え、フランス語でさらに情報収集する・発信する力を養うことも目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	これまでの学習の振り返り
	2	聴き取り・会話と文法確認	読解の予習
	3	読解	練習問題
	4	作文	作文の仕上げ
	5	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	6	読解	練習問題
	7	作文	作文の仕上げ
	8	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	9	読解	練習問題
	10	作文	作文の仕上げ
	11	聴き取り・会話、文法の確認	読解の予習
	12	読解	練習問題
	13	作文	作文の仕上げ
	14	後期のまとめ	テストに向けての復習
	15	後期のまとめ	テストに向けての復習
	16	期末テスト	
	テキスト・参考文献・資料など 授業の中でプリントを配付します。		
	学びの手立て 外国語研究Iを履修済みであること、または同等の知識があることが履修条件です。フランス語を身に付けてもらうためには毎回休まずに授業に出席することはもちろんですが、授業外での努力も必要ですので、課題の提出や復習などの自主学習が求められます。		
	評価 読解と作文の試験：35% 聴き取り・書き取りと会話の試験：35% 課題提出：30%		

学びの継続	次のステージ・関連科目 この授業で上級フランス語を学習することにより、「仏検（フランス語技能検定試験）」や「DELTA」の受験が可能です。また、交換留学後はフランスへの進学、フランス語を生かしての就職などの可能性も広がります。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	全学年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語は、世界で4億人の人が話されていると言われます。このスペイン語の基礎を、アルファベットの発音からはじめ、現在形動詞活用を学びながら、簡単な会話ができるようになります。又、音楽やDVDを見ながら、スペイン語圏の文化にも触れます。</p>	<p>半年かけて、スペイン語の規則活用動詞の現在形の活用を学びます。口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対照を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れていきましょう。また、DVDなども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も取り上げます。</p>

到達目標	<p>(1) スペイン語の簡単な文を作ることができるようになります。 (2) スペイン語の文法的特徴に慣れるようになります。 (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の紹介(1) 言語の特徴	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の紹介(2) スペイン語圏の国々の文化紹介	授業の復習
	3	アルファベット	同上
	4	発音練習	同上
	5	アクセントの位置	同上
	6	挨拶練習	練習問題の宿題
	7	名詞の性と数	練習問題の復習
	8	冠詞(定冠詞/不定冠詞)	同上
	9	形容詞の性と数	同上
	10	疑問文・会話練習	同上
	11	人称代名詞	同上
	12	ser 動詞の活用(1) 応用	練習問題の宿題
	13	ser 動詞の活用(2) 実践	練習問題の復習
	14	tener 動詞の活用(1) 応用	練習問題の復習
	15	tener 動詞の活用(2) 実践	総復習
	16	1課～4課の復習・会話練習	テスト勉強
	17	小テスト・数字(20まで)	テストの見直し
	18	estar 動詞の活用(1) 応用	練習問題の宿題
	19	estar 動詞の活用(2) 実践	練習問題の復習
	20	ser / estar 動詞の用法・実践	同上
	21	直説法現在形 -ar 動詞の活用・実践	同上
	22	直説法現在形 -er 動詞の活用・実践	同上
	23	直説法現在形 -ir 動詞の活用・実践	テストの勉強
	24	直説法現在形動詞の総復習・クイズ	テストの見直し
	25	数字(21～60まで)・時間の表現	練習問題の復習
	26	直説法不規則動詞 ir(行く)の用法・実践	同上
	27	直説法不規則動詞 hacer の用法・実践	同上
	28	直説法不規則動詞 querer の用法・実践	同上
	29	直説法不規則動詞の復習・数字(61～100まで)	同上
30	スペイン語 I の総復習	テストの勉強	
31	期末テスト・まとめ	テストの見直し	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon』 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>必ず復習してから授業に出席する。 積極的に質問をし、授業中に解決すること。 言葉を学ぶためには失敗はかせません。 言語は失敗あつての上達。ミスを気にしないで一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>テスト3回 X 30点 = 90点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語 I を受講した学生はスペイン語 II を取る際には同じ講師を選択してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [人福]	1年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語は、世界で4億人の人が話されていると言われます。このスペイン語の基礎を、アルファベットの発音からはじめ、現在形動詞活用を学びながら、簡単な会話ができるようになります。又、音楽やDVDを見ながら、スペイン語圏の文化にも触れます。</p>	<p>半年かけてスペイン語の規則活用動詞の現在形の活用を学びます。口頭での受け答え練習や、時には、英語との比較対象を通して、スペイン語の文法的特徴に慣れていきましょう。また、DVDなども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も取り上げます。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の簡単な文を作ることができるようになります。 (2) スペイン語の文法的特徴に慣れるようになります。 (3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解できるようになります。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の紹介 (1) 言語の特徴	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の紹介 (2) スペイン語圏の国々の文化紹介	授業の復習
	3	アルファベット	同上
	4	発音練習	同上
	5	アクセントの位置	同上
	6	挨拶練習	練習問題の宿題
	7	名詞の性と数	練習問題の復習
	8	冠詞 (定冠詞・不定冠詞)	同上
	9	形容詞の性と数	同上
	10	疑問文・会話練習	同上
	11	人称代名詞	同上
	12	ser 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	13	ser 動詞の活用 (2) 実践	練習問題の復習
	14	tener 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の復習
	15	tener 動詞の活用 (2) 実践	総復習
	16	1課～4課の復習・会話練習	テスト勉強
	17	小テスト・数字 (20 まで)	テストの見直し
	18	estar 動詞の活用 (1) 応用	練習問題の宿題
	19	estar 動詞の活用 (2)	練習問題の復習
	20	ser / estar	同上
	21	直説法現在形 -ar 動詞の活用・実践	同上
	22	直説法現在形 -er 動詞の活用・実践	同上
	23	直説法現在形 -ir 動詞の活用・実践	テストの勉強
	24	直説法現在形動詞の総復習・クイズ	テストの見直し
	25	数字 (21～60 まで) ・時間の表現	練習問題の復習
	26	直説法不規則動詞 ir (行く) の用法・実践	同上
	27	直説法不規則動詞 hacer の用法・実践	同上
	28	直説法不規則動詞 querer の用法・実践	同上
	29	直説法不規則動詞の復習・数字 (61～100 まで)	同上
30	スペイン語 I の総復習	テストの勉強	
31	期末テスト・まとめ	テストの見直し	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「Bienvenidos a Japón」 Makiko Sho, F. Kohatsu, P. Matayoshi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 必ず復習してから授業に出席する。 積極的に質問をし、授業中に解決すること。 言葉を学ぶためには失敗は欠かせません。 言語は失敗あつての上達。ミスを気にしないで一緒に頑張りましょう！</p>
学 び の 継 続	<p>評価 テスト 3 回 x 30点 = 90点、会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 スペイン語 I を受講した学生はスペイン語 II には同じ講師を選択してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子 [日文・社文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	主に初めてスペイン語を学ぶ学生を対象に開講します。スペイン語学習を通じて、スペイン語圏の社会、文化、人々に興味関心をもつきっかけをつくります。初歩的なスペイン語文法を学びながら、スペイン語で挨拶や自己紹介する楽しさを体験することから始めましょう。	スペイン語は20以上の国と地域で話されているグローバル言語です。沖縄とスペイン語圏には、多くの人々の移住経験を通じた特別なつながりもあります。ヨーロッパ・アメリカ大陸に広がるスペイン語世界を学び、新しい角度から沖縄を考えてみませんか？
到達目標	(1) スペイン語で挨拶や自己紹介ができるようになる。 (2) スペイン語検定6級程度の平易なスペイン語文を理解することができる。 (3) スペイン語圏の社会や文化、そこに住まう人々の生活や習慣に関する知識を豊かにする。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	導入：スペイン語・スペイン語圏に触れる	シラバスの熟読
	2	Lección 1. はじめまして：発音練習（アルファベットとアクセント）①	音読、意味調べ、練習問題
	3	発音練習（アルファベットとアクセント）②	音読、意味調べ、練習問題
	4	Lección 2. お勘定お願いします：名詞の性と数、冠詞①	音読、意味調べ、練習問題
	5	バルで注文する：名詞の性と数、冠詞②	p. 10-13の復習
	6	小テスト（第1課、第2課）と復習	小テストの準備
	7	Lección 3. 僕はディエゴです：主格人称代名詞とser動詞、形容詞①	音読、意味調べ、練習問題
	8	ブエノスアイレスの出身です：主格人称代名詞、ser動詞、形容詞②	音読、意味調べ、練習問題
	9	明るい性格です：主格人称代名詞、ser動詞、形容詞③	p. 14-17の復習
	10	小テスト（第3課）と復習	小テストの準備
	11	Lección 4. この辺りに銀行はありますか？：estar動詞	音読、意味調べ、練習問題
	12	迷子になってしまいました：serとestarの使い分け	音読、意味調べ、練習問題
	13	銀行は病院の隣にあります：ser, estar, hayの用法と使い分け	p. 18-21の復習
	14	小テスト（第4課）と復習	小テストの準備
	15	Lección 5. 旅行するためにスペイン語を学んでいます：-ar, -er, -ir動詞①	音読、意味調べ、練習問題
	16	ディエゴは友達と日本語を習っています：-ar, -er, -ir動詞②	音読、意味調べ、練習問題
	17	私の祖母はアルゼンチンに住んでいます：-ar, -er, -ir動詞③	p. 22-25の復習
	18	小テスト（第5課）と復習	小テストの準備
	19	Lección 6. 向こうではどんな天気ですか？：天気表現	音読、意味調べ、練習問題
	20	何時に昼食をとりますか？：時刻表現	音読、意味調べ、練習問題
	21	エンパナーダを作ります：直接目的人称代名詞	音読、意味調べ、練習問題
	22	君の電話番号を教えてくださいか？：間接目的人称代名詞	p. 26-29の予習・復習
	23	小テスト（第6課）と復習	小テストの準備
	24	Lección 7. 日本料理は好きですか？：gustar型動詞①	音読、意味調べ、練習問題
	25	日本文化に興味があります：gustar型動詞②	音読、意味調べ、練習問題
	26	冬より夏の方が好きです：比較級	音読、意味調べ、練習問題
	27	琵琶湖は日本で一番大きな湖です：最上級	p. 30-33の予習・復習
	28	小テスト（第7課）と復習	小テストの準備
	29	総復習	前期の学習をふりかえる
30	期末試験	前期の総復習	
31	まとめ	今後の課題発見	

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア『¡Bienvenidos a Japón! (ディエゴと日本再発見!)』朝日出版社、2016年。(2,415円)</p> <p>【参考書・資料】 授業資料を学習内容や進度に合わせて適宜配布します。辞書は初回授業時に説明します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。学科指定と年次を確認しましょう。 ・授業回数の3分の1以上欠席した場合、単位取得できません。 ・ペアワークやグループワークをしますので、クラスメートと協力しましょう。 ・学習したフレーズを何度も音読してみてください。毎回必ず復習して、スペイン語で表現できる喜びを実感できるように、一歩ずつ着実に進んでいきましょう。学生時代の学びは、自分自身を生涯支えてくれます。
	<p>評価</p> <p>平常点50%（出席、態度、参加、小テスト）と期末試験50%をあわせて総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>上位科目は後期のスペイン語IIです。レベルアップや交換留学を目指す方には、10月に実施されるスペイン語検定6級の受験がお勧めです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受けします。 (メールでの対応は行いません)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。講義ではテキストとともに副教材として歌や映像などを使ってスペイン語の基礎文法を学ぶだけではなく、スペイン語圏の国々の社会、文化、人々などに興味を持つことを目的とする。さらなるスペイン語圏の出身の留学生や一般の方々とコミュニケーションができることも目指す。	ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかりと覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo

到達目標	① スペイン語検定6級程度のスペイン語を理解することができる。 ② スペイン語の基礎文法を学び、自己紹介や簡単な会話などをできるようになる。 ③ スペイン語圏の国々の事情及び文化などについて知識を豊かにし、異文化理解を深めるようにする。
------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)	音読、意味調べ、練習問題
	3	あいさつ、名詞の性と数、発音の復習	音読、意味調べ、練習問題
	4	冠詞(定冠詞と不定冠詞)	音読、意味調べ、練習問題
	5	HAY動詞、数字0～10 Introducción、第1課と第2課の復習	p. 2～13の復習
	6	第1回テスト: Introducción、第1課と第2課	テスト勉強
	7	主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	8	SER動詞+名詞 (職業・国籍)	音読、意味調べ、練習問題
	9	形容詞、感嘆文、自己紹介	音読、意味調べ、練習問題
	10	ESTAR動詞、場所を示す単語	音読、意味調べ、練習問題
	11	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け 第3課と第4課の復習	p. 12～21の復習
	12	第2回テスト: 第3課と第4課	テスト勉強
	13	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞	音読、意味調べ、練習問題
	14	-erと-ir動詞の直説法現在形の活用、疑問詞	音読、意味調べ、練習問題
	15	規則動詞の直説法現在形の活用の復習、数字11～100	動詞の活用と語彙の復習
	16	所有形容詞、家族に関する語彙 (課題: 自己紹介と家族について作文を書く)	音読、意味調べ、練習問題
	17	第5課の復習	p. 22～25の復習
	18	第3回テスト: 第5課	テスト勉強
	19	数字の復習、日付と時刻表現	音読、意味調べ、練習問題
	20	日常生活について会話練習 (動詞の直説法現在形の活用、日付と時刻の復習)	第1回～20回までの復習
	21	値段を尋ねる、数字100～	音読、意味調べ、練習問題
	22	天気表現、2018年FIFAワールドカップ(スペイン語圏の国々の出場、試合会場、日程など)	音読、意味調べ、練習問題
	23	第6課の復習	p. 26～29の復習
	24	第4回テスト: 第6課	テスト勉強
	25	間接目的格人称代名詞、GUSTAR動詞の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用 体の部分	音読、意味調べ、練習問題
	27	GUSTAR型動詞 + 比較級	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備、スペインの夏祭りの紹介	第1課～7課の重要な表現の復習
	29	第7課の復習	p. 30～33の復習
30	第5回テスト: 第7課	テスト勉強	
31	口頭テスト、まとめ	前期の学習をふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 毎講義にテキスト、ノート、配布されたプリント、筆記用具などを必ず持参すること。 ③ 講義時間外にもテキストのCDを聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ④ 講義内にはペアやグループワークなどがお行いますのでクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ⑤ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑥ 授業中は、マナーを守ること（授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など） ⑦ 講義中には携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用は禁止です。 ⑧ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% 欠席する場合追試が行わいので注意すること。 ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点（出席、授業参加、態度）10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、II を終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [英米]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は4億7千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>
到達目標	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出る。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット・母音・子音とその発音	CDを聞いて発音の特徴になれる
	3	注意に必要な綴りと発音・アクセント・疑問文と否定文	習った単語を発音してみる
	4	名詞の性と数・冠詞 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	5	Hayの用法： 不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	6	主語人称代名詞。動詞serの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	自己紹介、他人の紹介する
	7	冠詞と形容詞のはたらき（名詞との関連性）	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
8	動詞estarの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる（中間試験）	
9	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる	
10	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar、-erと-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します	
11	前置詞 (a, con, de, en)、所有形容詞 (mi, tu)	前置詞、所有形容詞を活かす	
12	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる	
13	感嘆文、天候表現、目的格人称代名詞	文章を書いてみる	
14	Gustar型動詞、比較級、最上級、不定詞を用いた命令	好きな物、場所などについて書く	
15	スペイン語Iの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	
実践	テキスト・参考文献・資料など		
	<p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON!)</p> <p>参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は『西和辞典』（小学館）』</p>		
	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない</p> <p>② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>		
	評価		
	<p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅰ	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [法律・地行]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語を話す国々は21ヶ国、そして、スペイン語を話す人口は4億7千万人です。この講義では、スペイン語の基礎を学び、役に立つ会話を習得し、自己紹介などが出来るようになることを目的とします。また、スペイン語は広い領域で話されているため世界の視野が広がります。教科書とDVDを使用して、スペインとラテンアメリカの社会や文化に関する話題も豊富に取り上げます！</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解するようになる。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて話が出る。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力って何？この授業を通して外国語がどれぐらい話せたら“話せる”という事について議論出来ます。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語の世界： 教室で使う挨拶、話す国々、使用状況	スペイン語圏について調べる
	2	スペイン語の特徴： アルファベット・母音・子音とその発音	CDを聞いて発音の特徴になれる
	3	注意に必要な綴りと発音・アクセント・疑問文と否定文	習った単語を発音してみる
	4	名詞の性と数・冠詞 (amigo, amiga, amigos, amigas)	スペイン語の単語を調べてみる
	5	Hayの用法： 不特定な人や物が存在しているかどうかを表す	文章を書いてみる
	6	主語人称代名詞。動詞serの直説法現在（出身地、主語の特徴、職業を言う）	自己紹介、他人の紹介する
	7	冠詞と形容詞のはたらき（名詞との関連性）	名詞に冠詞と形容詞を付けてみる
	8	動詞estarの直説法現在：主語の居場所を表す、主語の一時的な状態	文章を書いてみる（中間試験）
	9	不定語と否定語：alguno (something), ninguno (nothing)	文章を書いてみる
	10	動詞の直説法現在形（規則活用）：-ar、-erと-ir動詞	動詞の活用の復習・練習します
	11	前置詞 (a, con, de, en)、所有形容詞 (mi, tu)	前置詞、所有形容詞を活かす
	12	時間の表し方：Que hora es? 数字をさらに学ぶ	数字の復習、時間を書いてみる
	13	感嘆文、天候表現、目的格人称代名詞	文章を書いてみる
	14	Gustar型動詞、比較級、最上級、不定詞を用いた命令	好きな物、場所などについて書く
15	スペイン語Ⅰの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	テキスト・参考文献・資料など
	<p>テキスト：朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名：BIENVENIDOS A JAPON!) 参考文献：辞書一冊：電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』（白水社）』 又は『現代スペイン語辞典』（白水社）』 又は『西和辞典』（小学館）』</p>

学びの実践	学びの手立て
	<p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる（質問します）・居眠りはしない（注意されます）・遅刻はしない・欠席しない ② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>

学びの実践	評価
	<p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIが履修できます。スペイン語Iの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。本校ではスペイン語技能検定試験講座あるため学生が資格の取れる環境に恵まれています。試験は1年に2回です。さらに、本校はスペインのレオン大学と国外協定校になっているため交換留学・派遣留学（1年）が可能です。希望者は休学することなく、海外の協定校で1年間学べることはこの科目の特徴の一つです。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [全学科]	2年	授業終了後に教室で受けします。 (メールでの対応は行いません)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>初めてスペイン語を学ぶ学生のための入門クラスです。講義ではテキストとともに副教材として歌や映像などを使ってスペイン語の基礎文法を学ぶだけではなく、スペイン語圏の国々の社会、文化、人々などに興味を持つことを目的とする。さらにスペイン語圏の出身の留学生や一般の方々とコミュニケーションができることも目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>① スペイン語検定6級程度のスペイン語を理解することができる。 ② スペイン語の基礎文法を学び、自己紹介や簡単な会話などをできるようになる。 ③ スペイン語圏の国々の事情及び文化などについて知識を豊かにし、異文化理解を深めるようにする。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・スペイン語の世界及びスペイン語圏の国々の紹介	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語の特徴(アルファベット、発音、アクセント)	音読、意味調べ、練習問題
	3	あいさつ、名詞の性と数、発音の復習	音読、意味調べ、練習問題
	4	冠詞(定冠詞と不定冠詞)	音読、意味調べ、練習問題
	5	HAY動詞、数字0～10 Introducción、第1課と第2課の復習	p. 2～13の復習
	6	第1回テスト: Introducción、第1課と第2課	テスト勉強
	7	主語人称代名詞、SER動詞の直接法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	8	SER動詞+名詞 (職業・国籍)	音読、意味調べ、練習問題
	9	形容詞、感嘆文、自己紹介	音読、意味調べ、練習問題
	10	ESTAR動詞、場所を示す単語	音読、意味調べ、練習問題
	11	SER動詞、ESTAR動詞とHAY動詞の使い分け 第3課と第4課の復習	p. 12～21の復習
	12	第2回テスト: 第3課と第4課	テスト勉強
	13	-ar動詞の直説法現在形の活用、前置詞	音読、意味調べ、練習問題
	14	規則動詞の直説法現在形の活用、疑問詞	音読、意味調べ、練習問題
	15	-ar, -erと-ir動詞の直説法現在形の活用の復習、数字11～100	動詞の活用と語彙の復習
	16	所有形容詞、家族に関する語彙 (課題: 自己紹介と家族について作文を書く)	音読、意味調べ、練習問題
	17	第5課の復習	p. 22～25の復習
	18	第3回テスト: 第5課	テスト勉強
	19	数字の復習、日付と時刻表現	音読、意味調べ、練習問題
	20	日常生活について会話練習 (動詞の直説法現在形の活用、日付と時刻表現の復習)	第1回～20回までの復習
	21	値段を尋ねる、数字100～	音読、意味調べ、練習問題
	22	天気表現、2018年FIFAワールドカップ(スペイン語圏の国々の出場、試合会場、日程など)	音読、意味調べ、練習問題
	23	第6課の復習	p. 26～29の復習
	24	第4回テスト: 第6課	テスト勉強
	25	間接目的格人称代名詞、GUSTAR型の動詞の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	ENCANTAR、INTERESAR、DOLER動詞の活用 体の部分	音読、意味調べ、練習問題
	27	GUSTAR型動詞 + 比較級	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備、スペインの夏祭りの紹介	第1課～7課の重要な表現の復習
29	第7課の復習	p. 30～33の復習	
30	第5課テスト: 第7課	テスト勉強	
31	口頭テスト、まとめ	前期の学習をふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 毎講義にテキスト、ノート、配布されたプリント、筆記用具などを必ず持参すること。 ③ 講義時間外にもテキストのCDを聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ④ 講義内にはペアやグループワークなどがお行いますのでクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ⑤ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑥ 授業中は、マナーを守ること（授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など） ⑦ 講義中には携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用は禁止です。 ⑧ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% 欠席する場合追試が行わいので注意すること。 ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点（出席、授業参加、態度）10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、II を終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [全学]	全学年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1. スペイン語の規則動詞の現在形の活用を出来るようになり、簡単な文を作ることができる。</p> <p>2. 口頭での簡単な受け答えをできるようにする。</p> <p>3. ビデオ教材なども使用して、スペイン、ラテンアメリカの社会や文化に関する話題も身に着けるようになる。</p>	<p>スペイン語入門Ⅰの続きです。今回は点過去形、線過去形、未来形の動詞活用を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の購読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、スペイン語入門Ⅰと同様、音楽、視聴覚教材などを利用し、文法及びスペインと中南米の社会・文化事情・生活習慣の紹介をしていきます。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の過去形、未来形の活用ができるようになります。</p> <p>(2) 口頭での受け答えに慣れ、簡単なコミュニケーションができるようになる。</p> <p>(3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解ができるようになる。</p> <p>(4) スペイン語検定試験の6級合格をめざす。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	スペイン語Ⅰの復習(1) テストと解説	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰの復習(2) 補足説明	授業のおさらい
	3	スペイン語検定試験6級対策(1) アクセントの位置～現在形規則動詞活用	練習問題の復習
	4	スペイン語検定試験6級対策(2) 不規則動詞 ser / estar 動詞の応用	同上
	5	天気・天候・季節	練習問題の復習
	6	疑問詞の使い方・会話練習	同上
	7	直説法点過去形規則動詞-ar 動詞活用・応用	同上
	8	直説法点過去形規則動詞-er 動詞活用・応用	同上
	9	直説法点過去形規則動詞-ir 動詞活用・応用	同上
	10	直説法点過去形不規則動詞 ser 動詞とir動詞活用・応用	同上
	11	直説法点過去不規則動詞 venir 動詞活用・応用	同上
	12	直接動詞点過去形規則動詞・不規則動詞の復習	同上
	13	曜日・月・会話練習	同上
	14	所有形容詞・応用	テスト勉強
	15	直説法点過去形～所有形容詞 復習・小テスト	テストの見直し
	16	指示形容詞・文化習慣の紹介	練習問題の復習
	17	指示代名詞・応用	同上
	18	直説法線過去形-ar 動詞活用・応用	同上
	19	直説法線過去形-er 動詞、-ir 動詞活用・応用	同上
	20	未来形規則動詞活用・応用	同上
	21	未来形不規則動詞活用・応用	同上
	22	再帰動詞現在形活用・応用	テスト勉強
	23	指示形容詞～再帰動詞現在形活用 復習・クイズ	テストの見直し
	24	現在進行形-ar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	25	現在進行形-er 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	26	現在進行形不規則動詞活用・応用	練習問題の復習
	27	gustar 動詞現在形活用・応用	同上
	28	encantar 動詞、interesar 動詞活用・応用	同上
	29	好みや趣味を使って会話練習	同上
30	スペイン語Ⅱの総復習	テストの勉強	
31	期末試験・まとめ	テストの見直し	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon』 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>必ず復習してから授業に出席する。 授業中に携帯電話、スマートフォンなどの通信機器類の使用は禁止！ 質問や相談など授業時間に回答します。 積極的な授業への参加が望まれます。 言語を学ぶには失敗はつきものです。ミスを恐れずに一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>テスト3回 X 30点 = 90点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅱを受講した学生は、スペイン語Ⅲの受講を勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-上地 リリア [人福]	1年	ptt139@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>1. スペイン語の規則動詞の現在形の活用を出来るようになり、簡単な分を作ることができる。</p> <p>2. 口頭での簡単な受け答えをできるようにする。</p> <p>3. ビデオ教材なども使用して、スペイン、ラテンアメリカ社会や文化に関する話題も身につけるようになる。</p>	<p>スペイン語入門Ⅰの続きです。今回は点過去形、線過去形、未来形の動詞活用を学びます。日常会話のより高度な段階をめざし、簡単なスペイン語の文章の講読が可能になるまでの語学力の習得を目的にする。また、スペイン語入門Ⅰと同様、音楽、視聴覚教材などを利用し、スペイン、中南米の社会・文化事情。生活習慣を紹介をします。</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語の過去形、未来形の活用ができるようになります。</p> <p>(2) 口頭での受け答えに慣れ、簡単なコミュニケーションができるようになる。</p> <p>(3) スペイン語圏の社会や文化に関する話題を理解ができるようになる。</p> <p>(4) スペイン語検定試験の6級合格をめざす。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画	テーマ	時間外学習の内容
	回		
	1	スペイン語Ⅰの復習(1) テストと解説	シラバスをよく読むこと
	2	スペイン語Ⅰの復習(2) 補足説明	授業のおさらい
	3	スペイン語検定試験6級対策(1) アクセントの位置～現在形規則動詞活用	練習問題の復習
	4	スペイン語検定試験6級対策(2) 不規則動詞 ser / estar 動詞の応用	同上
	5	天気・天候・季節	練習問題の復習
	6	疑問詞の使い方・会話練習	同上
	7	直説法点過去形規則動詞-ar 動詞活用・応用	同上
	8	直説法点過去形規則動詞-er 動詞活用・応用	同上
	9	直説法点過去形規則動詞-ir 動詞活用・応用	同上
	10	直説法点過去形不規則動詞 ser 動詞とir動詞活用・応用	同上
	11	直説法点過去不規則動詞 venir 動詞活用・応用	同上
	12	直接動詞点過去形規則動詞・不規則動詞の復習	同上
	13	曜日・月・会話練習	同上
	14	所有形容詞・応用	テスト勉強
	15	直説法点過去形～所有形容詞 復習・小テスト	テストの見直し
	16	指示形容詞・文化習慣の紹介	練習問題の復習
	17	指示代名詞・応用	同上
	18	直説法線過去形-ar 動詞活用・応用	同上
	19	直説法線過去形-er 動詞、-ir 動詞活用・応用	同上
	20	未来形規則動詞活用・応用	同上
	21	未来形不規則動詞活用・応用	同上
	22	再帰動詞現在形活用・応用	テストの勉強
	23	指示形容詞～再帰動詞現在形活用 復習・クイズ	テストの見直し
	24	現在進行形-ar 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	25	現在進行形-er 動詞活用・応用	練習問題の宿題
	26	現在進行形不規則動詞活用・応用	練習問題の復習
	27	gustar 動詞現在形活用・応用	同上
	28	encantar 動詞、interesar 動詞活用・応用	同上
	29	好みや趣味を使って会話練習	同上
30	スペイン語Ⅱの総復習	テストの勉強	
31	期末試験・まとめ	テストの見直し	

	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>「Bienvenidos a Japon」 Makiko Sho, K. Fukuchi, F. Kohatsu, P. Matayoshi 著 (朝日出版社) 授業の進行状況によって作成したプリントを使用する。</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>必ず復習してから授業に出席する。 授業中に携帯電話、スマートフォンなどの通信機器類の使用は禁止！ 質問や相談など授業時間に回答します。 積極的な授業への参加が望まれます。 言語を学ぶには失敗はつきものです。ミスを恐れずに一緒に頑張りましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>テスト3回 X 30点 = 90点、 会話のオーラルチェック、授業への参加 10点 欠席、遅刻は減点の対象になります。 授業を8回以上欠席した学生には、単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅱを受講した学生は、スペイン語Ⅲの受講を勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子[日文・社文]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	日常生活や身の回りのことについてスペイン語で表現する方法を学んでいきます。スペイン語圏の社会や文化、そこに住まう人々の生活や習慣に関するトピックも随時織り込んでいきます。	スペイン語は20以上の国と地域で話されているグローバル言語です。沖縄とスペイン語圏には、多くの人々の移住経験を通じた特別なつながりもあります。ヨーロッパ・アメリカ大陸に広がるスペイン語世界を学び、新しい角度から沖縄を考えてみませんか？
到達目標	(1) 日常生活に役立つ会話表現を学び、一週間の予定や生活習慣について、スペイン語で表現することができる。 (2) スペイン語の基礎文法を習得し、過去の表現を含む平易なスペイン語文を理解することができる。 (3) スペイン語圏の社会や文化、そこに住まう人々の生活や習慣に関する知識を豊かにする。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期ガイダンスと復習①	シラバスの熟読
	2	復習②	課題への取り組み
	3	Lección 8: お腹が空いています: 不規則動詞①tener	tenerの活用と用法を覚える
	4	ラテンアメリカを旅したいです: 不規則動詞②querer	quererの活用と用法を覚える
	5	三味線を弾けますか?: 不規則動詞③poder	poderの活用と用法を覚える
	6	ちゃんと食べてね: アドバイスする	p. 36-39の復習
	7	小テスト(第8課)と復習	小テストの準備
	8	Lección 9. 有名な寺を見学しましょう: 不規則動詞④ir	irの活用と用法を覚える
	9	バルセロナを知っていますか?: 不規則動詞⑤saberとconocer	音読、意味調べ、練習問題
	10	日曜日何をしますか?: 一週間の予定表を作成する	音読、意味調べ、練習問題
	11	スペイン語圏を知る: 疑問詞を用いる疑問文	p. 40-43の復習
	12	小テスト(第9課)と復習	小テストの準備
	13	Lección 10. 何時に起きますか?: 再帰動詞①	音読、意味調べ、練習問題
	14	靴を脱ぎますか?: 再帰動詞②	音読、意味調べ、練習問題
	15	スペインでは4つの言語が話されています: 再帰代名詞seの用法	音読、意味調べ、練習問題
	16	シャワーですか、お風呂ですか?: 生活習慣について話そう	p. 44-47の復習
	17	小テスト(第10課)と復習	小テストの準備
	18	Lección 11. すでにクリスマスパーティーを始めていますよ: 現在分詞と過去分詞	音読、意味調べ、練習問題
	19	もう宿題を終えました: 現在完了①完了	音読、意味調べ、練習問題
	20	メキシコ料理を食べたことがありますか?: 現在完了②経験	音読、意味調べ、練習問題
	21	スペイン映画を観ているところです: 現在進行中の出来事や行為	p. 48-51の復習
	22	小テスト(第11課)と復習	小テストの準備
	23	Lección 12. 温泉に入りました: 点過去①	点過去規則活用の練習
	24	昨日早起きました: 点過去②	点過去不規則活用の練習
	25	子供の頃はいつも早寝していました: 線過去	線過去の練習
	26	祖父は若い頃ペルーに移住しました: 点過去と線過去①	音読、意味調べ、練習問題
	27	祖父は若い頃ペルーに移住しました: 点過去と線過去②	p. 52-55の予習と復習
	28	小テスト(第12課)と復習	小テストの準備
	29	総復習	後期の学習をふりかえる
30	期末試験	後期の総復習	
31	まとめ	今後の課題発見	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】 尚真貴子・福地恭子・小波津フェルナンド・又吉パトリシア著『¡Bienvenidos a Japón! (ディエゴと日本再発見!)』朝日出版社、2013年。(2,415円)</p> <p>【参考書・資料】 授業資料を学習内容や進度に合わせて適宜配布します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。学科指定と年次を確認しましょう。 ・授業回数の3分の1以上欠席した場合、単位取得できません。 ・ペアワークやグループワークをしますので、クラスメートと協力しましょう。 ・学習したフレーズを何度も音読してみてください。毎回必ず復習して、一歩ずつ着実に進んでいきましょう。 <p>学生時代の学びは、自分自身を生涯支えてくれます。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点50%（出席、態度、参加、小テスト）、期末点50%（最終課題）をあわせて総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語I, IIを終了した方には、中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。1年次に学習したスペイン語を深化・発展させていきます。レベルアップを目指す方、交換留学を希望する方は、6月に実施されるスペイン語検定5級を積極的に受験しましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [法律・地行]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)	スペイン語Ⅰの復習をする
	2	語根母音変化動詞 I: 欲する (querer)、出来る (poder) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	3	所有を表す表現: tener動詞	文章を書いてみる
	4	未来を表す表現 (ir動詞、未来形の代用)	自分の未来について書いてみる
	5	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる
	6	Saberとconocer動詞、関係代名詞	知っている場所と人について書く
	7	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く
	8	再起動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる (中間試験)
	9	再起動詞II (意味の強調、再起受け身)	文章を書いてみる
	10	現在分詞 (進行形)	進行形の文書を書いてみる
	11	過去分詞 (現在完了)	現在完了の文書を書いてみる
	12	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる
	13	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く
	14	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる
15	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト: 朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名: BIENVENIDOS A JAPON!)</p> <p>参考文献: 辞書一冊: 電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 又は『西和中辞典』(小学館)』</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる (質問します) ・居眠りはしない (注意されます) ・遅刻はしない・欠席しない</p> <p>② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>
-------	--

学びの実践	<p>評価</p> <p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅲが履修できます。スペイン語Ⅱの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-小波津 フェルナンド [英米]	1年	質問や相談など授業終了後に回答します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。スペイン語の基礎表現を発信できることは目標にします。さらに、スペイン語の文法構想を理解することでスペイン語の読書又は簡単な文章を日本語に訳す事が可能になります。スペイン語の複雑な文法事項に負けず、スペイン語Ⅰと同様、言語の学習と並行して、スペイン語圏世界の社会や文化事情に関するビデオ映像なども可能な限り鑑賞します。</p>	<p>外国語に興味を持たせて、自分は外国語をマスター出来る！そのヒントを与えてくれる科目にしたい！！ スペイン語圏はこんなに面白くて、こんなに日本と違うなどと思わせる授業です。但し、せっかく学ぶのであれば、挨拶程度のレベルでは満足しないで下さい。 自らの積極性はとても大切にする授業です！</p>

学びの準備	到達目標
	<p>① スペイン語の基礎を学ぶことによってスペイン語の特徴に近い言語（ポルトガル語・イタリア語・フランス語）の特徴も同時に理解する。コミュニケーション・スキルを磨く。 ② 授業を通して国際社会・異文化の理解を深める。自分の住んでいる地域との違いについて考える。 ③ 外国語が話せまずと言えるように目標にします。コミュニケーション能力を高める。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の表現と文法の復習 (Hola!, Que tal? Como estan?)	スペイン語Ⅰの復習をする
	2	語根母音変化動詞 I: 欲する (querer)、出来る (poder) 動詞	動詞の活用の復習・練習します
	3	所有を表す表現: tener動詞	文章を書いてみる
	4	未来を表す表現 (ir動詞、未来形の代用)	自分の未来について書いてみる
	5	疑問詞、指示形容詞	疑問文を書いてみる
	6	Saberとconocer動詞、関係代名詞	知っている場所と人について書く
	7	普段は何をしていますか?: 日常生活を説明する	日常生活について書く
	8	再起動詞I (立つ、起きるなど)	文章を書いてみる (中間試験)
	9	再起動詞II (意味の強調、再起受け身)	文章を書いてみる
	10	現在分詞 (進行形)	進行形の文書を書いてみる
	11	過去分詞 (現在完了)	現在完了の文書を書いてみる
	12	過去の表現。点過去: 『～した』	過去について書いてみる
	13	線過去: 『～していた、～なのだが』	過去の生活について書く
	14	未来形: 『～するだろう、～だろうか』	予定と希望を書いてみる
15	スペイン語Ⅱの復習とまとめ	理解を深める、質問を準備する	
16	期末試験	復習する	

学びの実践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト: 朝日出版社 「ディエゴと日本再発見 - 初級スペイン語 -」 CD付 ISBN978-4-255-55058-9 C1087 Y23 00E) (スペイン語名: BIENVENIDOS A JAPON!)</p> <p>参考文献: 辞書一冊: 電子辞書 か『スペイン語ミニ辞典』(白水社)』 又は『現代スペイン語辞典』(白水社)』 又は『西和中辞典』(小学館)』</p>
-------	--

学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 「履修の心構え」 ・積極性を見せる(質問します)・居眠りはしない(注意されます)・遅刻はしない・欠席しない</p> <p>② 「学びを深めるために」 ・講義の事前に予習ならびに終了後の復習を十分行うこと。 ・発音になれるため、テキストについているCDをきくこと。</p>
-------	--

学びの実践	<p>評価</p> <p>中間試験45%、期末試験45% 出席10%</p>
-------	--

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語Ⅲが履修できます。スペイン語Ⅱの知識は固定しますと外国語学習の上達が見えてきます。スペイン語に近い言語構造のヨーロッパ言語に興味があれば、これらの言語の勉強はしやすくなります。この講義の終わるころにスペイン語の文法構造がある程度理解しています。さらに、単語が読めて、発音も出来ますので語彙力が増やせばスペイン語の習得は夢ではないと言えます。海外留学を考えても良い時期です。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [経済・地環・企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受けします。 (メールでの対応は行いません)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級または5級レベルを目指す。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかりと覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo</p>

到達目標
<p>① スペイン語の動詞の直説法活用(現在、過去、未来形)を覚え、的確に使えるようになる。</p> <p>② スペイン語で日常生活での会話を身につけて、スペイン語圏のネイティブとコミュニケーションができるようになる。</p> <p>③ スペイン語圏の国々また沖縄や日本の文化、行事や人々の習慣などを話題にし、異文化間理解ができるようになる。</p> <p>④ スペイン語技能検定5級程度のスペイン語を理解できるようになる。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期のガイダンスと前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前期の復習
	2	前期の語彙と動詞の活用の復習、スペイン語技能検定6級の練習問題	音読、意味調べ、練習問題
	3	不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用、語彙：洋服、色	音読、意味調べ、練習問題
	4	不規則動詞PODERの直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	5	QUERERとPODER動詞の復習	p. 36と38の復習
	6	第1回テスト：第8課 (QUERERとPODER動詞)	テスト勉強
	7	不規則動詞TENERの直説法現在形の活用、家族の語彙の復習	音読、意味調べ、練習問題
	8	不規則動詞TENERを使う慣用表現	音読、意味調べ、練習問題
	9	不規則動詞IRの直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	10	SABERとCONCER動詞の直説法現在形の活用と違い	音読、意味調べ、練習問題
	11	第8課と9課の復習	p36～43の復習
	12	第2回テスト：第8 (TENER動詞) と9課	テスト勉強
	13	助動詞の活用と使い方の復習 (グループで会話を作る)	第1回～12回の復習
	14	グループで会話の発表	グループで発表の準備
	15	再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	16	一日の行動について語る、曜日と時刻の復習	音読、意味調べ、練習問題
	17	第10課の復習	p. 44～47の復習
	18	第3回テスト：第10課	テスト勉強
	19	現在分詞と直説法現在形進行形	音読、意味調べ、練習問題
	20	過去分詞、直説法現在形完了形	音読、意味調べ、練習問題
	21	現在完了形の活用を使って日記また履歴書を書く練習	第20回までの語彙と文法の復習
	22	スペイン語圏の国々のクリスマスの行事と習慣の紹介	p. 91～93音読、意味調べ
	23	第11課の復習	p. 48～51の復習
	24	第4回テスト：第11課	テスト勉強
	25	直説法点過去形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	不規則動詞の直説法点過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	27	直説法線過去過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備、中南米の祭りの紹介	第10課～12課の復習
	29	第12課の復習	p. 52～55の復習
30	第5回テスト：第12課	テスト勉強	
31	口頭テスト、まとめ	前期と後期の学習をふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」 有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 毎講義にテキスト、ノート、配布されたプリント、筆記用具などを必ず持参すること。 ③ 講義時間外にもテキストのCDを聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ④ 講義内にはペアやグループワークなどがお行いますのでクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ⑤ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑥ 授業中は、マナーを守ること（授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など） ⑦ 講義中には携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用は禁止です。 ⑧ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% 欠席する場合追試が行わいので注意すること。 ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点（出席、授業参加、態度）10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。 遅刻は減点とする。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、II を終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修が お勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-又吉 パトリシア [全学科]	2年	授業終了後に教室で受けします。 (メールでの対応は行いません)	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語Ⅰの続きです。前期で学んだことを基礎にし、不規則動詞の活用を覚える。さらに語彙や表現力をアップし、スペイン語技能検定6級または5級レベルを目指す。</p> <p>到達目標</p> <p>① スペイン語の動詞の直説法活用（現在、過去、未来形）を覚え、的確に使えるようになる。 ② スペイン語で日常生活での会話を身につけて、スペイン語圏のネイティブとコミュニケーションができるようになる。 ③ スペイン語圏の国々また沖縄や日本の文化、行事や人々の習慣などを話題にし、異文化間理解ができるようになる。 ④ スペイン語技能検定5級程度のスペイン語を理解できるようになる。</p>	<p>ミスに恐れず、積極的な授業への参加が望まれます。言葉を学ぶためには4技能(話す、書く、読む、聞く)が欠かせません。毎回予習、復習をし語彙や文法をしっかり覚えればスペイン語の学習がより楽しくなります。更にスペイン語は沖縄県では多くの移民を中南米へ送り出したという歴史的な理由から、今日でも経済的・文化的な交流が活発です。きっと身近に感じられるでしょう!Animo</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	後期のガイダンスと前期で学んだ文法項目と表現の復習	シラバスをよむ、前学期の復習
	2	前期の語彙と動詞の活用の復習、スペイン語技能検定6級の練習問題	音読、意味調べ、練習問題
	3	不規則動詞QUERERの直説法現在形の活用、語彙：洋服、色	音読、意味調べ、練習問題
	4	不規則動詞PODERの直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	5	QUERERとPODER動詞の復習	p. 36と38の復習
	6	第1回テスト：第8課（QUERERとPODER動詞）	テスト勉強
	7	不規則動詞TENERの直説法現在形の活用、家族の語彙の復習	音読、意味調べ、練習問題
	8	不規則動詞TENERを使う慣用表現	音読、意味調べ、練習問題
	9	不規則動詞IRの直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	10	SABERとCONCER動詞の直説法現在形の活用と違い	音読、意味調べ、練習問題
	11	第8課と9課の復習	p36～43の復習
	12	第2回テスト：第8（TENER動詞）と9課	テスト勉強
	13	助動詞の活用と使い方の復習（グループで会話を作る）	第1回～12回の復習
	14	グループで会話の発表	グループで発表の準備
	15	再帰動詞の直説法現在形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	16	一日の行動について語る、曜日と時刻の復習	音読、意味調べ、練習問題
	17	第10課の復習	p. 44～47の復習
	18	第3回テスト：第10課	テスト勉強
	19	現在分詞と直説法現在形進行形	音読、意味調べ、練習問題
	20	過去分詞、直説法現在形完了形	音読、意味調べ、練習問題
	21	現在完了形の活用を使って日記また履歴書を書く練習	第20回までの語彙と文法の復習
	22	スペイン語圏の国々のクリスマスの行事と習慣の紹介	p. 91～93音読、意味調べ
	23	第11課の復習	p. 48～51の復習
	24	第4回テスト：第11課	テスト勉強
	25	直説法点過去形の活用	音読、意味調べ、練習問題
	26	不規則動詞の直説法点過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	27	直説法線過去過去の活用	音読、意味調べ、練習問題
	28	口頭テストのための準備、中南米の祭りの紹介	第10課～12課の復習
	29	第12課の復習	p. 52～55の復習
30	第5回テスト：第12課	テスト勉強	
31	口頭テスト、まとめ	前期と後期の学習をふりかえる	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>『Bienvenidos a Japon!』 ディエゴと日本再発見!-初級スペイン語- 著者：尚真貴子、福地 恭子、小波津 フェルナンド、又吉 パトリシア（朝日出版社） 定価：2,300円 + 税 「スペイン語ミニ辞典」宮城・宮本編 白水社¥2,800/「西和中辞典」桑名一博、他編 小学科¥5,800/「和西辞典」有本、宮城、他 白水社¥4,500/「現代スペイン語辞典」宮城、山田、他 白水社¥4,000 ※スペイン語電子辞書も使用可</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>① 学科指定と年次を確認してからこのクラスに登録すること。初回に必ず出席すること。 ② 毎講義にテキスト、ノート、配布されたプリント、筆記用具などを必ず持参すること。 ③ 講義時間外にもテキストのCDを聞き、語彙、表現、動詞の活用をよく予習・練習すること。 ④ 講義内にはペアやグループワークなどがお行いますのでクラスメートと協力し、積極的に取り組むこと。 ⑤ 配布されたプリント、資料を大事にファイルすること。 ⑥ 授業中は、マナーを守ること（授業中の教室出入り時の許可、居眠り禁止、飲食の禁止など） ⑦ 講義中には携帯電話、スマートフォン、タブレットの使用は禁止です。 ⑧ その他は最初の講義で説明する。</p>
	<p>評価</p> <p>① QUIZと筆記テスト 60% 欠席する場合追試が行わいので注意すること。 ② 口頭テスト 10% ③ 宿題及び課題の提出 20% ④ 平常点（出席、授業参加、態度）10% 授業総時間数の1/3(10回)以上欠席した場合は単位を与えない。遅刻は減点とする。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>次のステージ・関連科目 ① スペイン語 I、II を終了した方には中級レベルのスペイン語III（前期）とスペイン語IV（後期）の履修がお勧めです。 ② 毎年6月と10月に実施されるスペイン語技能検定6級また5級に挑戦する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語I, IIに続く中級レベルのクラスです。スペイン語における時制の概念（現在、過去、未来の表現）を体系的に把握しながら、授業内アクティビティや音響・映像資料等を用いて、日常生活で使われる平易な表現を実際に運用できるようにしていきます。スペイン語圏の文化や生活について随時ふれ、スペイン語世界の立体的な理解を目指します。</p>	<p>スペイン語は20以上の国と地域で話されているグローバル言語です。沖縄とスペイン語圏には、多くの人々の移住経験を通じた特別なつながりもあります。ヨーロッパ・アメリカ大陸に広がるスペイン語世界を学び、新しい角度から沖縄を考えてみませんか？</p>
	到達目標	
	<p>(1) スペイン語における時制の概念を体系的に理解し、スペイン語検定5級程度のスペイン語力をつける。 (2) 日常生活に役立つ会話表現を学び、勧誘、依頼、命令などを含むコミュニケーションをスペイン語で行うことができる。 (3) スペイン語学習を通じてスペイン語圏の社会文化への知的好奇心を高め、世界観を広げる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと復習①	シラバスの熟読
	2	復習②	課題への取り組み
	3	復習③	課題への取り組み
	4	復習④	課題への取り組み
	5	スペイン語圏トピック①	課題への取り組み
	6	過去を語る1-①	課題への取り組み
	7	過去を語る1-②	課題への取り組み
	8	過去を語る1-③	課題への取り組み
	9	スペイン語圏トピック②	課題への取り組み
	10	過去を語る2-①	課題への取り組み
	11	過去を語る2-②	課題への取り組み
	12	過去を語る2-③	課題への取り組み
	13	スペイン語圏トピック③	課題への取り組み
	14	復習	課題への取り組み
	15	中間テスト	テスト準備
	16	未来を語る1-①	課題への取り組み
	17	未来を語る1-②	課題への取り組み
	18	未来を語る2-①	課題への取り組み
	19	未来を語る2-②	課題への取り組み
	20	スペイン語圏トピック④	課題への取り組み
	21	時制のまとめ①	課題への取り組み
	22	時制のまとめ②	課題への取り組み
	23	勧誘表現	課題への取り組み
	24	依頼表現	課題への取り組み
	25	命令文①	課題への取り組み
	26	命令文②	課題への取り組み
	27	命令文③	課題への取り組み
	28	スペイン語圏トピック⑤	課題への取り組み
	29	総復習	課題への取り組み
30	期末テスト	テスト準備	
31	まとめ	今後の課題発見	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを配布します。 ・辞書は毎回必ず持参して下さい。 ・スペイン語I, IIで使用したテキストを引き続き参照します。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。 ・授業回数の3分の1以上欠席した場合、単位取得できません。 ・みなさんはスペイン語を使ってどのようなことをしてみたいでしょうか、想像してみてください。夢をもち、その実現に向けて一步一步進んでいきましょう。学生時代の学びは、自分自身を生涯支えてくれます。
	<p>評価</p> <p>平常点50%（出席、態度、参加、中間テスト）、期末点（期末テスト）50%をあわせて総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IIIの単位を取得した方には、スペイン語IVの履修がお勧めです。自分の意見を表明したり、感情を表現する方法を学びながら、スペイン語におけるコミュニケーションのあり方を学んでいきます。交換留学希望者やスペイン語が好きだという方は、ぜひ履修して下さい。スペイン語検定5級の受験もお勧めです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	スペイン語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	武田 優子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>スペイン語I, II, IIIに続く中級第2ステージのクラスです。スペイン語文法における接続法を体系的に学び、自分の考えや意見、感情、願望などを異文化状況で表現する方法を会得します。スペイン語と日本語というふたつの異なる言語世界の深層に触れ、異文化と自文化についての知見を深めていきましょう。</p>	<p>スペイン語は20以上の国と地域で話されているグローバル言語です。沖縄とスペイン語圏には、多くの人々の移住経験を通じた特別なつながりもあります。ヨーロッパ・アメリカ大陸に広がるスペイン語世界を学び、新しい角度から沖縄を考えてみませんか？</p>
到達目標	<p>(1) スペイン語文法を一通り終了し、スペイン語検定5～4級程度のスペイン語力をつける。 (2) 接続法を用いて、自分の考えや意見、感情、願望などをコミュニケーションの中で表現できるようになる。 (3) スペイン語学習を通じて日本語の世界を見つめ直し、世界観を広げる。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと復習①	シラバスの熟読
	2	これまでの復習②	課題への取り組み
	3	これまでの復習③	課題への取り組み
	4	接続法の導入①	課題への取り組み
	5	接続法の導入②	課題への取り組み
	6	接続法1-①：願望・依頼、命令の表現	課題への取り組み
	7	接続法1-②：感情の表現	課題への取り組み
	8	接続法1-③：考え・意見の表明	課題への取り組み
	9	接続法1-④：価値判断	課題への取り組み
	10	スペイン語圏トピック①	課題への取り組み
	11	復習	課題への取り組み
	12	接続法2-①：求人広告を読む	課題への取り組み
	13	接続法2-②：部屋探しする	課題への取り組み
	14	接続法3-①：これから起こりうることの表現	課題への取り組み
	15	接続法3-②：目的を表わず表現	課題への取り組み
	16	接続法4：願望表現～でありますように	課題への取り組み
	17	スペイン語圏トピック②	課題への取り組み
	18	復習	課題への取り組み
	19	確認テスト	テスト準備
	20	条件文①	課題への取り組み
	21	条件文②	課題への取り組み
	22	条件文③	課題への取り組み
	23	総合演習	課題への取り組み
	24	総合演習	課題への取り組み
	25	総合演習	課題への取り組み
	26	総合演習	課題への取り組み
	27	総合演習	課題への取り組み
	28	総合演習	課題への取り組み
	29	総復習	課題への取り組み
30	期末テスト	テスト準備	
31	まとめ	今後の課題発見	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリントを配布します。 ・辞書は毎回必ず持参して下さい。 ・スペイン語I, IIで使用したテキストを引き続き参照します。
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・初回にオリエンテーションをしますので、必ず出席してください。 ・授業回数の3分の1以上欠席した場合、単位取得できません。 ・みなさんはスペイン語を使ってどのようなことをしてみたいでしょうか、想像してみてください。夢をもち、その実現に向けて一步一步進んでいきましょう。学生時代の学びは、自分自身を生涯支えてくれます。
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>平常点50%（出席、態度、参加、中間テスト）、期末点（期末テスト）50%をあわせて総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>スペイン語IVの単位を修得した方は、これまで蓄積してきたスペイン語の知識をもとに、スペイン語を話す人々の世界をさらに探求してみませんか。上級の外国語研究I（前期）と外国語研究II（後期）の受講がお勧めです。交換留学希望者やスペイン語が好きな方は、ぜひ履修して下さい。さらなるレベルアップを目指す方には、スペイン語検定5級4級にもチャレンジしてください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎的な発音をマスターし、実践的な会話を身につける。授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 現在の日本には中国人観光客を含め、多くの中国人が訪れるようになりました。これからは中国語が役に立つ世の中になってくることでしょう。日常生活で分からない中国語があったらお気軽に声をおかけください。
	到達目標 中国語検定準四級レベルのスキル習得を目標としています。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	中国語で名前を呼ぶ、四声の練習	お家で鏡を見て声調を練習する
	3	四声の確認チェック、有気音、無気音の練習	お家で発音を復習する
	4	有気音、無気音の確認チェック、母音・複合母音の紹介	同上
	5	発音の確認テスト、鼻音・特別な子音の練習	同上
	6	巻舌音の練習	同上
	7	発音の総合復習、第一課	同上
	8	発音のテスト、第一課演習	CDを聞きながら、発音を復習する
	9	第二課	同上
	10	第一、二課の演習とチェック、第三課	同上
	11	リスニングテスト、第三課演習	同上
	12	第四課	同上
	13	第四課演習、第五課	同上
	14	統一テストの対策、第五課	同上
	15	期末テストの復習、統一習得度テスト	復習プリントを暗記する
	16	期末テスト	テスト勉強
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 身につく中国語[改訂版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 板書を写すこと。出席を100%を要求する。 欠席した場合次の授業で前回の分の確認チェックを行うこと。 授業中携帯使用禁止。</p>
	<p>評価 統一習得度テスト40%、毎回の出席とオーラルチェック30%、期末テスト30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期も続けて勉強することをおすすめします。一年間続けて中国語を学んだ上で日常会話を身につけることができ、新たな視野でものを見ることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [法律]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この科目では中華人民共和国の標準語である「普通話」を学ぶ。まず中国語の発音表記であるピンインを学び、正確な発音・聞き取りができるようにする。そして基本的な文法事項、単語、会話を学んでゆく。	メッセージ 中国語学習の基礎段階ではいかに正確な発音を身につけるかということが非常に重要であり、その後の学習に大きな影響を及ぼしていくことになるので発音練習は特に時間をかけ何度も繰り返し復習する。このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。
	到達目標 1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語についての概説、中国語の発音について、発音	ガイダンスの確認、授業の復習
	2	発音（単母音の練習、二重母音の練習、三重母音の練習、鼻母音の練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	3	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	4	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について、声調練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	5	発音（ピンインの書き方の決まり、発音の復習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	6	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動詞「是」	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	基本文型④「主述語文」、動詞「有」、人やモノの数え方	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	前期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな いこと。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止 する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の 三分之一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」 は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する 。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習する。 「中国語Ⅰ」の学習レベルで受験できる検定試験もあるので積極的にチャレンジしてモチベーションを高めてほ しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [英米]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この科目では中華人民共和国の標準語である「普通話」を学ぶ。まず中国語の発音表記であるピンインを学び、正確な発音・聞き取りができるようにする。そして基本的な文法事項、単語、会話を学んでゆく。	メッセージ 中国語学習の基礎段階ではいかに正確な発音を身につけるかということが非常に重要であり、その後の学習に大きな影響を及ぼしていくことになるので発音練習は特に時間をかけ何度も繰り返し復習する。このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。
	到達目標 1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、中国語についての概説、中国語の発音について、発音	ガイダンスの確認、授業の復習
	2	発音（単母音の練習、二重母音の練習、三重母音の練習、鼻母音の練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	3	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	4	発音（子音の練習、有気音と無気音について、捲舌音について、声調練習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	5	発音（ピンインの書き方の決まり、発音の復習）	授業の復習、CDを聞き発音の復習
	6	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	基本文型①動詞述語文、副詞、語気助詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動詞「是」	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	基本文型②形容詞述語文	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	基本文型③名詞述語文、数字、年月日・曜日・時刻の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	動詞「在」、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	基本文型④「主述述語文」、動詞「有」、人やモノの数え方	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	前期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな いこと。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止 する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の 三分之一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」 は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する 。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期に開講される「中国語Ⅱ」で続きの内容を学習する。 「中国語Ⅰ」の学習レベルで受験できる検定試験もあるので積極的にチャレンジしてモチベーションを高めてほ しい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[社文]	1年	授業の際に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は中華人民共和国の標準語である「普通話」の初心者を対象に、中国語の発音、会話、聞き取り、文法、作文等の基礎的な学習を総合的に行うことを目的としています。中国語学習において最も難関とされるのは発音です。従ってこの授業では特に発音訓練とピンイン（中国語の発音記号）をマスターすることにポイントをおきます。	メッセージ 中国語は漢字を用いることや語形変化がないため、私達日本人にとっても学びやすい言語です。最大の難関と言われる発音さえマスターすれば、必ず話せるようになります。中国語を学んで、中国の歴史、経済、中華料理、三国志等々、中国の魅力に自分自身で直接触れましょう。
	到達目標 まず、ピンイン（中国語の発音記号）を理解して正しく発音し、聞き取ることができるようにしましょう。また、基本的な文法、文型を理解し、教科書の本文に出てくるような単語、日常会話の決まり文句や作文（短文）を使いこなせるようにしましょう。（中国語検定準4級程度）そして、辞書をよく引き、インターネットを活用するなど、自分でも学べる環境を整えましょう。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	講義説明とアンケート
	2	発音編①「声調と単母音」	CDを聴きながらピンインを確認
	3	発音編②「複合母音」	CDを聴きながらピンインを確認
	4	発音編③「子音」	CDを聴きながらピンインを確認
	5	発音編④「鼻音を伴う母音」	CDを聴きながらピンインを確認
	6	発音編⑤「発音編のまとめ」音節表を使って	CDを聴きながらピンインを確認
	7	第1課 人称代名詞、動詞述語文、疑問詞「□」	新出語句と補充語句を予習
	8	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	9	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	10	第2課 指示代名詞、疑問詞疑問文	新出語句と補充語句を予習
	11	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	12	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	13	第3課 形容詞述語文、反復疑問文、語気助詞「」	新出語句と補充語句を予習
	14	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	15	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	16	中間テスト	中間テストの準備
	17	第4課 数詞、月日・曜日・時刻の言い方	新出語句と補充語句の予習
	18	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	19	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	20	第5課 場所を表す指示詞、所在を表す「在」、前置詞「」	新出語句と補充語句の予習
	21	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	22	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	23	習得度テスト対策	発音編の復習
	24	習得度テスト	習得度テストの準備
	25	第6課 所有・存在を表す「有」、主述述語文、数詞＋量詞＋名詞	新出語句と補充語句の予習
	26	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	27	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	28	第7課 連動文、助動詞「能」と「可以」、動詞の重ね型	新出語句と補充語句の予習
	29	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
30	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備	
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『身につく中国語』楊凱栄 張麗群 著（白帝社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布する。 また、授業の進捗状況によって内容を変更する場合がある。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>初歩から学ぶ中国語は最初の発音練習が重要です。日頃からテキスト付帯のCDを活用し、繰り返し練習しましょう。また、授業中の発音・会話練習の際にはペアレッスンが中心になります。恥ずかしがらず積極的に取り組むようにしましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも、課毎に単語テストを行いますので、新しい課に入る際には単語の予習を欠かさず行いましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>学期末に中国語受講者全員を対象とする「習得度テスト」が行われます。このテストに合格した学生のみ、以下の基準で評価します。中間、期末テストの成績（70％）に、単語テストの成績（15％）、課題などの提出物（10％）、発音チェック（5％）を総合的に評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅱ」を継続して受講することが望ましい。また、「中国語検定4級」以上の取得を目指して学習を続けてほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [全学科]	全学年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>●中国標準語の個々の発音から学びます。ピンイン(中国語の発音記号)と声調(イントネーション)を正しく読み、聞き取った単語を正確にピンインで表記できることを目指します。</p> <p>●基礎文型の習得を通して、中国語の基礎的な構文を理解し、覚えるようにします。</p>	<p>中国は人口大国で、海外進出によって、日本を訪れる人の数が年々増えます。このような状況の下、今後、あらゆる業界で中国語はさらに必要とされるし、使えたほうが仕事の間口が広がるでしょう。中国語を始めたい学生を歓迎します。分かりやすく教えることを常に心がけていますので、安心して受けてください。</p>
到達目標	<p>中国語の発音記号を自己流ではなく、教えられた通りに発音できます。 イントネーション(声調)の各パタンの高さが弁別できます。 中国語基本文型に基づき、与えられた単語でフレーズを正しく作れます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・中国語と日本語が発音における相違・母音の発音	シラバスをよく読む 副音声教材 1
	2	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 1
	3	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 2
	4	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 3
	5	発音のまとめ&単語、決まり文句の読み書き練習 小テスト	サイト練習問題
	6	第一課 読み書き&難読ピンインについて検討、指導、強化練習	練習問題集&副音声教材 4~12
	7	第一課 [是]述語文について説明、まとめる。第二課の単語を導入	同上
	8	第二課 読み書き&難読ピンインについて検討、指導、強化練習	同上
	9	第二課 動詞述語文、形容詞述語文について説明、まとめる。第三課の単語導入	同上
	10	第三課 所有の表現について説明。読み書き練習、小テスト	同上
	11	第四課 数量詞、副詞などの表現について説明、書き練習	同上
	12	第五課 助数詞の使い方、文の中の位置について日本語と比較しながら説明、読むと構文練習	同上
	13	第六課 過去と変化を表す言い方について説明、読むと構文練習	同上
	14	第七課 前置詞フレーズ、読み書き練習、小テスト	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い 守屋 宏則(著), 陳 浩(著), 梁 月軍(著) 郁文堂出版社</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>正確な発音は中国語力の土台になるもので、それを身に付けるために、毎回出席して、慣れない音を繰り返す練習に取り組む必要があります。 難読な音や、苦手なイントネーションについて、説明を受け、模範朗読を聞くだけでなく、声を出して、積極的にトレーニングに参加しましょう。 また、分からないことがあれば、放置するのではなく、聞いたり、調べたりしてください。 習った内容を常にテストを行い、チェックします。その結果をよく確かめ、問題点を常に意識して勉強してください。 授業が始まってからの出入りは許可を得てからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>単位取得するには評価点数100点中の60点が必要です。 評価点数は、学期終了時に実施される*中国語習得度テスト60%、小テスト(授業中随時に行う)20%、課題や練習問題10%、授業参加度など10%の構成となっております。 *中国語習得度テストは中国語を履修する学生全員に受けることを求められます。このテストに合格するものは単位が認められます。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目は中国語Ⅱです。 中国語の基礎をしっかりと固めるために、中国語Ⅱの継続履修をお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>●中国標準語の個々の発音から学びます。ピンイン(中国語の発音記号)と声調(イントネーション)を正しく読み、聞き取った単語を正確にピンインで表記できることを目指します。</p> <p>●基礎文型の習得を通して、中国語の基礎的な構文を理解し、覚えるようにします。</p>	<p>中国は人口大国で、海外進出によって、日本を訪れる人の数が年々増えます。このような状況の下、今後、あらゆる業界で中国語はさらに必要とされるし、使えたほうが仕事の間口が広がるでしょう。中国語を始めたい学生を歓迎します。分かりやすく教えることを常に心がけていますので、安心して受けてください。</p>
到達目標	<p>中国語の発音記号を自己流ではなく、教えられた通りに発音できます。 イントネーション(声調)の各パタンの高さが弁別できます。 中国語基本文型に基づき、与えられた単語でフレーズを正しく作れます。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス・中国語と日本語が発音における相違・母音の発音	シラバスをよく読む 副音声教材 1
	2	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 1
	3	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 2
	4	子音の発音と声調(イントネーション)についての説明&練習	副音声教材 3
	5	発音のまとめ&単語、決まり文句の読み書き練習 小テスト	サイト練習問題
	6	第一課 読み書き&難読ピンインについて検討、指導、強化練習	練習問題集&副音声教材 4~12
	7	第一課 [是]述語文について説明、まとめる。第二課の単語を導入	同上
	8	第二課 読み書き&難読ピンインについて検討、指導、強化練習	同上
	9	第二課 動詞述語文、形容詞述語文について説明、まとめる。第三課の単語導入	同上
	10	第三課 所有の表現について説明。読み書き練習、小テスト	同上
	11	第四課 数量詞、副詞などの表現について説明、読み書き練習	同上
	12	第五課 助数詞の使い方、文の中の位置について日本語と比較しながら説明。読むと構文練習	同上
	13	第六課 過去と変化を表す言い方について説明、読むと構文練習	同上
	14	第七課 前置詞フレーズ、読み書き練習、小テスト	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	まとめ
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>●テキスト 老師好(ラオシーハオ)!—王先生との出会い 守屋 宏則 (著), 陳 浩 (著), 梁 月軍 (著) 郁文堂出版社</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>正確な発音は中国語力の土台になるもので、それを身に付けるために、毎回出席して、慣れない音を繰り返す練習に取り組む必要があります。 難読な音や、苦手なイントネーションについて、説明を受け、模範朗読を聞くだけでなく、声を出して、積極的にトレーニングに参加しましょう。 また、分からないことがあれば、放置するのではなく、聞いたり、調べたりしてください。 習った内容を常にテストを行い、チェックします。その結果をよく確かめ、問題点を常に意識して勉強してください。 授業が始まってからの出入りは許可を得てからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>単位取得するには評価点数100点中の60点が必要です。 評価点数は、学期終了時に実施される*中国語習得度テスト60%、小テスト(授業中随時に行う)20%、課題や練習問題10%と授業参加度など10%の構成となっております。 *中国語習得度テストは中国語を履修する学生全員に受けることを求められます。このテストに合格する者は単位が認められます。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目は中国語Ⅱです。 中国語の基礎をしっかりと固めるために、中国語Ⅱの継続履修をお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [日文]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。この講義では中国語の発音基礎と日常会話を学ぶことができます。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>このクラスは初級中国語レッスンです。中国語学習の第一歩は、中国語の発音記号「ピンイン」を読めると聞き取れること。中国語をマスターするための前提だと言われています。最初では、中国語の発音構造を理解させ、「四声、子音、母音」を聞き取れるよう発音の練習を行います。正しい表現ができるために、基本的な文法事項を理解する必要があります。中国語 I を修了するには、ピンインをマスターする上で、中国語の「聞く、話す、読む、書く」というスキルの基礎を見につけることを目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	登録調整、講義概要の説明	個人の学習目標を設定させる
	2	第1課 ピンイン学習① 声調、単母音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	3	第1課 ピンイン学習② 複合母音の練習、声調符号の付け方	教材に付いてあるCDを聞く
	4	第2課 ピンイン学習③ 子音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	5	第2課 ピンイン学習④ 発音ルールのおまけ	ピンイン暗唱、聞き取り練習
	6	第3課 ピンイン総合練習・テスト	小テストの準備
	7	第4課 挨拶言葉・教室用語	授業の内容を暗記する
	8	テキスト会話 第5課 「～です」文に関する文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	9	テキスト会話 第5課 練習と実践	小テストの準備
	10	テキスト会話 第6課 名前の聞き方と答え方を学びます	単語・会話をを暗記する
	11	テキスト会話 第7課 一般動詞文等関連文法事項を学びます	小テストの準備
	12	テキスト会話 第7課 練習と実践	単語・会話をを暗記する
	13	テキスト会話 第7課 中間テスト	小テストの準備
	14	テキスト会話 第8課 疑問文を学びます	単語・会話をを暗記する
	15	テキスト会話 第8課 練習と実践	小テストの準備
	16	テキスト会話 第9課 数字を使う表現と「所有する」表現を学びます	単語・会話をを暗記する
	17	テキスト会話 第9課 練習と実践	小テストの準備
	18	テキスト会話 第10課 経験を表すと形容詞文等関連文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	19	テキスト会話 第10課 練習と実践	小テストの準備
	20	テキスト会話 第11課 比較表現等関連する文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	21	テキスト会話 第11課 練習と実践	小テストの準備
	22	テキスト会話 第12課 助動詞、連動文を学びます	単語・会話をを暗記する
	23	テキスト会話 第12課 方向補語を学びます	小テストの準備
	24	テキスト会話 第12課 練習と実践	発表テスト
	25	テキスト会話 第13課 前置詞と「～に所在する」表現を学びます	単語・会話をを暗記する
	26	テキスト会話 第13課 動作の完了を表す表現を学びます	小テストの準備
	27	テキスト会話 第13課 練習と実践	発表テスト
	28	総復習	主にピンインの復習をする
29	全校統一習得度テスト		
30	ビデオで中国を知る		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《日中いぶこみ交差点》 相原 茂・陳 淑梅・飯田敦子 著 朝日出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。 ②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。 ③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。 ④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト）50%に小テスト 50%の割合で総合的の評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [人福]	1年	ptt143@oku.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。この講義では中国語の発音基礎と日常会話を学ぶことができます。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>このクラスは初級中国語レッスンです。中国語学習の第一歩は、中国語の発音記号「ピンイン」を読めると聞き取れることです。中国語をマスターするための前提だと言われています。最初では、中国語の発音構造を理解させ、「四声、子音、母音」を聞き取れるよう発音の練習を行います。もちろん正しい表現ができるために、基本的な文法事項を理解する必要があります。中国語 I を修了するには、ピンインをマスターする上で、中国語の「聞く、話す、読む、書く」というスキルを身につけることを目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	登録調整、講義概要の説明	個人の学習目標を設定させる
	2	第1課 ピンイン学習① 声調、単母音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	3	第1課 ピンイン学習② 複合母音の練習、声調符号の付け方	教材に付いてあるCDを聞く
	4	第2課 ピンイン学習③ 子音の練習	教材に付いてあるCDを聞く
	5	第2課 ピンイン学習④ 発音ルールのおまけ	ピンイン暗唱、聞き取り練習
	6	第3課 ピンイン総合練習・テスト	小テストの準備
	7	テキスト会話 第4課 挨拶言葉・教室用語	挨拶言葉を暗記する
	8	テキスト会話 第5課 第5課 「～です」文に関する文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	9	テキスト会話 第5課 練習と実践	小テストの準備
	10	テキスト会話 第6課 名前の聞き方と答え方を学びます	単語・会話をを暗記する
	11	テキスト会話 第7課 一般動詞文等関連文法事項を学びます	小テストの準備
	12	テキスト会話 第7課 練習と実践	単語・会話をを暗記する
	13	テキスト会話 第7課 中間テスト	小テストの準備
	14	テキスト会話 第8課 疑問文を学びます	単語・会話をを暗記する
	15	テキスト会話 第8課 練習と実践	小テストの準備
	16	テキスト会話 第9課 数字を使う表現と「所有する」表現を学びます	単語・会話をを暗記する
	17	テキスト会話 第9課 練習と実践	小テストの準備
	18	テキスト会話 第10課 経験を表すと形容詞文等関連文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	19	テキスト会話 第10課 練習と実践	小テストの準備
	20	テキスト会話 第11課 比較表現等関連する文法事項を学びます	単語・会話をを暗記する
	21	テキスト会話 第11課 練習と実践	小テストの準備
	22	テキスト会話 第12課 助動詞、連動文を学びます	単語・会話をを暗記する
	23	テキスト会話 第12課 方向補語を学びます	小テストの準備
	24	テキスト会話 第12課 練習と実践	発表テスト
	25	テキスト会話 第13課 前置詞、「所在する」表現を学びます	単語・会話をを暗記する
	26	テキスト会話 第13課 動作の完了を表す表現を学びます	小テストの準備
	27	テキスト会話 第13課 練習と実践	発表テスト
	28	総復習	主にピンインを復習する
29	全校統一習得度テスト		
30	ビデオで中国を知る		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《日中いぶこみ交差点》 相原 茂・陳 淑梅・飯田敦子 著 朝日出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくするためには、声を出して練習しなければなりません。 ②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。 ③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。 ④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト）60%、クラス内テスト40%の割合で評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [経済・環政]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。 また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができるようにします。	メッセージ 初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。 このクラスは経済学部(経済学科、地域環境学科)の一年次の学生が対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
	到達目標 ・正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろいろな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることを目標とします。 ・中国語の基本単語及び基本文型を習得し、自分で中国語の表現をできるようにします。 ・異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音① 声調、音節	事前学習単語シート
	3	中国語の発音② 母音	事前学習単語シート
	4	中国語の発音③ 子音①	事前学習単語シート
	5	中国語の発音④ 子音②	事前学習単語シート
	6	お国はどこですか。動詞「是」、いろいろな疑問文	事前学習単語シート
	7	お名前は？姓とフルネームの言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	8	何を食べたい？動詞文、選択疑問文	事前学習単語シート
	9	図書館に行きたい 連動文、助動詞「想」	事前学習単語シート
	10	キャンパスの中に銀行はありますか。動詞「有」と「在」	事前学習単語シート
	11	今日は何曜日？年月日、曜日の言い方	事前学習単語シート
	12	中国語は難しいですか。形容詞の文、時刻の言い方	事前学習単語シート
	13	いくらですか。お金の言い方	事前学習単語シート
	14	彼女は今年18歳です。年齢の言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	15	私は動物園に行きました。「了」の使い方	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学共通テストがあります。（50%） ・本クラスの評価は50% 每課小テスト 学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り込み状況など 総合判断します
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。 「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、さらなるレベルアップすることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [地行]	1年		

学びの準備	ねらい 中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。 また中国の生活習慣や社会文化も紹介し、異文化への理解を深めることができるようにします。	メッセージ 初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。 このクラスは法学部、地域行政学科の学生を対象とします。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。
	到達目標 ・正しい発音のマスターに重点を置き、聞く・話す・読む・書く訓練を繰り返し、いろいろな場面ですぐ使える簡単な会話能力を身につけることを目標とします。 ・中国語の基本単語及び基本文型を習得し、自分で中国語の表現をできるようにします。 ・異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、中国語について	シラバスをよく読むこと
	2	中国語の発音① 声調、音節	事前学習単語シート
	3	中国語の発音② 母音	事前学習単語シート
	4	中国語の発音③ 子音①	事前学習単語シート
	5	中国語の発音④ 子音②	事前学習単語シート
	6	お国はどこですか。動詞「是」、いろいろな疑問文	事前学習単語シート
	7	お名前は？姓とフルネームの言い方と尋ね方	事前学習単語シート
	8	何を食いたい？動詞文、選択疑問文	事前学習単語シート
9	図書館に行きたい 連動文、助動詞「想」	事前学習単語シート	
10	キャンパスの中に銀行はありますか。動詞「有」と「在」	事前学習単語シート	
11	今日は何曜日？年月日、曜日の言い方	事前学習単語シート	
12	中国語は難しいですか。形容詞の文、時刻の言い方	事前学習単語シート	
13	いくらですか。お金の言い方	事前学習単語シート	
14	彼女は今年18歳です。年齢の言い方と尋ね方	事前学習単語シート	
15	私は動物園に行きました。「了」の使い方	事前学習単語シート	
16	復習、期末テスト	総復習	
	テキスト・参考文献・資料など テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。		
	学びの手立て ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。		
	評価 ・全学共通テストがあります。(50%) ・本クラスの評価は50% 毎課小テスト 学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など 総合判断します		

学びの継続	次のステージ・関連科目 関連科目「中国語II」への継続的な学習を薦めます。 「中国語I」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、さらなるレベルアップすることができます。
-------	--

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [日文]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。この講義では中国語の発音基礎と日常会話を学ぶことができます。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>中国語Ⅰに引き続き、発音の練習を繰り返しながら基本的な文法項目を理解し、実用的な中国語を習得します。1年間を通して、中国語で簡単な会話、自己紹介の文章作成ができ、中国語検定試験4級の合格を目指します。 中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の内容の復習 ①	プリントを配布する
	2	前期の内容の復習 ②	前期の復習
	3	テキスト会話 第14課 年月日・曜日の言い方と文末の「～了」の使い方を学びます	単語を暗記し数字を使う表現の練習
	4	テキスト会話 第14課 「もうすぐ～になる」、「～しながら～する」等表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	5	テキスト会話 第14課 練習と実践	小テストの準備
	6	テキスト会話 第15課 時刻の言い方を学びます	単語を暗記し時刻と時間量の練習
	7	テキスト会話 第15課 時間量の言い方と禁止表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	8	テキスト会話 第15課 練習と実践	小テストの準備
	9	テキスト会話 第16課 結果補語を学びます	単語を暗記し、文法事項を理解する
	10	テキスト会話 第16課 「不」と「没」の区別、方位詞を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	11	テキスト会話 第16課 練習と実践	小テストの準備
	12	テキスト会話 第17課 助動詞「～ができる」のまとめ	単語を暗記し、文法事項を理解する
	13	テキスト会話 第17課 可能補語を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	14	テキスト会話 第17課 練習と実践	小テストの準備
	15	テキスト会話 第18課 様態補語を学びます	単語を暗記し、文法事項を理解する
	16	テキスト会話 第18課 二重目的語をとる動詞を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	17	テキスト会話 第18課 練習と実践	小テストの準備
	18	テキスト会話 第19課 動詞の進行形と「是…的」構文を学びます	単語を暗記し文法事項を理解する
	19	テキスト会話 第19課 動作や状態の持続を表す表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	20	テキスト会話 第19課 練習と実践	小テストの準備
	21	テキスト会話 第20課 「把」構文と「被」構文を学びます	単語を暗記し文法事項を理解する
	22	テキスト会話 第20課 存現文と祈る言葉を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	23	テキスト会話 第20課 練習と実践	小テストの準備
	24	中国文化の話	感想文を作成し提出する
	25	中国語検定試験模擬テスト①	統一試験と期末試験の準備
	26	解答	統一試験と期末試験の準備
	27	中国語検定試験模擬テスト②	統一試験と期末試験の準備
	28	解答	統一試験と期末試験の準備
	29	全校統一習得度テスト	
30	解答		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《日中いぶこみ交差点》 相原 茂 ・ 陳 淑梅 ・ 飯田敦子 著 朝日出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。 ②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。 ③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト） 60%に、クラス内テスト40%の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[社文]	1年	授業の際に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業は「中国語Ⅰ」で学習した「中国語の発音、会話、聞き取り、文法、作文」等の基礎的な学習を総合的に行うことを目的としています。特に発音訓練とピンイン（中国語の発音記号）の定着と基本文型を使った会話にポイントをおきます。	メッセージ 基本文型を暗記することで聴解力、発話力、作文力も向上します。まずは教科書にある基本文の朗読、暗唱を日頃から習慣づけてください。
	到達目標 中国語検定4級を目標に、基本文型を習得し、日頃から中国語の会話や映画などに触れ、積極的に自分の意思を発話できるようになることが目標です。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション	
	2	第8課 時点と時間量の表現、経験を表す「□」、選択疑問文「□是」、願望の助動詞「想」	新出語句と補充語句の予習
	3	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	4	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	5	第9課 完了の「了」、場所を表す前置詞「在」、貨幣の数え方	新出語句と補充語句の予習
	6	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	7	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	8	第10課 「有点儿+形容詞」、「動詞+一下」、比較を表す前置詞「比」、不太～	新出語句と補充語句の予習
	9	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	10	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	11	第11課 「有」を用いる連動文、取り立ての「是～的」、方向補語	新出語句と補充語句の予習
	12	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	13	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	14	第8課から第11課までのまとめ	第8課から11課までの復習
	15	中間テスト	中間テストの準備
	16	第12課 動作の進行を表す「在」、使役の「□/叫」、持続を表す「呢」	新出語句と補充語句の予習
	17	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	18	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	19	第13課 結果補語、受給と受益の「給」、「太～了」、動詞の連体修飾	新出語句と補充語句の予習
	20	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	21	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	22	第14課 助動詞「会」と「要」、可能補語、形容詞の重ね型	新出語句と補充語句の予習
	23	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	24	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
	25	習得度テスト	
	26	第15課 「把」構文、受け身を表す前置詞「被」、方位詞、存現文、持続を表す「着」	新出語句と補充語句の予習
	27	対話練習と語法確認	CDを聴きながら発音練習
	28	練習問題と単語テスト	練習問題の予習と単語テストの準備
29	第12課から第15課までのまとめ	第12課から15課までの復習	
30	期末テスト	期末テストの準備	
31	予備日		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『身につく中国語』楊凱栄 張麗群 著（白帝社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布する。 また、授業の進捗状況によって内容を変更、加減する場合があります。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>初歩から学ぶ中国語は最初の発音練習が重要です。日頃からテキスト付帯のCDを活用し、繰り返し練習しましょう。また、授業中の発音・会話練習が大切になります。恥ずかしがらず積極的に取り組むようにしましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも課毎に単語テストを行いますので、新しい課に入る際には単語の予習を欠かさず行いましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>学期末に中国語受講者全員を対象とする「習得度テスト」が行われます。このテストの合格者のみ、以下の基準で評価します。 中間、期末テストの成績（70％）に、単語テストの成績（15％）、課題などの提出物と発音チェック（15％）を総合的に評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	次のステージ・関連科目

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金田 知子 [人福]	1年	ptt143@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>隣にある急速発展している中国を深く理解するため、中国語を学び、言葉で表したその国の習慣や文化などを理解することが重要です。また、近年沖縄を訪れる外国人観光客の中では大勢の中国人が占めています。観光客を温かく迎えて良いサービスを提供するにも中国語ができる人材は不可欠です。この講義では中国語の発音基礎と日常会話を学ぶことができます。</p>	<p>私は中国の大学の教壇をおりて沖縄に来て20年を超えました。沖縄県内の各大学で中国語を担当させて頂き、のべ数千人の学生と出会って一緒に中国語を学習してきました。常に楽しく学ぶという理念を持ち、工夫して分かりやすく講義を行います。今度は皆さんと一緒に楽しむ番です。</p>
到達目標	<p>中国語Ⅰに引き続き、発音の練習を繰り返しながら基本的な文法項目を理解し、実用的な中国語を習得します。1年間を通して、中国語で簡単な会話、自己紹介の文章作成ができ、中国語検定試験4級の合格を目指します。 中国語を習得すると共に異文化理解を深めていくことも目標とします。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の内容の復習 ①	プリントを配布する
	2	前期の内容の復習 ②	解答
	3	テキスト会話 第14課 年月日・曜日の言い方と文末の「～了」の使い方を学びます	単語を暗記し数字を使う表現の練習
	4	テキスト会話 第14課 「もうすぐ～になる」、「～しながら～する」等表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	5	テキスト会話 第14課 練習と実践	小テストの準備
	6	テキスト会話 第15課 時刻の言い方を学びます	単語を暗記し時刻と時間量の練習
	7	テキスト会話 第15課 時間量の言い方と禁止表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	8	テキスト会話 第15課 練習と実践	小テストの準備
	9	テキスト会話 第16課 結果補語を学びます	単語を暗記し、文法事項を理解する
	10	テキスト会話 第16課 「不」と「没」の区別、方位詞を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	11	テキスト会話 第16課 練習と実践	小テストの準備
	12	テキスト会話 第17課 助動詞「～ができる」のまとめ	単語を暗記し、文法事項を理解する
	13	テキスト会話 第17課 可能補語を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	14	テキスト会話 第17課 練習と実践	小テストの準備
	15	テキスト会話 第18課 様態補語を学びます	単語を暗記し、文法事項を理解する
	16	テキスト会話 第18課 二重目的語をとる動詞を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	17	テキスト会話 第18課 練習と実践	小テストの準備
	18	テキスト会話 第19課 動詞の進行形と「是…的」構文を学びます	単語を暗記し文法事項を理解する
	19	テキスト会話 第19課 動作や状態の持続を表す表現を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	20	テキスト会話 第19課 練習と実践	小テストの準備
	21	テキスト会話 第20課 「把」構文と「被」構文を学びます	単語を暗記し文法事項を理解する
	22	テキスト会話 第20課 存現文と祈る言葉を学びます	CDを聞き、会話を暗唱する
	23	テキスト会話 第20課 練習と実践	小テストの準備
	24	中国文化の話	感想文を作成し提出する
	25	中国語検定試験模擬テスト①	統一試験と期末試験の準備
	26	解答	統一試験と期末試験の準備
	27	中国語検定試験模擬テスト②	統一試験と期末試験の準備
	28	解答	統一試験と期末試験の準備
29	全校統一習得度テスト		
30	解答		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 《日中いぶこみ交差点》 相原 茂 ・ 陳 淑梅 ・ 飯田敦子 著 朝日出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 効率良く中国語を学習するために以下の注意事項に留意してください。 ①中国語は発音が難しいと言われています。発音を正しくできるためには、声を出して練習しなければなりません。 ②単語を覚えないと表現もできないものと考えます。単語を覚えさせるためには、毎課ごとに小テストを実施します。 ③遅刻、講義中の携帯電話の使用、私語は減点します。④原則として追加試験、再試験は実施しません。</p>
	<p>評価 習得度測定テスト（全校統一テスト） 60%に、クラス内テスト40%の割合で総合的に評価します。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期では、中国語Ⅱを修了し、中国語検定試験4級に合格することを目指してください。更に中国語Ⅲを登録し、語彙を増やしながらか中国語の応用練習を頑張ってほしいです。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [全学科]	全学年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい 中国語Ⅰを履修済みの学生（前期期末習得度テストに合格した者）が対象です。前期に引き続き、発音練習を継続しながら、基礎文法を習得し、簡単な事柄を中国語で表現できるようになることを目標とします。	メッセージ 中国語は、ある程度まで習得するのは大変難しいイメージがあるかもしれませんが、しかし、反復練習と継続学習で、必ず結果として出てきます。実践まで行かずに途中から諦めることは後々後悔することになりかねません。やれるところまでやってください、皆さんを応援します。
	到達目標 ピンインで、素早く、正確に単語やフレーズを読めます。 声の高低を声調表記の通り、比較的正しく制御できます。 文法に則ったフレーズや短文が書けます。 漢字とピンインをあわせて覚えます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、これまで習った内容の復習、練習	ガイダンスをよく読むこと
	2	第七課 前置詞「在`」&前置詞フレーズ、語彙の意味	練習問題集&音声副教材
	3	第八課 打消「没`」の時制的な意味&使い方について説明と練習	同上
	4	第九課 比較の表現について説明と練習	同上
	5	第十課 願望を表す言い方についての説明と練習	同上
	6	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	7	第十一課 方向補語、動作の持続形についての説明、練習	練習問題集&音声副教材
	8	第十二課 進行を表す言い方についての説明と練習	同上
	9	第十三課 可能を表す助動詞についての説明と練習	同上
	10	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	11	第十四課 「把」による処置文の意味1	練習問題集&音声副教材
	12	第十四課 「把」による処置文の意味2	同上
	13	程度補語・方向補語と可能	同上
	14	まとめ&総合練習	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ 一王先生との出会い」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>間違った発音の癖がつく可能性があるため、指摘された発音について、必ず繰り返し練習してください。中国語をフレーズで覚える最大のメリットは応用しやすいことです。習った文法、句型などを活かし、生活場面の会話を始めるように心がけましょう。対面教授は語学を習得するには大きな意味があります、毎回の授業に出るよう努力してください。授業が始まってからの出入りは許可をもらってからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>単位取得するには評価点数100点中の60点が必要です。 評価点数は、習得度テスト（共通テスト）*50%、朗読発表&小テスト25%、課題や練習問題15%、授業参加度などを総合して10%の構成となっております。 習得度テストは、中国語履修する学生全員に受けることを求められます。このテストに合格するものは単位が認められます。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-車 莉莉 [企シ・産情]	1年	授業終了後に教室で受付します	

学びの準備	ねらい 中国語Ⅰを履修済みの学生（前期期末習得度テストに合格した者）が対象です。前期に引き続き、発音練習を継続しながら、基礎文法を習得し、簡単な事柄を中国語で表現できるようになることを目標とします。	メッセージ 中国語は、ある程度まで習得するのは大変難しいイメージがあるかもしれませんが、しかし、反復練習と継続学習で、必ず結果として出てきます。実践まで行かずに途中から諦めることは後々後悔することになりかねません。やれるところまでやってください、受講生の皆さんを応援します。
	到達目標 ピンインで、素早く、正確に単語やフレーズを読めます。 声の高低を声調表記の通り、比較的正しく制御できます。 文法に則ったフレーズや短文が書けます。 漢字とピンインをあわせて覚えます。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス、これまで習った内容の復習、練習	ガイダンスをよく読むこと
	2	第七課 前置詞「在`」&前置詞フレーズについて説明、練習	練習問題集&音声副教材
	3	第八課 打消「没`」の時制の意味&使い方についての説明と練習	同上
	4	第九課 比較の表現について説明と練習	同上
	5	第十課 願望を表す言い方についての説明と練習	同上
	6	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	7	第十一課 方向補語、動作の持続形について説明、練習	練習問題集&音声副教材
	8	第十二課 進行を表す言い方についての説明と練習	同上
	9	第十三課 可能を表す助動詞についての説明と練習	同上
	10	文法まとめ、構文練習&小テスト	テスト&講評
	11	第十四課 「把」による処置文の意味1	練習問題集&音声副教材
	12	第十四課 「把」による処置文の意味2	同上
	13	程度補語・方向補語と可能	同上
	14	まとめ&総合練習	同上
	15	総合練習&期末習得度テスト	
	16		
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>【テキスト】：「老口好！ 一王先生との出会い」 郁文堂出版社 守屋 宏則（著），陳 浩（著），梁 月軍（著）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>間違った発音の癖がつく可能性があるため、指摘された発音について、必ず繰り返し練習してください。中国語をフレーズで覚える最大のメリットは応用しやすいことです。習った文法、句型などを活かし、生活場面の会話を始めるように心がけましょう。対面教授は語学を習得するには大きな意味があります、毎回の授業に出るよう努力してください。授業が始まってからの出入りは許可をもらってからしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>単位取得するには評価点数100点中の60点が必要です。 評価点数は、中国語習得度テスト*（期末に実施される）50%、朗読発表&小テスト25%、課題や練習問題15%、出席状況、授業参加度などを総合して10%の構成となっております。 *中国語習得度テストは、中国語を履修する学生全員に受けることを求められます。このテストに合格する者は単位が認められます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目としては：中国語Ⅲ、交換留学先の中国語授業など。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [英米]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この科目では「中国語Ⅰ」を履修した者あるいは同等以上の能力を有する者を対象に、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。正確な発音と声調の定着を目指すとともに、「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習事項を進めていく。	「中国語Ⅰ」で学んだ内容を振り返りながらさらに学習を進めて行く。 「中国語Ⅱ」は「中国語Ⅰ」を履修済みの学生が登録できる。 このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。

到達目標
1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習	ガイダンスの確認、発音の復習
	2	発音の復習、前期学習事項の復習	前期学習事項の復習、発音の復習
	3	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	4	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	5	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	6	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	語気助詞、副詞、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	後期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてほしい。</p> <p>検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-島袋 直樹 [法律]	1年	授業の日に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この科目では「中国語Ⅰ」を履修した者あるいは同等以上の能力を有する者を対象に、聞いて話せる実用的な中国語の習得を目指す。正確な発音と声調の定着を目指すとともに、「読み」「書き」「聞く」「話す」の基礎的な学習事項を進めていく。	「中国語Ⅰ」で学んだ内容を振り返りながらさらに学習を進めて行く。 「中国語Ⅱ」は「中国語Ⅰ」を履修済みの学生が登録できる。 このクラスは指定学科と指定年次があるので注意すること。

到達目標
1. 中国語の発音表記であるピンインの正確な発音と聞き取りができるようになる。 2. 基本的な文法事項を習得する。 3. 簡単な挨拶や会話ができるようになる。 4. 基本的な単語を覚える。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のガイダンス、発音の復習	ガイダンスの確認、発音の復習
	2	発音の復習、前期学習事項の復習	前期学習事項の復習、発音の復習
	3	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	4	助動詞、連動文	単語と文法事項の復習、発音練習
	5	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	6	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	7	助動詞、動態助詞、時間詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	8	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	9	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	10	動態助詞、前置詞、語気助詞、お金の言い方	単語と文法事項の復習、発音練習
	11	語気助詞、副詞、前置詞	単語と文法事項の復習、発音練習
	12	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	13	補語、連動文、前置詞、「是～的」	単語と文法事項の復習、発音練習
	14	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	15	副詞、語気助詞、補語	単語と文法事項の復習、発音練習
	16	復習、統一テスト ※上記以外に授業では適宜テストやチェックを行う。	後期学習内容の総復習、テスト準備
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>①『身につく中国語 [改訂版]』楊凱榮・張麗群著（白帝社）</p> <p>②適宜プリントを配布する。</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①講義の初日には必ず出席すること。出席しない場合は登録を取り消される可能性あり。②遅刻や欠席は減点対象となるので注意すること。③予習は特に求めないが復習は必ず行い授業で学んだ内容を定着させること。④発音練習では積極的に声を出すこと。⑤ペアワーク、グループワークでは積極的に参加し相手に迷惑をかけるな。⑥授業中の私語、居眠りには気をつけること。⑦授業中、許可がない場合の携帯やパソコン使用は禁止する。⑧学期末に行われる統一テストに合格していない場合は不可となるので注意すること。⑨総授業時間数の三分の一以上欠席した場合には単位を与えない。⑩「中国語Ⅰ」の単位を取得していないと後期の「中国語Ⅱ」は登録できない。</p>
	<p>評価</p> <p>統一テスト50%、その他のテスト・チェック50%で評価する。ただし、遅刻と欠席の回数に応じて減点する。</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>「中国語Ⅲ」が開講されるので引き続き受講し学びを深めてほしい。</p> <p>検定試験やスピーチコンテストなどにも積極的にチャレンジしてレベルアップを目指してほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-張 維 真 [法律・地行・経済・環政・企シ・産情]	2年	msweijena@gmail.com	

学びの準備	ねらい 中国語の基礎的な発音をマスターし、実践的な会話力を身につける。 授業では特に発音や声調の習得に重点をおく。	メッセージ 現在の日本には中国人観光客を含め、多くの中国人が訪れるようになりまし。これからは中国語が役に立つ世の中になってくることでしょう。日常生活で分からない中国語があったらお気軽に声をおかけください。
	到達目標 中国語検定準四級レベルのスキル習得を目標としています。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイドダンス発音の復習	
	2	第一課～五課会話練習、第六課内容説明	お家で前期内容を復習する
	3	第六課演習とチェック、第七課	お家で単語を覚える
	4	第七課演習とチェック、第八課内容説明	同上
	5	第八課演習とチェック、第九課	同上
	6	第六～八課の範囲で会話作りと発表	同上
	7	第九課内容説明、演習とチェック	同上
	8	第十課内容説明、演習とチェック	CDを聞きながら、発音を復習する
	9	第十一課内容説明、演習とチェック	同上
	10	第十二課内容説明、演習とチェック	同上
	11	第十三課内容説明、演習とチェック	同上
	12	第十四課内容説明、演習とチェック	同上
	13	第十五課内容説明、演習とチェック	同上
	14	第十六課内容説明、演習とチェック	同上
	15	期末テストの復習、統一習得度テスト	復習プリントを暗記する
	16	期末テスト	テスト勉強
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
29			
30			
31			

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など 身につく中国語 [改訂版] 楊凱榮・張麗群 著 白帝社</p>
	<p>学びの手立て 板書を写すこと。出席を100%を要求する。欠席した場合次の授業で前回の分の確認チェックを行うこと。授業中携帯使用禁止。</p>
	<p>評価 統一習得度テスト40%、毎回の出席とオーラルチェック30%、期末テスト30%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期も続けて勉強することをおすすめします。一年間続けて中国語を学んだ上で日常会話力を身につけることができ、新たな視野でものを見ることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [地行]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p>	<p>初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。このクラスは法学部、地域行政学科の学生が対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。</p>
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。 	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと、復習
	2	四川料理食べたことがありますか。経験を表す「過」、比較文	事前学習単語シート
	3	二胡できますか。助動詞、二重目的語文	事前学習単語シート
	4	みかんを食べてもいい？助動詞「可以」、副詞	事前学習単語シート
	5	君の中国語上手ですね。様態補語、時間の長さ	事前学習単語シート
	6	もう一度言ってください。結果補語、回数の言い方	事前学習単語シート
	7	いつ無くしたの？禁止構文	事前学習単語シート
8	店に入って食べよう。方向補語	事前学習単語シート	
9	何をしているの？動作行為の進行を表す表現	事前学習単語シート	
10	横浜は東京から遠いですか。前置詞「離、従、到」	事前学習単語シート	
11	彼は来ない。助動詞「能、会」	事前学習単語シート	
12	彼をスーパーへ買い物に行かせた。使役表現	事前学習単語シート	
13	早く窓を閉めよう。「把」構文	事前学習単語シート	
14	体温計は父が壊した。受け身表現	事前学習単語シート	
15	来週冬休みになる。「就要・・・了」	事前学習単語シート	
16	何をしているの？	総復習	
テキスト・参考文献・資料など	<p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>		
学びの手立て	<ul style="list-style-type: none"> 毎回出欠確認を行います。 予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。 話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。 		
評価	<ul style="list-style-type: none"> 全学共通テストがあります。(50%) 本クラスの評価は50% 毎課小テスト 学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など 総合判断します 		

学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。 「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>
-------	---

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-顔 瑾 [経済・環政]	1年	ptt414@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、中国語初級レベルの会話力を身につけ、実際に応用できる中国語の習得を目指します。前期で学習したポイントを復習・強化しながら、正確な発音の定着、初級レベルの短文の理解と作文、日常会話によるコミュニケーションができることを目標とします。更に、中国語検定試験に向けて、練習や模擬問題を講義中に取り込み、中国語検定試験4級レベルの合格を目指します。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 中国語の表現及び正確な発音を習得し、基本文型、実践できる会話力をしっかり修得することを目標とします。 異文化への理解を深めながら、中国語の表現を介して、自分のコミュニケーション・スキルアップを目指します。 実力をアップし、中国語検定への合格を目指します。 	<p>初心者でも正確に発音できるように指導します。学生が直面しやすい場面や話しやすい話題、そして覚えやすいセンテンスなどを分かりやすく教え、実践的な中国語を話せるようにします。このクラスは経済学部(経済学科、地域環境学科)の一年次の学生が対象です。中国語に興味を持ち、積極的に取り込む学生を歓迎します。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	オリエンテーション、前期の復習	シラバスをよく読むこと、復習
	2	四川料理食べたことがありますか。経験を表す「過」、比較文	事前学習単語シート
	3	二胡できますか。助動詞、二重目的語文	事前学習単語シート
	4	みかんを食べてもいい？助動詞「可以」、副詞	事前学習単語シート
	5	君の中国語上手ですね。様態補語、時間の長さ	事前学習単語シート
	6	もう一度言ってください。結果補語、回数の言い方	事前学習単語シート
	7	いつ無くしたの？禁止構文	事前学習単語シート
	8	店に入って食べよう。方向補語	事前学習単語シート
	9	何をしているの？動作行為の進行を表す表現	事前学習単語シート
	10	横浜は東京から遠いですか。前置詞「離、従、到」	事前学習単語シート
	11	彼は来ない。助動詞「能、会」	事前学習単語シート
	12	彼をスーパーへ買い物に行かせた。使役表現	事前学習単語シート
	13	早く窓を閉めよう。「把」構文	事前学習単語シート
	14	体温計は父が壊した。受け身表現	事前学習単語シート
	15	来週冬休みになる。「就要・・・了」	事前学習単語シート
	16	復習、期末テスト	総復習
	17		
	18		
	19		
	20		
	21		
	22		
	23		
	24		
	25		
	26		
	27		
	28		
	29		
30			
31			

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：いまはじめよう！アクティブラーニング初級中国語 朝日出版社 参考文献：しゃべっていいとも中国語 朝日出版社 また、授業中に練習用資料を配布したり、中国を紹介するDVDを見せたりします。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎回出欠確認を行います。 ・予習・復習をしっかり行い、「事前学習単語シート」を予習の課題とします。 ・話すことが目的です。会話練習を積極的に参加し、声を出して練習に取り込めましょう。
	<p>評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全学共通テストがあります。（50%） ・本クラスの評価は50% 每課小テスト 学習態度、予習復習課題の完成状況、授業への取り組み状況など 総合判断します
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>さらなる中級、上級クラスへの継続的な学習を薦めます。 「中国語II」で学習した内容の定着を図りながら、より幅広い表現を、より自由に運用できるように、実際に役に立つ中国語を身につけることができます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅲ	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[全学科]	2年	授業の前後に教室内で対応します。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「中国語Ⅰ・Ⅱ」に引き続き、話す、聞く、書くといった総合的な能力の向上を図り、これまでに学習した基本文型を駆使して「中国語スピーチ」の原稿を書けるようにします。内容としては、「楽しかった思い出」「私のおススメ」等、中国人の友達に話したいこと、伝えたいことを話題にすると作文しやすいでしょう。	「中国語Ⅲ」では自分の意見を発話できるよう、基本文型を活用した実践的な会話形式を想定して学習します。会話文の暗記や質疑応答のペア練習をしますので、恥ずかしがらずに協力しあって取り組みましょう。また、このクラスでは中国人のS Aが参加します。S Aが皆さんの会話能力の向上や、スピーチ原稿作成への手助けをしてくれます。積極的に会話し、交流しましょう。
到達目標	中国や台湾の友人を作り、中国や台湾のことを聞いたり、自分のことや沖縄のことを紹介したり、インターネットで中国のことを検索できるように、中国語の基本文型を習得します。学期の終わりにはS Aと中国語で気軽に会話できるようになりましょう。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	自己紹介とオリエンテーション	
	2	第1課「中国へ行こう」 助動詞「可以」「要」、主述述語文	新出語句の予習
	3	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	4	練習問題	練習問題の予習
	5	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	6	第2課「ウーロン茶を飲もう」 「原因・理由」の表現、「逆接」を表す「可是」	新出語句の予習
	7	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	8	練習問題	練習問題の予習
	9	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	10	第3課「友達を作ろう」 連動文、「是～的」の文	新出語句の予習
	11	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	12	練習問題	練習問題の予習
	13	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	14	第1課から第3課までのまとめ	
	15	中間テスト	
	16	中間テストの解答と解説	
	17	第4課「長城に登ろう」 「了」の3つの用法、副詞「就」	新出語句の予習
	18	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	19	練習問題	練習問題の予習
	20	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	21	第5課「漢字を覚えよう」 結果補語、仮定を表す「要是」	新出語句の予習
	22	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	23	練習問題	練習問題の予習
	24	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	25	第6課「街を歩こう」 存現文、「又～又～」「一边～一边～」の用法	新出語句の予習
	26	対話練習と語法確認	C Dを聞きながら本文を発音練習
	27	練習問題	練習問題の予習
	28	実力アップトレーニングと単語テスト	単語テストの準備
	29	中国語検定模擬試験	スピーチ原稿の作成
30	期末テスト	スピーチ原稿の作成	
31	期末テストの返却と解答解説	スピーチ原稿の作成	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：《新版》『中国語さらなる一步』竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅 著（白水社） 参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布し、ビデオ、CD、DVD等を使用する。授業の進捗状況によって内容を変更する場合がある。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>このクラスには中国語が堪能なS Aが参加します。積極的に中国語で話しかけて発音の矯正、発話を通じるかなどを試してみましょう。そのためには授業外でも言いたいことや聞きたいことを事前に考え、作文しておくことが大切です。これは授業での学習項目にも通じるものです。</p>
	<p>評価</p> <p>課毎の本文の暗唱チェックと単語テスト（30%）、スピーチ原稿（30%）、中間・期末テスト（40%）で評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>中国語Ⅳを継続的に履修し、学内スピーチコンテストに参加して実践的实力をつけてほしい。 台湾東海大学夏季短期研修（1か月）、台湾東海大学春季短期研修（1か月）、台湾東海大学長期研修（1年）、マカオ大学長期研修（1年）等への参加を通してスキルアップを図ってほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	中国語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-運天 亜紀子[全学科]	2年	授業の際に教室にて受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	中国語Ⅰ・Ⅱ・Ⅲに引き続き、話す、聞く、書くといった総合的な能力の向上を目指します。SAによる発音指導や会話練習を通して中国語での会話に慣れ親しみ、自信につなげたい。また、講義の要素を取り入れ、短文の読解、文章の翻訳、日常生活に必要な実践的な作文力をつけます。中国語Ⅰ～Ⅲで学習した語彙を定着させ、運用能力を高めます。	「中国語Ⅳ」のレベルになるとピンインや基礎的な語法を習得し、自分で中国語を学ぶことができますようになります。積極的に中国や台湾の留学生と交流し、インターネット等を活用して実践練習の機会を持ちましょう。
到達目標	中国語検定3級程度の語彙力をつけ、辞書を引きながら簡単な長文を読み、正しく理解できるようにしましょう。また、辞書に頼らず簡単な日常会話をスムーズに行い、日記程度の作文が書けるようにしましょう。(中国語検定3級以上の取得をめざしましょう。)	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	自己紹介とオリエンテーション	講義説明とアンケート
	2	第7課「中国映画を見よう」 状態の持続を表す「着」、部分否定	新出語句の予習
	3	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	4	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	5	第8課「シルクを買おう」 方向補語、「使役」の表現、疑問詞の不定用法	新出語句の予習
	6	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	7	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	8	第9課「中華を食べよう」 可能補語、強調表現	新出語句の予習
	9	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	10	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	11	スピーチコンテストの原稿チェック	S Aの発音作文指導
	12	スピーチコンテストの発音チェック	S Aの発音指導
	13	第7課から第9課のまとめ	練習問題の予習
	14	中間テスト	第7課から第9課の復習
	15	第10課「太極拳を習おう」 推測を表す「会」、「～了～了」の用法	新出語句の予習
	16	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	17	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	18	中国映画鑑賞会	
	19	第11課「水滸伝を楽しもう」 結果補語、受け身を表す「被」	新出語句の予習
	20	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	21	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	22	第12課「春節を過ごそう」 「快～了」の用法、介詞「把」の使い方	新出語句の予習
	23	会話練習と語法確認	練習問題の予習
	24	練習問題と単語テスト	単語テストの準備
	25	中国語検定模擬試験	
	26	中国語検定模擬試験の解答と解説	
	27	「手紙を書こう」本文	P 5 8の予習
	28	実践「手紙の書き方」	
29	第10課から第12課までの復習	第10課から第12課までの復習	
30	予備日		
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：《新版》『中国語さらなる一步』竹島金吾 監修 尹景春・竹島毅 著（白水社）。参考文献は授業中紹介する。必要に応じてプリントを配布し、ビデオ、CD、DVD等を使用する。授業の進捗状況によって内容を変更する場合がある。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>このクラスには中国人のSAが参加します。積極的に中国語で話しかけて自分の発音の矯正、発話を通じるかなどを試してみましょう。また、中国語IVの受講者は「学内スピーチコンテスト」への参加が必須ですので、SAの力を借りてしっかり取り組みましょう。簡体字に慣れ、単語を覚えるためにも、課毎に単語テストを行いますので、新しい課に入る際には単語の予習を欠かさず行いましょう。受講の際には辞書を用意しましょう。（電子辞書可）</p>
	<p>評価</p> <p>中国語スピーチコンテストへの取り組み（30%）、中間、期末テストの成績（50%）に、単語テストの成績及び課題などの提出物（15%）、発音チェック（5%）を総合的に評価します。但し、総授業時間数の3分の1以上欠席した場合は単位を与えません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>中国語検定3級以上の取得を目指して学習に取り組んでほしい。また、台湾東海大学夏季短期研修（1ヶ月）、台湾東海大学春季短期研修（1ヵ月）、台湾東海大学長期研修（1年）、マカオ大学長期研修（1年）等への参加を通してスキルアップを図ってほしい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [日文・社文]	1年	k.okano@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	第1課 市場	復習に力をいれてください
	3	ドイツ語の「わたし」、「きみ」(人称代名詞)	復習
	4	動詞の基本的な変化(現在人称変化)	復習
	5	「わたしは沖縄に住んでいます」(自己紹介)	復習
	6	「めがね」って女性?(名詞の性)	復習
	7	第2課 ビールとワイン	復習
	8	英語のbe動詞とhaveにあたるドイツ語(seinとhabenの現在人称変化)	復習
	9	「ワインを飲みたい」(名詞の4格)	復習
	10	「ワインを飲みたい」(moechteの用法)	復習
	11	第3課 街並みとインテリア、「それ知らないなあ」(wissenの現在人称変化)	復習
	12	「彼女はワインを飲みたい」(moechteの現在人称変化)	復習
	13	年齢を尋ねる(wie+形容詞), 英語のbutにあたるドイツ語(aberの語順)	試験対策
	14	ドイツの住まい	試験対策
	15	中間試験	
	16	第4課 観光名所	復習
	17	「ケルンに行く」(fahrenの現在人称変化)	復習
	18	「飲め！」(命令文)	復習
	19	「ドイツ語で何と言うの?」(heissenの用法, 単語の復習)	復習
	20	ケルンの大聖堂	復習
	21	第5課 市内の交通	復習
	22	交通手段(mit+3格)	復習
	23	英語のspeakにあたるドイツ語(sprechenの現在人称変化)	復習
	24	英語のgiveとtakeにあたるドイツ語(gebenとnehmen, 命令形)	復習
	25	S-Bahnって何?	復習
	26	第6課 古い街並み	復習
	27	「～できる」(koennenの現在人称変化, 助動詞の用法)	復習
	28	よく使う助動詞	復習
	29	「～しに行く」(動詞の不定詞+gehen)	試験対策
30	ローテンブルク	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。くわしくは授業で説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語 I	期別	曜日・時限	単位
		前期	月4・木4	2
	担当者 -漆谷 球美子 [法律・地行]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得を目指します。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知ることが出来ます。	メッセージ 初心者にもわかりやすく教えます。会話練習やグループワークも多いですので、積極的に課題に取り組むようにしてください。また、ドイツ語以外にもドイツ文化や歴史についても学ぶことが出来ます。ドイツに関心を持つことが重要です。なお、シラバスはクラスの状況、講義の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 ドイツ語の発音ができる。 日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得することができる。 ドイツ文化を学ぶことができる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス、ドイツについて、アルファベット、発音	授業内で学習した内容の復習
	2	発音、挨拶、人称代名詞、動詞の現在人称変化	授業内で学習した内容の復習
	3	Lektion1 挨拶、動詞の現在人称変化	授業内で学習した内容の復習
	4	語順、疑問詞、自己紹介	授業内で学習した内容の復習
	5	動詞の現在人称変化、疑問文、否定文	授業内で学習した内容の復習
	6	自己紹介, 数字	授業内で学習した内容の復習
	7	Lektion2・3 動詞の現在人称変化 sein/haben	授業内で学習した内容の復習
	8	Lektion4・5 動詞の現在人称変化 (不規則変化動詞)	授業内で学習した内容の復習
	9	動詞の現在人称変化練習	授業内で学習した内容の復習
	10	副詞を使った表現	授業内で学習した内容の復習
	11	否定疑問文	授業内で学習した内容の復習
	12	動詞の現在人称変化 まとめ	授業内で学習した内容の復習
	13	中間テスト	授業内で学習した内容の復習
	14	命令文	授業内で学習した内容の復習
	15	名詞の性	授業内で学習した内容の復習
	16	定冠詞と不定冠詞 1格	授業内で学習した内容の復習
	17	名詞の格変化 4格、否定冠詞	授業内で学習した内容の復習
	18	名詞の格変化 1格と4格、形容詞	授業内で学習した内容の復習
	19	名詞の格変化 複数形	授業内で学習した内容の復習
	20	名詞の格変化 人称代名詞	授業内で学習した内容の復習
	21	名詞の格変化 3格	授業内で学習した内容の復習
	22	名詞の格変化 2格	授業内で学習した内容の復習
	23	名詞の格変化 定冠詞類、所有冠詞	授業内で学習した内容の復習
	24	名詞の格変化 所有冠詞	授業内で学習した内容の復習
	25	名詞の格変化 所有冠詞	授業内で学習した内容の復習
	26	他己紹介 所有冠詞の練習	授業内で学習した内容の復習
	27	他己紹介 所有冠詞の練習	授業内で学習した内容の復習
	28	名詞の格変化まとめ、練習問題	授業内で学習した内容の復習
	29	名詞の格変化まとめ、練習問題	授業内で学習した内容の復習
30	前期のまとめ	授業内で学習した内容の復習	
31	前期期末試験	授業内で学習した内容の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『Deutschland - Salat』（朝日出版社）ISBN 978-4-255-25333-6 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。（電子辞書も可）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。テキストと「独和辞典」をもって出席すること。 授業をしっかりと聞き、理解してください。わからない箇所は、授業内で質問できる時間を設けているので、その時に聞くようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>中間試験（30％） 期末試験（30％） 授業参加度（課題の提出、積極的な授業参加）（40％）で総合的に評価する。 ただし、三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ ドイツ語Ⅰで身に着けた基本的な文法を、正しく使用できるようにしてください。ドイツ語検定なども実施していますので、自身のドイツ語学習を継続してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [全学科]	全学年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい この授業は初めてドイツ語を学習する学生を対象としています。ドイツ語の基本構造を理解し、書く・聞く・読む・話すことの習得を目指します。ドイツ語の発音が出来るようになることに重点を置きます。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知ることが出来ます。	メッセージ 初心者にもわかりやすく教えます。会話練習やグループワークも多いですので、積極的に課題に取り組むようにしてください。また、ドイツ語以外にもドイツ文化や歴史についても学ぶことが出来ます。なお、シラバスはクラスの状況、講義の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 ドイツ語の発音が出来るようになる。自己紹介や家族紹介が出来るようになる。現在人称変化や格変化などドイツ語の基本的な文法を習得することが出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス、ドイツについて、アルファベット	
	2	発音、挨拶、人称代名詞、動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	3	Lektion1 動詞の現在人称変化	授業内で習った内容の復習
	4	語順、疑問詞、自己紹介	授業内で習った内容の復習
	5	動詞の現在人称変化、疑問文、否定文	授業内で習った内容の復習
	6	自己紹介、数字	授業内で習った内容の復習
	7	Lektion2・3 動詞の現在人称変化 sein/haben	授業内で習った内容の復習
	8	Lektion4・5 動詞の現在人称変化（不規則変化動詞）	授業内で習った内容の復習
	9	動詞の現在人称変化 まとめ	授業内で習った内容の復習
	10	副詞を使った表現	授業内で習った内容の復習
	11	否定疑問文	授業内で習った内容の復習
	12	動詞の現在人称変化 まとめ	授業内で習った内容の復習
	13	中間テスト	授業内で習った内容の復習
	14	命令文	授業内で習った内容の復習
	15	名詞の性	授業内で習った内容の復習
	16	定冠詞と不定冠詞 1格	授業内で習った内容の復習
	17	名詞の格変化 4格、否定冠詞	授業内で習った内容の復習
	18	名詞の格変化 1格と4格、形容詞	授業内で習った内容の復習
	19	名詞の格変化 複数形	授業内で習った内容の復習
	20	名詞の格変化 人称代名詞	授業内で習った内容の復習
	21	名詞の格変化 3格	授業内で習った内容の復習
	22	名詞の格変化 2格	授業内で習った内容の復習
	23	名詞の格変化 定冠詞類、所有冠詞	授業内で習った内容の復習
	24	名詞の格変化 所有冠詞、2格	授業内で習った内容の復習
	25	名詞の格変化 所有冠詞	授業内で習った内容の復習
	26	他己紹介 所有冠詞の練習	授業内で習った内容の復習
	27	他己紹介 所有冠詞の練習	授業内で習った内容の復習
	28	名詞の格変化 まとめ、練習問題	授業内で習った内容の復習
	29	名詞の格変化 まとめ、練習問題	授業内で習った内容の復習
30	名詞の格変化 まとめ、練習問題	授業内で習った内容の復習	
31	期末テスト		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『Deutschland - Salat』（朝日出版社）ISBN 978-4-255-25333-6 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。（電子辞書も可）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>学科指定を守ってください。テキストと「独和辞典」をもって出席すること。 授業をしっかりと聞き、理解してください。わからない箇所は、授業内で質問できる時間を設けているので、その時に聞くようにしてください。</p>
	<p>評価</p> <p>期末テスト30% 中間テスト30% 授業参加度（選挙区的な授業参加、課題の提出） 40% で総合的に判断する。 ただし、三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>ドイツ語Ⅱ、ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ ドイツ語Ⅰで身に着けた基本的な文法を、正しく使用できるようにしてください。ドイツ語検定なども実施していますので、自身のドイツ語学習を継続してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-吉井 巧-[人福]	1年		

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	第1課 市場	復習に力をいれてください
	3	ドイツ語の「わたし」、「きみ」(人称代名詞)	復習
	4	動詞の基本的な変化(現在人称変化)	復習
	5	「わたしは沖縄に住んでいます」(自己紹介)	復習
	6	「めがね」って女性?(名詞の性)	復習
	7	第2課 ビールとワイン	復習
	8	英語のbe動詞とhaveにあたるドイツ語(seinとhabenの現在人称変化)	復習
	9	「ワインを飲みたい」(名詞の4格)	復習
	10	「ワインを飲みたい」(moechteの用法)	復習
	11	第3課 街並みとインテリア、「それ知らないなあ」(wissenの現在人称変化)	復習
	12	「彼女はワインを飲みたい」(moechteの現在人称変化)	復習
	13	年齢を尋ねる(wie+形容詞), 英語のbutにあたるドイツ語(aberの語順)	試験対策
	14	ドイツの住まい	試験対策
	15	中間試験	
	16	第4課 観光名所	復習
	17	「ケルンに行く」(fahrenの現在人称変化)	復習
	18	「飲め!」(命令文)	復習
	19	「ドイツ語で何と言うの?」(heissenの用法, 単語の復習)	復習
	20	ケルンの大聖堂	復習
	21	第5課 市内の交通	復習
	22	交通手段(mit+3格)	復習
	23	英語のspeakにあたるドイツ語(sprechenの現在人称変化)	復習
	24	英語のgiveとtakeにあたるドイツ語(gebenとnehmen, 命令形)	復習
	25	S-Bahnって何?	復習
	26	第6課 古い街並み	復習
	27	「～できる」(koennenの現在人称変化, 助動詞の用法)	復習
	28	よく使う助動詞	復習
	29	「～しに行く」(動詞の不定詞+gehen)	試験対策
30	ローテンブルク	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。くわしくは授業で説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子[経済・環政・企シ・産情・英米]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	第1課 市場	復習に力をいれてください
	3	ドイツ語の「わたし」、「きみ」(人称代名詞)	復習
	4	動詞の基本的な変化(現在人称変化)	復習
	5	「わたしは沖縄に住んでいます」(自己紹介)	復習
	6	「めがね」って女性?(名詞の性)	復習
	7	第2課 ビールとワイン	復習
	8	英語のbe動詞とhaveにあたるドイツ語(seinとhabenの現在人称変化)	復習
	9	「ワインを飲みたい」(名詞の4格)	復習
	10	「ワインを飲みたい」(moechteの用法)	復習
	11	第3課 街並みとインテリア、「それ知らないなあ」(wissenの現在人称変化)	復習
	12	「彼女はワインを飲みたい」(moechteの現在人称変化)	復習
	13	年齢を尋ねる(wie+形容詞), 英語のbutにあたるドイツ語(aberの語順)	試験対策
	14	ドイツの住まい	試験対策
	15	中間試験	
	16	第4課 観光名所	復習
	17	「ケルンに行く」(fahrenの現在人称変化)	復習
	18	「飲め!」(命令文)	復習
	19	「ドイツ語で何と言うの?」(heissenの用法, 単語の復習)	復習
	20	ケルンの大聖堂	復習
	21	第5課 市内の交通	復習
	22	交通手段(mit+3格)	復習
	23	英語のspeakにあたるドイツ語(sprechenの現在人称変化)	復習
	24	英語のgiveとtakeにあたるドイツ語(gebenとnehmen, 命令形)	復習
	25	S-Bahnって何?	復習
	26	第6課 古い街並み	復習
	27	「～できる」(koennenの現在人称変化, 助動詞の用法)	復習
	28	よく使う助動詞	復習
29	「～しに行く」(動詞の不定詞+gehen)	試験対策	
30	ローテンブルク	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。くわしくは授業で説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい ドイツ語を初めて学ぶ学生のための授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。前期はとくに発音をマスターできるようにしましょう。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	第1課 市場	復習に力をいれてください
	3	ドイツ語の「わたし」、「きみ」(人称代名詞)	復習
	4	動詞の基本的な変化(現在人称変化)	復習
	5	「わたしは沖縄に住んでいます」(自己紹介)	復習
	6	「めがね」って女性?(名詞の性)	復習
	7	第2課 ビールとワイン	復習
	8	英語のbe動詞とhaveにあたるドイツ語(seinとhabenの現在人称変化)	復習
	9	「ワインを飲みたい」(名詞の4格)	復習
	10	「ワインを飲みたい」(moechteの用法)	復習
	11	第3課 街並みとインテリア、「それ知らないなあ」(wissenの現在人称変化)	復習
	12	「彼女はワインを飲みたい」(moechteの現在人称変化)	復習
	13	年齢を尋ねる(wie+形容詞), 英語のbutにあたるドイツ語(aberの語順)	試験対策
	14	ドイツの住まい	試験対策
	15	中間試験	
	16	第4課 観光名所	復習
	17	「ケルンに行く」(fahrenの現在人称変化)	復習
	18	「飲め!」(命令文)	復習
	19	「ドイツ語で何と言うの?」(heissenの用法, 単語の復習)	復習
	20	ケルンの大聖堂	復習
	21	第5課 市内の交通	復習
	22	交通手段(mit+3格)	復習
	23	英語のspeakにあたるドイツ語(sprechenの現在人称変化)	復習
	24	英語のgiveとtakeにあたるドイツ語(gebenとnehmen, 命令形)	復習
	25	S-Bahnって何?	復習
	26	第6課 古い街並み	復習
	27	「～できる」(koennenの現在人称変化, 助動詞の用法)	復習
	28	よく使う助動詞	復習
29	「～しに行く」(動詞の不定詞+gehen)	試験対策	
30	ローテンブルク	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。くわしくは授業で説明します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅱ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [日文・社文]	1年	k.okano@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。	ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
到達目標	この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	
	2	第7課 パン	復習に力をいれてください
	3	「6時です」(時刻の表現)	復習
	4	「お店は6時に開きます」(分離動詞、辞書の引き方、離れない場合)	復習
	5	ドイツの朝食	復習
	6	第8課 サッカー	復習
	7	「きみのお気に入りのスポーツ」(所有冠詞)	復習
	8	「わたしのお気に入りの…」(所有冠詞の格変化)	復習
	9	二つの文章を一つに(従属接続詞と副文)	復習
	10	ワールドカップ	復習
	11	第9課 ベルリン	復習
	12	「ベルリンの壁は1989年に崩壊した」(年号、現在完了形)	復習
	13	現在完了形のつくりかた(sein支配とさまざまな過去分詞)	試験対策
	14	イーストサイド・ギャラリー	試験対策
	15	中間試験	
	16	第10課 文化の多様性	復習
	17	過去分詞の作り方(規則変化)	復習
	18	「ケバブを食べたよ」(現在完了形haben支配, geのつかない過去分詞)	復習
	19	「トゥアナのところではなにをした?」(bei+3格)	復習
	20	友達のトゥアナはどんな人?	復習
	21	第11課 クリスマス	復習
	22	Weihnachtsbaum(複合語)	復習
	23	重要な9つの前置詞(前置詞と各支配)	復習
	24	「～にある, ～いる」(前置詞の3格支配)	復習
	25	おお、モミの木	復習
	26	第12課 環境	復習
	27	kommenはどういう意味?(辞書の活用)	復習
	28	「どこへ入れるの?」(前置詞の4各支配)	復習
29	「公園を歩いて行く」(前置詞のさまざま, 前置詞の融合形)	試験対策	
30	手紙をかく	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅲ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [全学科]	全学年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい ドイツ語Ⅰを受講済みの学生を対象としています。前期に引き続き、ドイツ語の基本構造を理解し、より多くの会話をドイツ語で出来るようになることを目指します。	メッセージ 前期で学んだ内容を基に、授業を行ないます。様々なシチュエーションにおける会話をペアワークやグループワークを通して練習します。積極的に会話練習に参加するようにしてください。また、ドイツやヨーロッパに対する興味を持って授業に望んでください。なお、シラバスはクラスの状況、授業の進捗状況によって変更することがありますので、あらかじめご理解ください。
	到達目標 様々な場面における基本的な会話のフレーズを覚えることができる。前置詞や助動詞、過去形などの文法事項を学ぶことが出来る。道案内や一日のできごとを述べるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業のイントロダクション、前期の復習	前期の復習
	2	Lektion7 時刻の表現	前期の復習
	3	Lektion7 時刻の表現	授業で習った内容の復習
	4	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業で習った内容の復習
	5	Lektion7 分離動詞と非分離動詞	授業で習った内容の復習
	6	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業で習った内容の復習
	7	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業で習った内容の復習
	8	分離動詞と時刻の表現まとめ、小テスト	授業で習った内容の復習
	9	Lektion6 助動詞、können	授業で習った内容の復習
	10	Lektion6 助動詞, dürfen, müssen	授業で習った内容の復習
	11	Lektion6 助動詞 möchten, mögen	授業で習った内容の復習
	12	Lektion6 助動詞 sollen, wollen	授業で習った内容の復習
	13	Lektion6 助動詞 練習問題	授業で習った内容の復習
	14	Lektion6 助動詞 練習問題	授業で習った内容の復習
	15	Lektion6 助動詞まとめ、小テスト	授業で習った内容の復習
	16	Lektion11-12 前置詞 3格支配、4格支配	授業で習った内容の復習
	17	Lektion11-12 前置詞 場所を表す前置詞	授業で習った内容の復習
	18	Lektion11-12 前置詞 方向を表す前置詞	授業で習った内容の復習
	19	道案内	授業で習った内容の復習
	20	道案内	授業で習った内容の復習
	21	前置詞まとめ、小テスト	授業で習った内容の復習
	22	Lektion9-10 3基本形	授業で習った内容の復習
	23	Lektion9-10 過去形	授業で習った内容の復習
	24	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
	25	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
	26	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
	27	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
	28	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
	29	Lektion9-10 現在完了形	授業で習った内容の復習
30	後期 まとめ	授業で習った内容の復習	
31	後期 期末テスト		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『Deutschland - Salat』（朝日出版社）ISBN 978-4-255-25333-6 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。（電子辞書も可）</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>授業をしっかりと聞いて、理解してください。わからない箇所は、授業内で聞くようにしてください。ペアワークやグループワークなどもしっかりと参加するようにしてください。また各単元内あるいは単元後に確認の小テストを行ないます。</p>
	<p>評価</p> <p>期末テスト30% 小テスト30% 平常点（課題の提出、積極的な授業参加）40% ただし三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>1年間学習した初級ドイツ語知識を活用し、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」の授業でより高度な内容を学ぶことが出来ます。またドイツ語検定試験などで実力を試すこともお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-漆谷 球美子 [法律・地行]	1年	k.bitw.72@gmail.com	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」を履修した学生を対象とする。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話すの習得を目指す。また、ドイツ事情や文化の一端を知ることができる。	メッセージ 前期で学んだ内容を基に、授業を行ないます。様々なシチュエーションにおける会話をペアワークやグループワークを通して練習します。積極的に課題に参加するようにしてください。またドイツやヨーロッパに対する興味を持って、授業にのぞんでください。
	到達目標 ドイツ語の発音ができる。 日常生活に役立つ簡単な会話表現を習得することができる。 ドイツ文化を知ることが出来る。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス 前期の復習	前期の学習内容を復習
	2	Lektion7 時刻の表現	授業内で習った内容の復習
	3	Lektion7 時刻の表現	授業内で習った内容の復習
	4	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業内で習った内容の復習
	5	Lektion7 分離動詞と非分離動詞	授業内で習った内容の復習
	6	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業内で習った内容の復習
	7	Lektion7 分離動詞と時刻の表現	授業内で習った内容の復習
	8	分離動詞と時刻の表現まとめ、小テスト	授業内で習った内容の復習
	9	Lektion6 助動詞、können	授業内で習った内容の復習
	10	Lektion6 助動詞、dürfen, müssen	授業内で習った内容の復習
	11	Lektion6 助動詞 möchten, mögen	授業内で習った内容の復習
	12	Lektion6 助動詞 sollen, wollen	授業内で習った内容の復習
	13	Lektion6 助動詞 練習問題	授業内で習った内容の復習
	14	Lektion6 助動詞 練習問題	授業内で習った内容の復習
	15	Lektion6 助動詞まとめ、小テスト	授業内で習った内容の復習
	16	Lektion11-12 前置詞 3格支配、4格支配	授業内で習った内容の復習
	17	Lektion11-12 前置詞 場所を表す前置詞	授業内で習った内容の復習
	18	Lektion11-12 前置詞 方向を表す前置詞	授業内で習った内容の復習
	19	道案内	授業内で習った内容の復習
	20	道案内	授業内で習った内容の復習
	21	前置詞まとめ、小テスト	授業内で習った内容の復習
	22	Lektion9-10 3基本形	授業内で習った内容の復習
	23	Lektion9-10 過去形	授業内で習った内容の復習
	24	Lektion9-10 現在完了形 sein支配とhaben支配	授業内で習った内容の復習
	25	Lektion9-10 現在完了形	授業内で習った内容の復習
	26	Lektion9-10 現在完了形	授業内で習った内容の復習
	27	Lektion9-10 現在完了形	授業内で習った内容の復習
	28	Lektion9-10 現在完了形	授業内で習った内容の復習
	29	Lektion9-10 現在完了形	授業内で習った内容の復習
30	後期 まとめ	授業内で習った内容の復習	
31	後期 期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：『Deutschland - Salat』（朝日出版社）ISBN 978-4-255-25333-6 エクセル独和辞典（郁文堂）、アポロン独和辞典（同学社）、アクセス独和辞典（三修社）などの「独和辞典」を用意してください。（電子辞書も可）</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>授業をしっかりと聞いて理解してください。わからない箇所は授業内で質問するようにしてください。ペアワークやグループワークなどの授業内課題には、積極的に取り組むようにしましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト(30%) 期末テスト(30%) 出席や課題などの平常点(40%) ただし三分の一以上欠席した者には単位を与えない。 後期は、各単元内あるいは単元後に確認の小テストを行いません。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>1年間学習した初級ドイツ語知識を活用し、「ドイツ語Ⅲ」「ドイツ語Ⅳ」の授業でより高度な内容を学ぶことが出来ます。またドイツ語検定試験などで実力を試すこともお勧めします。</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月4・木4	単位 2
	担当者 -吉井 巧-[人福]	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ koyoshii@11.u-ryukyu.ac.jp	

学びの準備	ねらい この授業は、現代口語ドイツ語を初めて学習する学生を対象にします。ドイツ語の基本構造を理解し、読み、書き、聞き、話す語学力の習得をめざす。また、ドイツ事情やドイツ文化の一端を知る。	メッセージ ドイツ語Ⅰの続き。先生やクラスの仲間と、ドイツ語を話してみましょう。
	到達目標 ドイツ語の発音ができるようになる。 日常生活に役立つ簡単なドイツ語会話表現を習得する。 ドイツの現状を知ること、ヨーロッパを通して世界情勢を理解する。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	授業ガイダンス	
	2	前期の復習	授業で習った内容の復習
	3	Lektion7 分離動詞	授業で習った内容の復習
	4	Lektion7 時刻	授業で習った内容の復習
	5	Lektion7 非分離動詞	授業で習った内容の復習
	6	Lektion7 文化コーナー「ドイツの食事」	
	7	Lektion8 所有冠詞	授業で習った内容の復習
	8	Lektion8 接続詞	授業で習った内容の復習
	9	Lektion8 副文	授業で習った内容の復習
	10	Lektion8 文化コーナー「ドイツ人とサッカー」	
	11	Lektion9 現在完了形1	授業で習った内容の復習
	12	Lektion9 過去分詞1	授業で習った内容の復習
	13	Lektion9 過去形	授業で習った内容の復習
	14	Lektion9 文化コーナー「ドイツの文化」	
	15	中間テスト	
	16	Lektion10 現在完了形2	授業で習った内容の復習
	17	Lektion10 前置詞1	授業で習った内容の復習
	18	Lektion10 過去分詞2	授業で習った内容の復習
	19	Lektion10 文化コーナー「ドイツの移民」	
	20	Lektion11 前置詞2	授業で習った内容の復習
	21	Lektion11 前置詞3	授業で習った内容の復習
	22	Lektion11 複合語	授業で習った内容の復習
	23	Lektion11 文化コーナー「ドイツのクリスマス」	
	24	Lektion12 前置詞4	授業で習った内容の復習
	25	Lektion12 前置詞5	授業で習った内容の復習
	26	Lektion12 融合形	授業で習った内容の復習
	27	Lektion12 文化コーナー「ドイツ人と環境」	
	28	Lektion7~8 復習とまとめ	授業で習った内容の復習
	29	Lektion9~10 復習とまとめ	授業で習った内容の復習
	30	Lektion11~12 復習とまとめ	授業で習った内容の復習
31	期末テスト		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 「ドイツ・サラダ」(朝日出版社) 保坂良子 ISBN 978-4-255-25333-6 2700円 独和辞典(電子辞書も可)</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 「テキスト」と「独和辞典」をもって出席すること。 授業の前には、テキストに付いているCDを聴いて発音の練習と予習をしておくこと。 また、適宜授業中に小テストを行うこともあります。</p>
	<p>評価 中間試験30%、期末試験40%、レポート20%、平常点10%。 ただし、三分の一以上欠席した者には単位を与えない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅲ、ドイツ語Ⅳ。 ドイツ語検定試験受験対策講座なども実施していますので、ドイツ語学習を継続してください。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [全学科]	2年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。	ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
到達目標	この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	
	2	第7課 パン	復習に力をいれてください
	3	「6時です」(時刻の表現)	復習
	4	「お店は6時に開きます」(分離動詞、辞書の引き方、離れない場合)	復習
	5	ドイツの朝食	復習
	6	第8課 サッカー	復習
	7	「きみのお気に入りのスポーツ」(所有冠詞)	復習
	8	「わたしのお気に入りの…」(所有冠詞の格変化)	復習
	9	二つの文章を一つに(従属接続詞と副文)	復習
	10	ワールドカップ	復習
	11	第9課 ベルリン	復習
	12	「ベルリンの壁は1989年に崩壊した」(年号、現在完了形)	復習
	13	現在完了形のつくりかた(sein支配とさまざまな過去分詞)	試験対策
	14	イーストサイド・ギャラリー	試験対策
	15	中間試験	
	16	第10課 文化の多様性	復習
	17	過去分詞の作り方(規則変化)	復習
	18	「ケバブを食べたよ」(現在完了形haben支配, geのつかない過去分詞)	復習
	19	「トゥアナのところではなにをした?」(bei+3格)	復習
	20	友達のトゥアナはどんな人?	復習
	21	第11課 クリスマス	復習
	22	Weihnachtsbaum(複合語)	復習
	23	重要な9つの前置詞(前置詞と各支配)	復習
	24	「～にある, ～いる」(前置詞の3格支配)	復習
	25	おお、モミの木	復習
	26	第12課 環境	復習
	27	kommenはどういう意味?(辞書の活用)	復習
	28	「どこへ入れるの?」(前置詞の4各支配)	復習
	29	「公園を歩いて行く」(前置詞のさまざま, 前置詞の融合形)	試験対策
30	手紙をかく	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅲ</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-東江 貴子 [経済・環政・企シ・産情・英米]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ」の受講者を対象とした授業です。授業の柱は、発音、ドイツ語の基本構造の理解、ドイツ語圏への理解の三つです。	メッセージ ドイツ語の発音は基本的にローマ字読みなので難しくはありません。声を出して練習してください。ドイツ語と英語は基本構造が似ています。英語と比較しながら文法を学びましょう。辞書の引き方も大切です。そうすれば簡単な読み物が理解できます。言葉は文化の担い手でもあります。言語の学習を通じてドイツの文化を学んでください。
	到達目標 この授業を受けた人は次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の発音ができるようになる。 ②日常生活に役立つ簡単な会話ができるようになる。 ③ドイツ語圏について具体的なイメージをもち、それを説明することができるようになる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと前期の復習	
	2	第7課 パン	復習に力をいれてください
	3	「6時です」(時刻の表現)	復習
	4	「お店は6時に開きます」(分離動詞、辞書の引き方、離れない場合)	復習
	5	ドイツの朝食	復習
	6	第8課 サッカー	復習
	7	「きみのお気に入りのスポーツ」(所有冠詞)	復習
	8	「わたしのお気に入りの…」(所有冠詞の格変化)	復習
	9	二つの文章を一つに(従属接続詞と副文)	復習
	10	ワールドカップ	復習
	11	第9課 ベルリン	復習
	12	「ベルリンの壁は1989年に崩壊した」(年号、現在完了形)	復習
	13	現在完了形のつくりかた(sein支配とさまざまな過去分詞)	試験対策
	14	イーストサイド・ギャラリー	試験対策
	15	中間試験	
	16	第10課 文化の多様性	復習
	17	過去分詞の作り方(規則変化)	復習
	18	「ケバブを食べたよ」(現在完了形haben支配、geのつかない過去分詞)	復習
	19	「トゥアナのところではなにをした?」(bei+3格)	復習
	20	友達のトゥアナはどんな人?	復習
	21	第11課 クリスマス	復習
	22	Weihnachtsbaum(複合語)	復習
	23	重要な9つの前置詞(前置詞と各支配)	復習
	24	「～にある、～いる」(前置詞の3格支配)	復習
	25	おお、モミの木	復習
	26	第12課 環境	復習
	27	kommenはどういう意味?(辞書の活用)	復習
	28	「どこへ入れるの?」(前置詞の4各支配)	復習
	29	「公園を歩いて行く」(前置詞のさまざま、前置詞の融合形)	試験対策
30	手紙をかく	試験対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など 保阪良子『ドイツ語・サラダ』（朝日出版，2010，ISBN978-4-255-25333-6） ドイツ語辞書（独和）が必要です。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て 学科指定を守ってください。 テキストと辞書（独和）を毎回もってきてください。</p>
	<p>評価 平常点（毎回の授業参加度、課題提出、小テスト）30%，中間・期末試験70%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 ドイツ語Ⅲ</p>

科目基本情報	科目名 ドイツ語Ⅲ	期別	曜日・時限	単位
		前期	火2・金2	2
	担当者 岡野 薫 [全学科]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		2年	k.okano@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい 「ドイツ語Ⅰ・Ⅱ」を履修した学生のための授業です。「Ⅰ・Ⅱ」で学んだことを確認しながら、発展的にドイツ語能力を養ってゆきます。ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学びます。	メッセージ 受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。受け身で聴くだけでなく、積極的に参加してください。みなさんで授業を作ってゆきましょう。
	到達目標 この授業の最終的な目標は、ドイツ語学習を自立して継続できること、ドイツ語圏の文化、社会についての情報を独力で得られるようになることのみならず、そのために、具体的に次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の基本構造を習得できる。簡単な会話をができ、それを応用した表現ができる。 ②発音ができる。初見の文章をドイツ語で発音できる。 ③ドイツ語圏について関心のある事柄を調べ、他者に説明（発表）できる。	

学びの準備	到達目標 この授業の最終的な目標は、ドイツ語学習を自立して継続できること、ドイツ語圏の文化、社会についての情報を独力で得られるようになることのみならず、そのために、具体的に次の技能と知識を習得できます。 ①ドイツ語の基本構造を習得できる。簡単な会話をができ、それを応用した表現ができる。 ②発音ができる。初見の文章をドイツ語で発音できる。 ③ドイツ語圏について関心のある事柄を調べ、他者に説明（発表）できる。
-------	--

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：具体的な授業計画は初回の授業で配布する。	
	2	第1課 レストランで	予習，復習
	3	第1課 レストランで	予習，復習
	4	第1課 レストランで	予習，復習
	5	第1課 レストランで	予習，復習
	6	第1課 レストランで	予習，復習
	7	第2課 ホテルで	予習，復習
	8	第2課 ホテルで	予習，復習
	9	第2課 ホテルで	予習，復習
	10	第2課 ホテルで	予習，復習
	11	第2課 ホテルで	予習，復習
	12	第3課 街で	予習，復習
	13	第3課 街で	予習，復習
	14	第3課 街で	予習，復習
	15	第3課 街で	予習，復習
	16	第3課 街で	試験準備
	17	中間試験	
	18	試験返却	
	19	第4課 旅行と交通	予習，復習
	20	第4課 旅行と交通	予習，復習
	21	第4課 旅行と交通	予習，復習
	22	第4課 旅行と交通	予習，復習
	23	第4課 旅行と交通	予習，復習
	24	第4課 旅行と交通	予習，復習
	25	第5課 天気	予習，復習
	26	第5課 天気	予習，復習
	27	第5課 天気	予習，復習
	28	第5課 天気	予習，復習
29	第5課 天気	予習，復習	
30	第5課 天気	試験準備	
31	学期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：佐藤修子，下田恭子ほか『CD付き スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語 コンパクト』（三修社，2017，ISBN978-4-384-13089-8C1084）</p> <p>参考文献：ドイツ語 I・II で使用したテキストや辞書。 中島悠爾，平尾浩三，朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社，2003，ISBN4-560-00492-7）</p> <p>資料：授業時に随時紹介します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>辞書（独和）を毎回持参してください。予習・復習を必ずして授業に臨んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（30％）と中間・期末試験（70％）。平常点は授業参加，課題による。場合によっては小テストを課すこともある。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>関連科目：ドイツ語IV</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	ドイツ語IV	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	岡野 薫 [全学科]	2年	k.okano@okiu.ac.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	「ドイツ語Ⅲ」を履修した学生のための授業です。「Ⅰ～Ⅲ」で学んだことを確認しながら、発展的にドイツ語能力を養ってゆきます。ドイツ語圏の文化や社会について具体的に学びます。	「ドイツ語Ⅲ」のテキストを引き続き使用します。受講者ひとりひとりが参加することではじめて授業が成立します。受け身で聴くだけでなく、積極的に参加してください。みなさんと授業を作ってください。
到達目標	この授業の最終的な目標は、ドイツ語学習を自立して継続できること、ドイツ語圏の文化、社会についての情報を独力で得られるようになることのみならず、そのために、具体的に次の技能と知識を習得できます。	
	①ドイツ語の基本構造を習得できる。簡単な会話をができ、それを応用した表現ができる。 ②発音ができる。初見の文章をドイツ語で発音できる。 ③ドイツ語圏について関心のある事柄を調べ、他者に説明（発表）できる。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス：具体的な授業計画は初回の授業で配布する。	
	2	第6課 健康と体の手入れ	予習，復習
	3	第6課 健康と体の手入れ	予習，復習
	4	第6課 健康と体の手入れ	予習，復習
	5	第6課 健康と体の手入れ	予習，復習
	6	第6課 健康と体の手入れ	予習，復習
	7	第7課 贈り物と招待	予習，復習
	8	第7課 贈り物と招待	予習，復習
	9	第7課 贈り物と招待	予習，復習
	10	第7課 贈り物と招待	予習，復習
	11	第7課 贈り物と招待	予習，復習
	12	第7課 贈り物と招待	試験準備
	13	中間試験	
	14	試験返却	
	15	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	16	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	17	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	18	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	19	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	20	第8課 履歴と学校制度	予習，復習
	21	第9課 ゴミと環境	予習，復習
	22	第9課 ゴミと環境	予習，復習
	23	第9課 ゴミと環境	予習，復習
	24	第9課 ゴミと環境	予習，復習
	25	第9課 ゴミと環境	予習，復習
	26	第10課 祝祭と祝日	予習，復習
	27	第10課 祝祭と祝日	予習，復習
	28	第10課 祝祭と祝日	予習，復習
	29	第10課 祝祭と祝日	予習，復習
30	第10課 祝祭と祝日	試験準備	
31	学期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：佐藤修子，下田恭子ほか『CD付き スツェーネン2 場面で学ぶドイツ語 コンパクト』（三修社，2017，ISBN978-4-384-13089-8C1084）</p> <p>参考文献：ドイツ語 I・II で使用したテキストや辞書。 中島悠爾，平尾浩三，朝倉巧『改訂版必携ドイツ文法総まとめ』（白水社，2003，ISBN4-560-00492-7）</p> <p>資料：授業時に随時紹介します。</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>予習・復習を必ずして授業に臨んでください。</p>
	<p>評価</p> <p>平常点（30％）と中間・期末試験（70％）。平常点は課題，授業参加による。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>とくになし。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [全学科]	2年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>
到達目標	<p>①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	フランスとフランス語に親しむ	フランスについて理解を深める
	3	文字と発音	発音を繰り返し練習する
	4	〃	同上
	5	挨拶	基本的な挨拶を学ぶ
	6	〃	相手の調子を尋ねる
	7	自己紹介	名前・国籍・職業を言う
	8	主語人称代名詞	テキストに沿って学習する
	9	〃	同上
	10	名詞の性と数	同上
	11	不定冠詞	同上
	12	動詞の活用 I	動詞êtreの活用
	13	〃	動詞êtreを使用した表現
	14	数字	1～20の数字を学ぶ
	15	〃	年齢の表現
	16	動詞の活用 II	動詞avoirの活用
	17	〃	動詞avoirを使用した表現
	18	形容詞	テキストに沿って学習する
	19	定冠詞	同上
	20	強制形	同上
	21	否定形	同上
	22	動詞の活用 III	-er動詞の活用
	23	〃	-er動詞を使用した表現
	24	疑問文	テキストに沿って学習する
	25	〃	同上
	26	指示形容詞	同上
	27	所有形容詞	同上
	28	疑問詞	同上
	29	前置詞	同上
30	前期の復習	前期のまとめ&テスト対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円 参考文献： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (30%) 期末試験 (50%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期のフランス語Ⅱへのステップとなるので、本講義の内容を見直し基礎をしっかりと固めた上で、フランス語検定取得やフランス留学も視野に入れた取り組みを行っていく。</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めま

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語 I	期別	曜日・時限	単位
		前期	月3・木3	2
	担当者 上江洲 律子[経済・環政・企シ・産情・日文]	対象年次	授業に関する問い合わせ	
		1年	授業の前後に教室で行います。	

学びの準備	ねらい フランス語の基本的なつくりや会話を身につけて、フランスの文化についての関心の糸口をつかんでもらうことを目的とします。	メッセージ 他者を知るには、その人たちが生きる「土地」に立つことが、何よりも重要です。まず、フランス（語圏）を旅するために必要なフランス語から学んでいきましょう。
	到達目標 フランス語での挨拶や自己紹介ができることを目標とします。また、日常生活に溶け込んだフランス的なものを汲み取れる感性を磨いていきます。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイドダンスとフランス語のABC	発音の復習
	2	フランスとフランス語に親しむ（1）	発音の復習
	3	フランスとフランス語に親しむ（2）	発音の復習
	4	挨拶する（1）	発音の復習
	5	挨拶する（2）	発音の復習
	6	挨拶する（3）	発音の復習
	7	文化紹介（1）	発音の復習
	8	名前、国籍、職業を言う（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	9	名前、国籍、職業を言う（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	10	名前、国籍、職業を言う（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	11	名前、国籍、職業を言う（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	12	名前、国籍、職業を言う（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	13	年齢を言う、家族を語る（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	14	年齢を言う、家族を語る（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	15	年齢を言う、家族を語る（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	16	年齢を言う、家族を語る（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	17	年齢を言う、家族を語る（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	18	好きなものを言う（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	19	好きなものを言う（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	20	好きなものを言う（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	21	好きなものを言う（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	22	文化紹介（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	23	好きなものを言う（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	24	持ち物を言う（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	25	持ち物を言う（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	26	持ち物を言う（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	27	持ち物を言う（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	28	持ち物を言う（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	29	復習	文法試験の準備
30	文法試験	文法試験の復習	
31	まとめ	文法試験の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト：藤田裕二、藤田知子、Sylvie GILLET著『新・東京一パリ，初飛行』[新装改訂二版]、(CD付) 駿河台出版社、2017年</p> <p>※参考書と辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>言語を学ぶことはスポーツをすることと似ています。スポーツのためにランニングや筋力アップトレーニングを自主練習として行うように、授業で学んだフランス語の会話表現などを、教室以外でも自分なりに練習して下さい。日々の少しずつの積み重ねが、皆さんのフランス語力を育ててくれます。</p>
	<p>評価</p> <p>授業の達成度を確認するために、筆記形式による文法試験（「読む」「書く」力の確認）と暗唱形式による発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、平常点と課題の提出状況を得点化して、前述の2つの試験結果に加えて総合的に評価します。</p> <p>○計算式＝文法試験の得点（35％）＋発音試験の得点（35％）＋平常点（20％）＋課題の得点（10％）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期のフランス語Ⅰでフランス語に慣れた後、後期のフランス語Ⅱで日常生活に関する様々な表現を学びます。フランス語ⅠとⅡを通してフランス語の基礎を身につけることとなりますので、フランス語Ⅰの単位を修得した方は、フランス語Ⅱを継続して受講して下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	外国語の学習は大変難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。

学びの準備	到達目標
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本（続き）	
	3	あいさつ・名前を言う	
	4	国籍を言う・出身を言う	
	5	自分の学問を言う・その他の便利な表現	
	6	親・祖父母の職業を言う	
	7	復習	
	8	話せる言語・住むところを言う	
	9	物を渡す・物を要求する	
	10	税関での取り組み	
	11	質問の言い方	
	12	復習	
	13	それは何ですか	
	14	家族を紹介する	
	15	家族を紹介する（続き）	
	16	したいことを言う	
	17	時間の言い方	
	18	時間軸に出来事を位置する	
	19	期間の言い方	
	20	義務を表す	
	21	窓口での取り組み	
	22	年齢を言う・数字	
	23	曜日名・月名・日付の言い方	
	24	交通機関	
	25	道を聞く・場所の位置	
	26	道順を教える・聞く	
	27	ホテルでの取り組み	
	28	お天気	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

	<p>テキスト・参考文献・資料など Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, Ohki Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
学 び の 実 践	<p>学びの手立て ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にもすることも大切です。</p>
	<p>評価 小テスト：80% ・ 期末テスト：20%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目 後期の授業の予習のためには夏休みの間前記で学んだ物を復習することを勧めます。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [全学科]	全学年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める学生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。 この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」(看板、店の名前、商品名など)にも注目し、フランス語の魅力に気づかせ

到達目標	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本(続き)	語彙、会話、動詞の復習
	3	挨拶をする	
	4	自己紹介をする	語彙、会話、動詞の復習
	5	名前を聞く	
	6	名前、職業、国籍を言う 数字(1~10) 第1課終了	語彙、会話、動詞の復習
	7	人について描写する	
	8	住んでいるところを詳しく言う(1)	語彙、会話、動詞の復習
	9	住んでいるところを詳しく言う(2)	
	10	年齢を言う 数字(11~20) 第2課終了	街角のフランス語を探す
	11	自分のことを話す	
	12	他の人について話す	語彙、会話、動詞の復習
	13	職業を聞く 否定する	
	14	質問する 数字(21~30) 第3課終了	語彙、会話、動詞の復習
	15	自分の好みについて話す	
	16	他の人の好みについて聞く	街角のフランス語を探す
	17	意見を言う	
	18	数字(31~69) 第4課終了	語彙、会話、動詞の復習
	19	家族について話す	
	20	理由を言う、尋ねる	語彙、会話、動詞の復習
	21	尋ねる(2)	
	22	何かについて肯定的、否定的に話す 数字(60~99) 第5課終了	街角のフランス語を探す
	23	物の位置を言う(dans / sur)	
	24	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)	語彙、会話、動詞の復習
	25	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)(2)	
	26	鼻母音の区別を覚える: 「an」と「on」の違い 第6課終了	語彙、会話、動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)</p> <p>参考文献：I-Phoneアプリ、「街角のフランス語をマッピングするアプリ」SPOTFRENCHウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動：http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html?</p> <p>ブログ、「フランスの情報を提供するブログ」http://www.frenchbloom.net/</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p> <p>授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！</p> <p>教室内で紹介する「街角のフランス語」の写真を授業外で積極的に撮ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」(看板、店の名前、商品名など)にも注目し、フランス語の魅力に気づかせ
到達目標	. 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	フランス語の発音の基本	
	2	フランス語の発音の基本(続き)	語彙、会話、動詞の復習
	3	挨拶をする	
	4	自己紹介をする	語彙、会話、動詞の復習
	5	名前を聞く	
	6	名前、職業、国籍を言う 数字(1~10) 第1課終了	語彙、会話、動詞の復習
	7	人について描写する	
	8	住んでいるところを詳しく言う(1)	語彙、会話、動詞の復習
	9	住んでいるところを詳しく言う(2)	
	10	年齢を言う 数字(11~20) 第2課終了	街角のフランス語を探す
	11	自分のことを話す	
	12	他の人について話す	語彙、会話、動詞の復習
	13	職業を聞く 否定する	
	14	質問する 数字(21~30) 第3課終了	語彙、会話、動詞の復習
	15	自分の好みについて話す	
	16	他の人の好みについて聞く	街角のフランス語を探す
	17	意見を言う	
	18	数字(31~69) 第4課終了	語彙、会話、動詞の復習
	19	家族について話す	
	20	理由を言う、尋ねる	語彙、会話、動詞の復習
	21	尋ねる(2)	
	22	何かについて肯定的、否定的に話す 数字(60~99) 第5課終了	街角のフランス語を探す
	23	物の位置を言う(dans / sur)	
	24	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)	語彙、会話、動詞の復習
	25	物の位置を聞く、質問に答える(単数形)(2)	
	26	鼻母音の区別を覚える: 「an」と「on」の違い 第6課終了	語彙、会話、動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)</p> <p>参考文献：I-Phoneアプリ、「街角のフランス語をマッピングするアプリ」SPOTFRENCHウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動：http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html?</p> <p>ブログ、「フランスの情報を提供するブログ」http://www.frenchbloom.net/</p>
学びの実践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけでなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大事です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p> <p>授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学びの継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>後期の授業の予習のためには夏休みの間前期で学んだ内容を復習することをおすすめします。全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！</p> <p>教室内で紹介する「街角のフランス語」の写真を授業外で積極的に撮ってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語 I	前期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [英米・社文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>フランス語の初心者を対象とします。アルファベットと発音の基礎から始め、当言語を理解するために必要な文法事項を解説していくと共に、反復練習を行います。「読む」「書く」「聞く」「話す」という4つの力を総合的に養成することを目標とします。フランスへのより深い理解と、興味を高めるために、フランスやフランス語圏の文化・芸術・音楽の紹介、映画鑑賞等を予定しています。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>
	到達目標	
	<p>①フランス語で簡単な会話ができる。 ②フランス語の基礎的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンス	
	2	フランスとフランス語に親しむ	フランスについて理解を深める
	3	文字と発音	発音を繰り返し練習する
	4	〃	同上
	5	挨拶	基本的な挨拶を学ぶ
	6	〃	相手の調子を尋ねる
	7	自己紹介	名前・国籍・職業を言う
	8	主語人称代名詞	テキストに沿って学習する
	9	〃	同上
	10	名詞の性と数	同上
	11	不定冠詞	同上
	12	動詞の活用 I	動詞êtreの活用
	13	〃	動詞êtreを使用した表現
	14	数字	1～20の数字を学ぶ
	15	〃	年齢の表現
	16	動詞の活用 II	動詞avoirの活用
	17	〃	動詞avoirを使用した表現
	18	形容詞	テキストに沿って学習する
	19	定冠詞	同上
	20	強制形	同上
	21	否定形	同上
	22	動詞の活用 III	-er動詞の活用
	23	〃	-er動詞を使用した表現
	24	疑問文	テキストに沿って学習する
	25	〃	同上
	26	指示形容詞	同上
	27	所有形容詞	同上
	28	疑問詞	同上
	29	前置詞	同上
30	前期の復習	前期のまとめ&テスト対策	
31	期末試験		

学 び の 実 践	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円 参考文献： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (30%) 期末試験 (50%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めめます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 月3・木3	単位 2
	担当者 上江洲 律子[経済・環政・企シ・産情・日文]	対象年次 1年	授業に関する問い合わせ 授業の前後に教室で行います。	

学びの準備	ねらい フランス語Ⅰに引き続き、フランス語の基本的なつくりや会話を身につけて、フランスの文化についての関心の糸口をつかんでもらうことを目的とします。	メッセージ 人々が実際の生活を営む「土地」は、風景、におい、音、肌触り、味を通して、多くのことを伝えてくれます。その生きた知識に触れられるよう、フランス（語圏）を旅するために必要なフランス語から学んでいきましょう。
	到達目標 フランス語Ⅰに引き続き、フランス語での挨拶や自己紹介ができることを目標とします。また、日常生活に溶け込んだフランス的なものを汲み取れる感性が磨かれることを目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		時間外学習の内容
	回	テーマ	
	1	ガイダンスと復習（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	2	復習（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	3	復習（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	4	復習（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	5	復習（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	6	友達について話す（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	7	友達について話す（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	8	友達について話す（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	9	友達について話す（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	10	友達について話す（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	11	友達について話す（6）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	12	尋ねる（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	13	尋ねる（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	14	尋ねる（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	15	尋ねる（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	16	尋ねる（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	17	文化紹介（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	18	近い未来、近い過去のことを語る（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	19	近い未来、近い過去のことを語る（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	20	近い未来、近い過去のことを語る（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	21	近い未来、近い過去のことを語る（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	22	近い未来、近い過去のことを語る（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	23	時間、天候を言う（1）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	24	文化紹介（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	25	時間、天候を言う（2）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	26	時間、天候を言う（3）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	27	時間、天候を言う（4）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	28	時間、天候を言う（5）	発音と動詞の活用、語彙の復習
	29	復習	文法試験の準備
	30	文法試験	文法試験の復習
31	まとめ	文法試験の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>フランス語Ⅰで使用したテキストを引き続き使用します。 テキスト：藤田裕二、藤田知子、Sylvie GILLET著『新・東京一パリ，初飛行』[新装改訂二版]（CD付）、駿河台出版社、2017年 ※参考書と辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>繰り返しになりますが、語学学習はスポーツです。基礎力を高めて実力をつけるためには、毎日のトレーニングが必要です。授業で学んだ会話表現や動詞の活用、語彙などを、授業以外でも繰り返し練習して下さい。日々のほんのささやかな努力が、時の経過という仲間を得て、揺るぎない力を育ててくれます。</p>
学 び の 継 続	<p>評価</p> <p>フランス語Ⅰと同様です。 授業の達成度を確認するために、筆記形式による文法試験（「読む」「書く」力の確認）と暗唱形式による発音試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、平常点と課題の提出状況を得点化して、前述の2つの試験結果に加えて総合的に評価します。 ○計算式＝文法試験の得点（35％）＋発音試験の得点（35％）＋平常点（20％）＋課題の得点（10％）</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語の中級クラスとして、フランス語Ⅲ（前期）とフランス語Ⅳ（後期）があります。フランス語ⅢとⅣでは、フランスへの留学を視野に入れながら、さらに実践的な場面で活用するためのフランス語力を身につけることを目標に学んでいきます。フランス語Ⅱの単位を修得した方は、フランス語ⅢとⅣを継続して受講して下さい。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月3・木3	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-金城 豪 [英米・社文]	1年	kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	<p>前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します</p> <p>到達目標</p> <p>①フランス語で旅行できる程度の会話力を身につける。 ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。</p>	<p>外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。</p>

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	〃	
	3	色の表現	テキストに沿って学習する
	4	部分冠詞	同上
	5	非人称構文	天候の表現
	6	〃	その他の表現
	7	動詞の活用Ⅳ	-ir動詞の活用
	8	〃	-ir動詞を使用した表現
	9	近接未来	動詞allerの用法
	10	近接過去	動詞venirの用法
	11	前置詞	前置詞de・aの用法
	12	比較の表現	テキストに沿って学習する
	13	〃	同上
	14	補語人称代名詞	同上
	15	〃	同上
	16	可能・欲求・義務の表現	同上
	17	〃	同上
	18	中性代名詞	中性代名詞en・yの用法
	19	縮約	前置詞a+定冠詞の縮約
	20	〃	前置詞de+定冠詞の縮約
	21	動詞の活用Ⅴ	動詞prendreの用法
	22	動詞の活用Ⅵ	動詞faireの用法
	23	場所の表現	様々な前置詞
	24	時間の表現	テキストに沿って学習する
	25	食事の表現	同上
	26	乗り物と期間	同上
	27	動詞の活用Ⅶ	その他の動詞の用法
	28	代名動詞	テキストに沿って学習する
	29	〃	同上
30	後期の復習	後期のまとめ&期末テスト対策	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円 仏和辞典： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。 ※必ず仏和辞書を用意すること。</p>
学 の 継 続	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (30%) 期末試験 (50%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p> <p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。 今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅱ	期別 後期	曜日・時限 火2・金2	単位 2
	担当者 -金城 豪 [全学科]	対象年次 2年	授業に関する問い合わせ kinjogo@yahoo.co.jp	

学びの準備	ねらい 前期に引き続き、フランス語の基礎を学んでいきます。フランス語Ⅰと同じテキストを使用します。ビデオやCDなどの視聴覚教材を用いながら、日常会話やよく使われる表現を繰り返し練習します。フランス語Ⅲ、Ⅳに進むための確実な文法力を身につけることを目標とします。また文部科学省認定実用フランス語検定試験4～5級取得を目指します。	メッセージ 外国語は継続して繰り返し粘り強く学習していくことが大変重要です。英語以外の外国語を初めて学ぶ学生が多いと思いますが、初心者でも取り組みやすいように丁寧な指導を心がけていきます。わからないことがあれば遠慮なく質問してください。また授業への積極的な参加は必須ですので、毎回遅れずに講義に参加してください。
	到達目標 ①フランス語で旅行できる程度の会話を身につける。 ②フランス語のより体系的な文法事項を理解する。 ③文部科学省認定実用フランス語検定試験5～4級程度の実力を身につけ、実際に取得を目指す。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	〃	
	3	色の表現	テキストに沿って学習する
	4	部分冠詞	同上
	5	非人称構文	天候の表現
	6	〃	その他の表現
	7	動詞の活用Ⅳ	-ir動詞の活用
	8	〃	-ir動詞を使用した表現
	9	近接未来	動詞allerの用法
	10	近接過去	動詞venirの用法
	11	前置詞	前置詞de・aの用法
	12	比較の表現	テキストに沿って学習する
	13	〃	同上
	14	補語人称代名詞	同上
	15	〃	同上
	16	可能・欲求・義務の表現	同上
	17	〃	同上
	18	中性代名詞	中性代名詞en, yの用法
	19	縮約	前置詞a+定冠詞の縮約
	20	〃	前置詞de+定冠詞の縮約
	21	動詞の活用Ⅴ	動詞prendreの用法
	22	動詞の活用Ⅵ	動詞faireの用法
	23	場所の表現	様々な前置詞
	24	時間の表現	テキストに沿って学習する
	25	食事の表現	同上
	26	乗り物と期間	同上
	27	動詞の活用Ⅶ	その他の動詞の用法
	28	代名動詞	テキストに沿って学習する
	29	〃	同上
	30	後期の復習	後期のまとめ&期末テスト対策
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキスト： ニコラ・ガイヤール他 著『新装 カフェ・フランセ』(CD付) (朝日出版社) 価格 2,592円 仏和辞典： 多田 道太郎 編『クラウン仏和辞典』 (三省堂) 価格 4,320円</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>毎回出席確認をするので授業には遅れないように参加すること。やむを得ず欠席する場合は必ず欠席届を提出すること。 各自学習用のノートを持参ししっかりとメモを取ること。 発音や会話の練習を毎回行うので、積極的に授業内のコミュニケーションに参加すること。 フランス語やフランス文化に興味を持ち、自主的に研究に励むこと。 ※必ず仏和辞書を用意すること。</p>
	<p>評価</p> <p>授業態度・参加状況 (20%) 小テスト (30%) 期末試験 (50%) 出席は得点に加えないが、8回の欠席で評価の対象にならない。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語Ⅲ・Ⅳに進むために必要な語学力と知識を身につけ、更なるレベルアップを目指す。 今後国際社会に必要な言語の一つとして、各自継続的に学んでいく方法と能力を獲得する。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [法律・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める1年生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」(看板、店の名前、商品名など)にも注目し、フランス語の魅力に気づかせ
	到達目標	
	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	前期の復習	前期の語彙、会話、動詞の復習
	3	物を描写する	
	4	物の位置を聞く、質問に答える	語彙、会話、動詞の復習
	5	物の色を聞く	
	6	着ている物について話す 第7課終了	語彙、会話、動詞の復習
	7	物の位置関係を言う	
	8	冠詞の細かいルールを学ぶ:冠詞の縮約(1)	語彙、会話、動詞の復習
	9	冠詞の細かいルールを学ぶ:冠詞の縮約(2)	
	10	数、量を聞く表現を使う 第8課終了	街角のフランス語を探す
	11	カフェで注文する	
	12	市場で買い物をする	語彙、会話、動詞の復習
	13	パン屋で買い物をする	
	14	欲しい物を言う(数字100-1000) 第9課終了	語彙、会話、動詞の復習
	15	食生活について話す	
	16	統計について話す	街角のフランス語を探す
	17	自分の意見を言う(1)	
	18	自分の意見を言う(2) 第10課終了	語彙、会話、動詞の復習
	19	国について話す(1)	
	20	国について話す(2)	語彙、会話、動詞の復習
	21	天気を言う(1)	
	22	天気を言う(2) 第11課終了	街角のフランス語を探す
	23	誰が、どこへ行くかを言う	
	24	誰が、いつ、なぜ行くかを言う	語彙、会話、動詞の復習
	25	誰が、どうやって行くかを言う	
	26	道を尋ねる(数字10万まで) 第12課終了	語彙、会話、動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)</p> <p>参考文献：I-Phoneアプリ、「街角のフランス語をマッピングするアプリ」SPOTFRENCH ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動：http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html?</p> <p>ブログ、「フランスの情報を提供するブログ」http://www.frenchbloom.net/</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p> <p>授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25% ・ 口頭参加：25% ・ 期末テスト：50%</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！ 教室内で紹介する「街角のフランス語」の写真を授業外で積極的に撮ってきましょう。 受講終了後に「複言語・複文化主義」に興味を持つ第二言語学習者になってみましょう。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月5・木5	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	-ムートン ジスラン [全学科]	全学年	授業終了後に教室で受け付けます。 hitsujiji@gmail.com	

学びの準備	ねらい	メッセージ
	この授業は4月からフランス語を学び始める学生を対象にします。文法を中心に学ぶことの多い従来の授業をおぎない、発音と会話の基本的な力を身につけることが目的です。さまざまな場面での会話の練習とディスカッションを通じて表現と語彙の力をのばし、また音声教材を使って聴き取りの力をつけることをめざします。	外国語の学習は難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。フランス語を勉強するモチベーションが見つかれば、だれでも楽しく勉強できるようになります。 この授業では日本中にあふれている「街角のフランス語」(看板、店の名前、商品名など)にも注目し、フランス語の魅力に気づかせ

到達目標	・挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。
------	---

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期の復習	
	2	前期の復習	前期の語彙、会話、動詞の復習
	3	物を描写する	
	4	物の位置を聞く、質問に答える	語彙、会話、動詞の復習
	5	物の色を聞く	
	6	着ている物について話す 第7課終了	語彙、会話、動詞の復習
	7	物の位置関係を言う	
	8	冠詞の細かいルールを学ぶ:冠詞の縮約(1)	語彙、会話、動詞の復習
	9	冠詞の細かいルールを学ぶ:冠詞の縮約(2)	
	10	数、量を聞く表現を使う 第8課終了	街角のフランス語を探す
	11	カフェで注文する	
	12	市場で買い物をする	語彙、会話、動詞の復習
	13	パン屋で買い物をする	
	14	欲しい物を言う(数字100-1000) 第9課終了	語彙、会話、動詞の復習
	15	食生活について話す	
	16	統計について話す	街角のフランス語を探す
	17	自分の意見を言う(1)	
	18	自分の意見を言う(2) 第10課終了	語彙、会話、動詞の復習
	19	国について話す(1)	
	20	国について話す(2)	語彙、会話、動詞の復習
	21	天気を言う(1)	
	22	天気を言う(2) 第11課終了	街角のフランス語を探す
	23	誰が、どこへ行くかを言う	
	24	誰が、いつ、なぜ行くかを言う	語彙、会話、動詞の復習
	25	誰が、どうやって行くかを言う	
	26	道を尋ねる(数字10万まで) 第12課終了	語彙、会話、動詞の復習
	27	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	28	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
	29	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習
30	復習+模擬試験	期末試験のため、予習・復習	
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>教科書：Méthode de français フランス語の方法-コミュニケーションと文法の基礎-(改訂版) 著者：DURRENBERGER Vincent ; ISBN:978-4411011176 ; 駿河台出版社(改訂版)</p> <p>参考文献：I-Phoneアプリ、「街角のフランス語をマッピングするアプリ」SPOTFRENCH ウェブサイト、「フランス語の動詞の活用が簡単に使えるサイト」フラ動：http://www.litterature.jp/numerique/verbe.html?</p> <p>ブログ、「フランスの情報を提供するブログ」http://www.frenchbloom.net/</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>①毎回出席をチェックします。8回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自律学習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも大切です。</p> <p>授業内で紹介するアプリ、ブログ、歌、漫画などを授業外でも積極的に使うようにしましょう！</p>
	<p>評価</p> <p>小テスト（口頭＋筆記）：25％ ・ 口頭参加：25％ ・ 期末テスト：50％</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>全国の「街角のフランス語を探せ！」プロジェクトにも楽しく参加しましょう！ 教室内で紹介する「街角のフランス語」の写真を授業外で積極的に撮ってきましょう。 受講終了後に「複言語・複文化主義」に興味を持つ第二言語学習者になってみましょう。。</p>

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅱ	後期	月4・木4	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	ゲルハール フランク [地行・人福]	1年	授業終了後に教室で受け付けます。	

学びの準備	ねらい この授業はフランス語とフランス文化（二次的にはフランス語圏の文化）の習得を目的とします。一年でフランス会話に必要な基本的な語彙や文法を身につけられます。書く・読む・話す・聞くという能力を中心にフランス語の学習を行います。	メッセージ 外国語の学習は大変難しいものですが、動力と熱意をもって取り組めば決して無理なものではありません。
	到達目標 挨拶から自分の体験について話せるようになることを目標とします。また、フランス語の簡単な文章が読めるようにもなります。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	前期学んだものの復習 1	
	2	前期学んだものの復習 2	
	3	助動詞avoirを使う動詞の複合過去形	
	4	助動詞etreを使う動詞の複合過去形	
	5	代名動詞の現在形と原型の使い方	
	6	代名動詞の複合過去形	
	7	人を招待する	
	8	中生代名詞 y	
	9	意見を簡単に述べる	
	10	直接目的語代名詞	
	11	比較級	
	12	買い物をするに関する表現	
	13	趣味に関する表現（好き・嫌いなど）	
	14	指示代名詞	
	15	間接目的語代名詞	
	16	命令形と目的語代名詞	
	17	レストランで役立つ表現	
	18	注文する・単純未来形 1	
	19	半過去形 1	
	20	部分冠詞	
	21	分量副詞の使い方	
	22	on の使い方	
	23	半過去形 2	
	24	結果状態の表現	
	25	人の性格と体格を描写する	
	26	フランス語の直接法の時制のまとめ	
	27	条件を表す 1	
	28	条件を表す 2	
	29	助言を言う	
30	復習		
31	期末試験		

学	<p>テキスト・参考文献・資料など Passe-Partout 著者：GRAS Alexandre, Ohki Mitsuru など；ISBN:978-4-411-01109-1；駿河台出版社</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て ①毎回出席をチェックします。11回目の欠席で単位がもらえなくなりますので気を付けてください。②授業内に、わからないとき質問を積極的にすることが望ましいです。授業内だけではなく、授業外の自習も大切です。次回の授業に出る前に、前々回と前回勉強されたものを復習して、ちゃんと身につけることも大切です。教科書の会話や例文などを暗記することも構文や語彙を覚えることに効果があるでしょう。宿題を定期的にも行うことも大切です。</p>
学 び の 継 続	<p>評価 小テスト：80% ・ 期末テスト：20%</p> <p>次のステージ・関連科目 後期の授業の予習のためには夏休みの間前記で学んだ物を復習することを勧めます。</p>

※ポリシーとの関連性

フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名 フランス語Ⅲ	期別 前期	曜日・時限 火2・金2	単位 2
	担当者 上江洲 律子[全学]	対象年次 2年	授業に関する問い合わせ 授業の前後に教室で行います。	

学びの準備	ねらい フランス語の文法や会話を身につけながら、フランス語圏の文化に関わる場面において、実践的に活用できるようになることを目的とします。	メッセージ フランス語が使われている「土地」を旅したり、留学することを思い浮かべながら、フランス語圏の文化に直接触れることを通して、実践的にフランス語を身に付けていきましょう。
	到達目標 フランス語で自分の日々の生活を紹介したり、未来について語ったりできるようになることを目標とします。また、物語を読んだり、音楽を聞いたり、映画を観たり、フランス（語圏）の文化に触れることを通して、日本とは異なる文化を受容する感性が磨かれることを目指します。	

学びの実践	学びのヒント 授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイドダンスと復習（1）挨拶	課題
	2	復習（2）自己紹介	課題
	3	復習（3）好きなものを言う	課題
	4	復習（4）持ち物を言う	課題
	5	復習（5）家族や友達について話す	課題
	6	文化紹介（1）	課題
	7	数量を表す（1）	課題
	8	数量を表す（2）	課題
	9	数量を表す（3）	課題
	10	数量を表す（4）	課題
	11	紹介する（1）	課題
	12	紹介する（2）	課題
	13	紹介する（3）	課題
	14	紹介する（4）	課題
	15	一日を語る（1）	課題
	16	一日を語る（2）	課題
	17	一日を語る（3）	課題
	18	一日を語る（4）	課題
	19	頼む、命令する（1）	課題
	20	頼む、命令する（2）	課題
	21	文化紹介（2）	課題
	22	頼む、命令する（3）	課題
	23	頼む、命令する（4）	課題
	24	未来のことを語る（1）	課題
	25	未来のことを語る（2）	課題
	26	未来のことを語る（3）	課題
	27	未来のことを語る（4）	課題
	28	復習（1）	文法試験の準備
	29	復習（2）	文法試験の準備
	30	文法試験	文法試験の復習
31	まとめ	文法試験の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、フランス語ⅠとⅡを受講する際に使用していたテキストを、毎回授業に持参して下さい。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>
学びの 実践	<p>学びの手立て</p> <p>言語の修得において何よりも重要なものは、フランス語で表現されたものを何としても理解したいという強いモチベーションです。小説や音楽、映画や歴史、スポーツや料理、ファッションなど、対象は何であって構いません。興味のあるテーマを見つけて取り組む対象を決め、自分のフランス語を駆使して理解に努めて下さい。こうした努力が実践的なフランス語力を培います。</p>
実践	<p>評価</p> <p>授業の達成度を確認するために、筆記形式による文法試験（「読む」「書く」力の確認）と、暗唱形式による会話試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。 ○計算式＝文法試験の得点（35％）＋発音試験の得点（35％）＋課題の得点（30％） ※ただし、単位修得のためには、授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学びの 継続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>前期のフランス語Ⅲで日常生活に関するさまざまな表現や未来の語り方を身に付けた後、後期のフランス語Ⅳでは過去の語り方を始め、仮定の表現や感情を伝える表現など、コミュニケーションの機微に関わる表現に取り組みます。フランス語ⅢとⅣを通して、フランス語の基礎を網羅的に学ぶこととなりますので、フランス語Ⅲの単位を修得した方は、フランス語Ⅳを継続して受講して下さい。</p>

※ポリシーとの関連性 フランス語を学ぶことは、日本とは異なる文化を受け入れる素地を育むことを通して、国際的な視点を獲得する可能性を高めます。

[/一般講義]

科目基本情報	科目名	期別	曜日・時限	単位
	フランス語Ⅳ	後期	火2・金2	2
	担当者	対象年次	授業に関する問い合わせ	
	上江洲 律子[全学]	2年	授業の前後に教室で行います。	

学びの準備	ねらい フランス語Ⅲから引き続き、フランス語の基本的な文法や会話を学びながら、身に付けたフランス語を実践的に活用して、フランス語圏の文化を受容することができるようになることを目的とします。	メッセージ フランス語圏を旅することや留学することを具体的な目標として、フランス語を実践的に活用しながら、生きたフランス語を身に付けていきましょう。
	到達目標 フランス語で自分の過去について語ったり、自分の気持ちを伝えたりできるようになることを目標とします。また、さまざまなメディアを通して、自らフランス語圏の文化を吸収する自主性と、そこから多くのことを汲み取ることのできる感受性が高まることを目指します。	

学びの実践	学びのヒント		
	授業計画		
	回	テーマ	時間外学習の内容
	1	ガイダンスと復習（1）未来のことを語る	課題
	2	復習（2）未来のことを語る	課題
	3	復習（3）数量を表す	課題
	4	復習（4）数量を表す	課題
	5	復習（5）一日を語る	課題
	6	復習（6）一日を語る	課題
	7	過去の出来事を語る（1）	課題
	8	過去の出来事を語る（2）	課題
	9	過去の出来事を語る（3）	課題
	10	過去の出来事を語る（4）	課題
	11	過去の出来事を語る（5）	課題
	12	過去の思いでを語る（1）	課題
	13	過去の思いでを語る（2）	課題
	14	過去の思いでを語る（3）	課題
	15	過去の思いでを語る（4）	課題
	16	文化紹介（1）	課題
	17	人や物について語る（1）	課題
	18	人や物について語る（2）	課題
	19	人や物について語る（3）	課題
	20	人や物について語る（4）	課題
	21	比較する（1）	課題
	22	比較する（2）	課題
	23	比較する（3）	課題
	24	文化紹介（2）	課題
	25	受け身の形を使う	課題
	26	仮定する	課題
	27	感情を表現する	課題
	28	復習（1）	文法試験の準備
	29	復習（2）	文法試験の準備
30	試験	文法試験の復習	
31	まとめ	文法試験の復習	

学	<p>テキスト・参考文献・資料など</p> <p>テキストは授業内で配付します。 ※ただし、フランス語ⅠとⅡを受講する際に使用していたテキストを、毎回授業に持参して下さい。 ※参考書や辞書については授業内で紹介します。</p>
び の 実 践	<p>学びの手立て</p> <p>具体的な目標は語学学習のモチベーションを高めて言語の修得を後押しします。フランス語において、その具体的な目標の1つとなるのが、フランス語の検定試験だと言えるでしょう。検定試験は、その受験を通して、自分のフランス語力を確認しながら高めることができるからです。自分のフランス語を磨く1つの機会として、検定試験の受験に挑戦してみましょう。</p>
	<p>評価</p> <p>授業の達成度を確認するために、筆記形式による文法試験（「読む」「書く」力の確認）と、暗唱形式による会話試験（「聞く」「話す」力の確認）を実施します。また、自主学習を推進し、その努力を評価するために、課題の提出状況を得点化し、前述の2つの試験の結果に加えて総合的に評価します。 ○計算式＝文法試験の得点（35%）＋会話試験の得点（35%）＋課題の得点（30%） ※ただし、単位修得のためには、授業における3分の2以上の出席を義務づけます。</p>
学 び の 継 続	<p>次のステージ・関連科目</p> <p>フランス語の上級クラスとして、外国語研究Ⅰ（前期）と外国語研究Ⅱ（後期）があります。外国語研究ⅠとⅡでは、交換留学の準備としての学習や、交換留学の後の継続学習が行われます。これまで以上に実践的なフランス語の授業となるので、フランス語力をさらに高めるために、フランス語Ⅳの単位を修得した方は、外国語研究ⅠとⅡを継続して受講して下さい。</p>